

39  
48

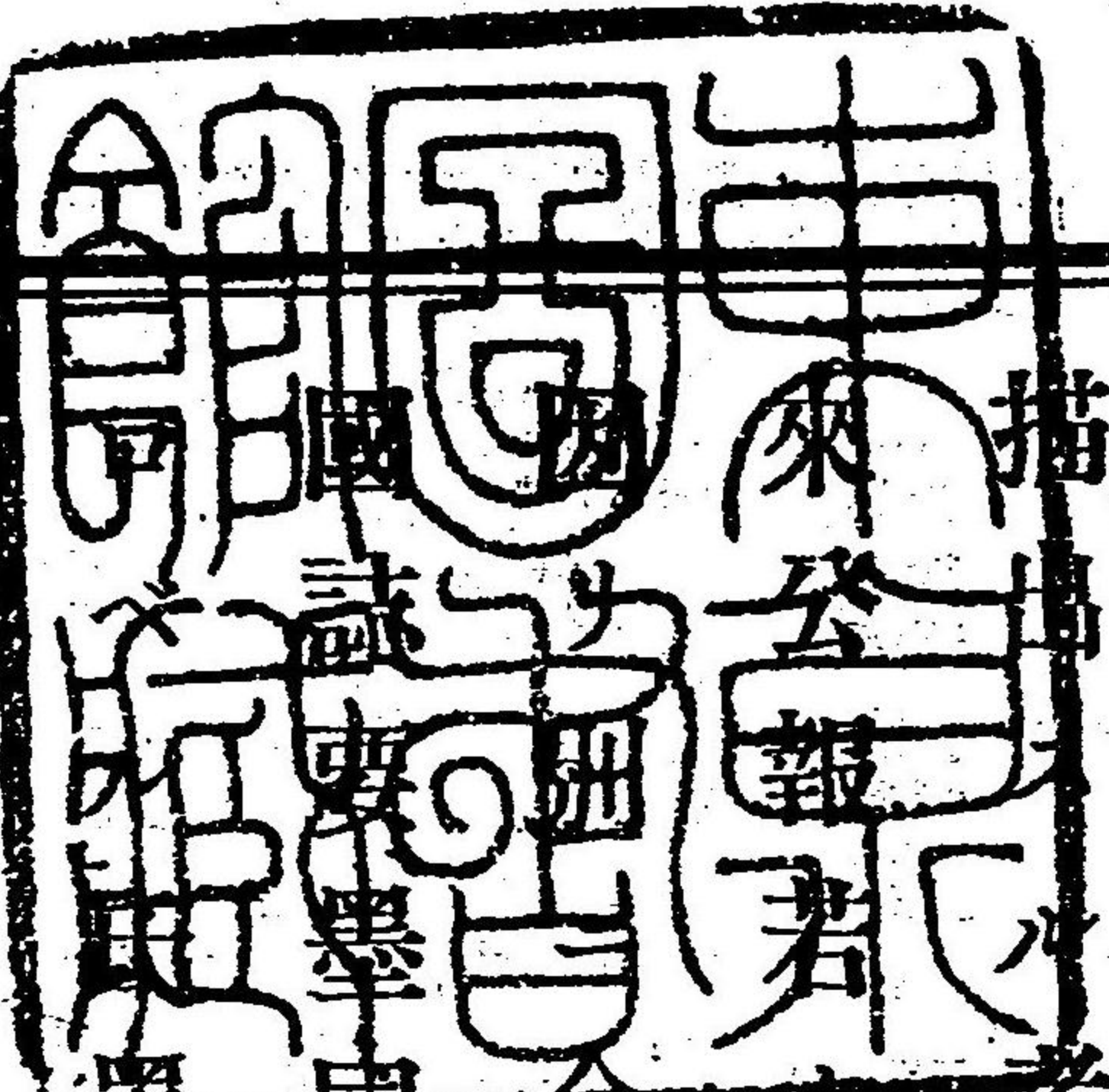
墨國須知



1914/XXV

小引

今我國士人ガ墨國ノ状態ヲ知悉センコトヲ希フノ  
 モ之ヲ記述セル書籍ニ乏シク間々之アルモ旅行者ノ紀行  
 又ハ新聞探訪者ノ通信ニ過ギサレバ其記載スル所口多ク  
 ハ一時ノ感想ニ止マリ實務的ノ眼孔ヲ以テ事物ノ本相ヲ  
 描出スル者ニ乏シト云フ可シ本館茲ニ慨スル所アリテ從  
 來公報者ハ義報ノ名ヲ以テ本省ニ通告セル所ノ材料ニ  
 合衆國政府刊行墨其哥事情、ガルシア、クバ、ス、氏墨  
 國誌、墨國農商工務省及ヒ大藏省報告圖書類、フエデリコ、  
 墨國紀行、プリエト、氏墨國通史等ノ諸書ヲ參酌  
 シテ國誌ノ体裁ニ習ヒ新タニ一書ヲ編纂シテ、墨國須知ト  
 名ツケ之ヲ上梓スルコト、爲シタリ乃チ載録スル所口已  
 ニ官報新聞等ニ散見スル者多ク事ノ新奇ナラザルハ是レ





本書ノ尋常遊記ト其趣ヲ異ニセル所以ナリ且ツ編纂ノ次、  
隨ツテ見、隨ツテ聞キ、隨ツテ讀ミ以テ之ヲ記述スル所ニ係  
リ且ツ本館設置后日猶ホ淺キヲ以テ往々十分ノ研討ヲ欠  
キ誤見謬說ノ在ルアラシカ固ヨリ館僚ハ其責ヲ辭セザル  
所ニシテ幸ヒニ博雅ノ之ヲ指摘シ更ニ稿ヲ代エテ之ヲ訂  
正アラシクコトヲ望ム

明治廿五年五月

在墨國領事代理 藤田敏郎述

### 墨國須知

#### 目次

第一章	總說	一	丁
第二章	農業收蓄	十九	丁
第三章	工業鑛山	四十五	丁
第四章	商業稅關運輸	五十八	丁
第五章	勞金及生計	八十九	丁
第六章	殖民政略	九十七	丁
以上			



# 墨國須知

## 第一章 總說

經緯 墨其哥國ハ北緯十四度卅分ヨリ起リテ三十二度四十二分ニ至リ英國綠威觀象臺西經八十六度四十六分八秒ニ起リ百十七度七分八秒ニ至ル北及北東ハ合衆國加里福尼亞「ニューメキシコ」「アリゾナ」「テキサス」ノ諸州ト境界ヲ接シ東方ハ英領「ホンヂユラス」ニ隣シ「カリビアン」海及ヒ墨其哥灣ニ沿ヒ南方ハ「グアテマラ」共和國「英領」ホンヂユラスニ接シテ太平洋ニ對シ西ハ太平洋ニ臨メリ南北ノ最長ヲ一千九百五十哩一哩ハ我十四東西ノ最短ヲ四百哩トシ太平洋及ヒ加里福尼亞灣ニ濱セル沿岸ノ長サ四千二百哩ニ上リ墨其哥灣ノ沿岸ヲ一千六百哩トシ今日未ダ全國ノ丈量ヲ完了セザルヲ以テ其精細ヲ知リ難シト雖モ面積ハ大約七十五萬千七百方哩トス

### 地勢

全國ノ地勢ハ比類ナキ奇形ヲ呈スル者ト云ベク東西兩岸ノ海濱ヨリ急ニ突起層重セル中央平原ト稱スル部分ハ海面ヲ拔ク四千呎一呎ハ我一尺ニ當ル○乃至八千呎ナル北西ヨリ東南ニ延亘セル者ニシテ殆ンド境域ノ大半ヲ占メ此高原ニ於ケル山岳ノ尤モ高キ者一萬八千呎以上ニ及ベリ

左ニ記スル所ノ一表ハ當國記事ニ關シ著名ナル「アレキサンダー」「ハンホルト」氏ノ測定スル所ニ係リ墨國各要地ノ高地ヲ示ス者ナルヲ以テ之ヲ摘載ス

「トルカ」高原	八、四六二呎	「イキトラウアカ」谷地	八、二八九呎
「メキシコ」谷地	七、四四六呎	「トラクスカラ」州平原	八、一三四呎



「プエブラ州平原」	七、〇五八呎	「グエラ、グルイス州谷地」	五、五四六呎
「グエラクルイス州」	四、〇二五呎	「オハカ谷地」	五、〇八四呎
「オリサバ」	五、〇〇二呎	「モレロス州」	三、三〇六呎
「ケルナバカ」	三、〇一四呎	「ミチヨアカン州」	六、五六〇呎
「ゲレロ州」	四、六五七呎	「モレリア」	六、三九六呎
「ゲレロ州」	七、一八三呎	「イダルゴ州」	六、七一四呎
「パツクアロ州」	六、八五二呎	「ケレタロ州」	六、三九六呎
「イダルゴ州」	五、八七一呎	「フアン」	四、九九五呎
「ツランシゴ州」	二、九五二呎	「ハリスコ州」	一、七四五呎
「グアナフアト州」	二、九四三呎	「コリマ」	一、四七三呎
「テビツク」	一、五九四呎	「アマウリパス州」	五、七〇七呎
「アマウリパス州」	三、八四三呎	「グアイクトリヤ」	一、四七三呎
「ヌエボレオン州」	一、五九四呎	「ツランゴ州」	五、七〇七呎
「モンテレー」	一、五九四呎		

**氣候**

氣候ハ土地ノ高下ニ隨ツテ各地其趣ヲ異ニスレトシ之ヲ大別シテ熱帶、溫帶及ヒ寒帶ノ三種ト爲シ熱帶地ニ在リテハ通常ハ溫度華氏七十五度ヨリ八十二度ニシテ最低點五十五度最高點百〇五六度ニ至ルコトアリ海面ヲ抜クコト殆ンド三千呎迄ヲ此地方ニ算入ス溫帶地ハ通常溫度七十度ニシテ最低點ヲ五十度最高點ヲ八十六度トシ三千呎ヨリ八千呎ノ地ヲ算入ス寒帶地ハ八千呎以上ノ土地ヲ指示スル者ニシテ山岳中往々積雪ヲ頂ク者アリテ通常溫度六十度トシ時トシテハ氷點ニ下リ又時トシテハ七十四五度ニ上ルコトアリ國人一年ヲ分ツテ二期トナシ一ハ乾期ト云ヒ又一ハ六、七、八、九

ノ四月ヲ總稱シテ濕期ト云ヒ地ノ高下ニ隨ツテ雨量ノ多少アレトシ高低中間ノ地ハ高地若クハ低地ニ比シ東岸地ハ西岸地ニ比シテ降雨頻多ナルヲ常トス

**政區** 墨國ヲ分ツテ一直線地廿七州及ヒ二領地トス今方面ニ隨ツテ之ヲ部別スレバ左ノ如シ(地名中點ヲ附スルモノハ其重要ナルコトヲ示ス)

地名	面積及ヒ評定地	人口	首府	首府人口
直線地	一、二〇〇方キロメートル	四七五、七三七人	メキシコ	一五〇、〇〇〇人
「ソノラ州」	七二〇、八四五「キロ」	一三四、七九〇人	エルモシヨ	一五、〇〇〇人
「チワ、州」	二二二、二六七「キロ」	二二五、六五二人	チワ、	二五、〇〇〇人
「コワウイラ州」	一五三、六〇〇「キロ」	一五〇、六二二人	サルチヨ	二六、〇〇〇人
「ヌエボレオン州」	九七五、七九六「キロ」	二二六、〇七四人	モンテレー	三六、〇〇〇人
「アマウリパス州」	七六、〇〇〇「キロ」	一六一、二二一人	グアイクトリア	八、〇〇〇人
「グエラクルイス州」	六二一、四九三「キロ」	六二一、四七六人	ハラバ	一四、〇〇〇人
「タバスコ州」	四七五、八二〇「キロ」	一〇四、七四七人	サン、フアン、パウチ	八、〇〇〇人
「カムベチエ州」	四、五九一、二七五「キロ」	九三、九七六人	カムベチエ	一六、〇〇〇人
「ユカタン州」	一、四四三、七九六「キロ」	三二九、六二一人	メリダ	五〇、〇〇〇人

**太平洋沿岸部**

**墨其哥灣沿岸部**







「ロス、ヤニトリス」 一、〇一三呎  
 「ニコ、デ、キンセオ」 一〇、八九五呎  
 「ヒアンテ」 一〇、六五三呎  
 「セロ、デ、クリアカン」 一〇、六四〇呎  
 「ラス、ナゲアハス」 一〇、五二八呎  
 「ベタ、グランデ」 九、九六五呎  
 「クムブレ、デ、ヘス、マリア」 八、二三〇呎  
 「セルロ、デル、アラアエユ」 七、七六二呎

河湖 墨國ノ河流其水源ノ遠キモノアリト雖モ多クハ舟筏ヲ浮ベテ漕輸ノ便ニ供スルニ適セズ今其著大ナルモノヲ擧クレバ左ノ如シ

「リオ、グランデ」 合衆國コロラド州ニ發シテ「ニコイ、メキシコ」ヲ横ギリ國境ニ沿フテ墨國「テワ、コワウイラ」タマウリパスノ諸州ヲ過ギ墨其哥灣ニ注ク其長サ千五百哩トス  
 「サン、チアゴ」河 「メキシコ」グアナフアト「ミチヨアカン」ハリスコノ諸州ヲ過ギ太平洋ニ入ル其長サ五百四十哩トス  
 「バルサス」河 別名ヲ「メスカラ」河或ヒハ「サカツラ」河ト云ヒ「トラクスカラ」アユブラ「モロス」ゲレロ「ミチヨアカン」ノ諸州ヲ過ギテ太平洋ニ入ル其長サ四百廿六哩トス

「ヤキー」河 「ソノラ州ヲ過ギテ加里福尼亞灣ニ入ル其長サ三百九十哩トス

「グリハルバ」河 「グアテマラ」共和國ノ境内ニ發シテ「チアパス」タパスコノ二州ヲ過ギ墨其哥灣ニ入ル其長サ三百四十哩トス

「ウスマシシタ」河 「グアテマラ」ノ境内ニ發シテ「カムベチエ」タパスコノ二州ヲ過ギ墨其哥灣ニ入ル其長サ三百三十哩トス

墨國ノ西岸ナル「ミチヨアカン」ハリスコノ二州ハ多數ノ湖水アリテ景色絶佳ト稱セラシル其内著名ナルモノハ「チャヤラ」湖長サ八十哩「グイツエラ」湖長サ四十哩及ヒ「パツクアロ」湖長サ十五哩トス其他「メキシコ」谷地ニハ「チャルコ」ソチミルコ「テキスコ」スムバムゴ及ヒ「サン、クリストバル」等ノ諸大湖アリ

港灣 墨其哥灣ノ沿岸ニ在リテハ北風強烈ニシテ波濤ヲ避クルノ便惡シク且諸處ニ洲渚ノ散在セルヲ以テ海岸ニ傍フテ大船ヲ停繫シ難ク獨リ「タムピコ」ノ一港ノミ近歲巨萬ノ資金ヲ投シテ之レガ改築ヲ施シタリシカバ日ナラズシテ其竣成ヲ告グルニ至ルベシ太平洋ノ沿岸ハ多數ノ良港ニ富ミ「アカブルコ」サン、ブラス「グアヤマス」マサトラン「マンサニヨ」ノ諸港ヲ尤モ著名ナルモノトス今東西兩岸ノ首要諸港ヲ列舉スレバ左ノ如シ

墨其哥灣沿岸ノ部

港名	州名
「ゲエラクルイス」	「ゲエラ、クルイス」
「ゴアツアコアルコリス」	「タマウリパス」
全	州名
	「マタモラス」
	「ツクスバム」
	「ゲエラ、クルイス」
	「タマウリパス」



「ダムビコー」  
「イスラ、デ、カルメン」  
「プログレソ」  
「ユカタン」

太平洋沿岸ノ部

「グアヤマス」  
「マサトラン」  
「マンサニョー」  
「アエルト、アンヘル」  
「トナラ」  
「ラパス」  
「カボ、デ、サン、ル、カス」  
「トマス、サントイス」

下加里福尼亞

全 全

「フロンテラ」  
「カムペチエ」

「アルタ、」  
「サンブラス」  
「アカブルコー」  
「サリナ、グルイス」  
「ソコスコー」  
「サンタ、ロサリナ」  
「パヒア、デ、ラマグダレナ」

下加里福尼亞

全

動物 古來野獸ノ群居スルニモ拘ハラズ土人ハ之ヲ捕ヘテ食膳ニ供スルコトナカリシガ  
西班牙人ノ家畜輸送以來今日ニ至リテハ多種ノ家畜ヲ見ルニ至リ牛馬ノ如キハ山  
野ニ放チ飼テ北部諸州最要ノ産業ト成ルニ至レリ北方ノ國境諸州ニハ野牛、山羊、羚羊、  
海狸、虎、貓、獺、熊、類、廣野ヲ横行シ又熱帶地ノ森林ニ至レバ蛇類、蟲類、多ク山野ニハ鹿、兔、及  
ヒ、鷄、野鳩、鷓鴣、其他美麗ナル好音ノ野禽到ル處ニ翱翔ス湖海ハ佳良ナル魚類ト眞珠、牡  
蠣等ノ貝類ニ富ミ殊ニ下加里福尼亞領地ノ西海岸ト東岸ノ灣内ニハ鯨、海豹、海獅、鰐魚

等生息シ同地方ノ海岸ニ於テ漁獲スル珊瑚及ヒ眞珠母等ハ輸出品ノ要目ヲ爲セリ  
「州」ノ海岸ニモ珊瑚ヲ産スルコト多シ墨國全体ノ事情ニ關シテ尤モ該博ノ聞エ  
アル、カルシア、クマ、氏ノ説ニ依レバ墨國內ニ存在セル重モナル胎生動物ノ數五十二  
種、鳥類二百三種、爬虫類四十三種、此他諸種ノ小動物ハ計數スルニ由ナシト蟲類中、コチ  
シ、ハ、オ、ハ、カ、州ノ霸王樹ニ生長シ紅色染料ニ使用スルモノナルガ年々ノ産額百萬  
弗以上ニ上リ又ハ蜂蜜ハ全國到處ニ之ヲ産シ一千八百八十九年度中外國ニ輸出セ  
シ高ハ十萬三千二百六十六弗四十九仙ニ上レリ

植物

地ノ高低ニ隨ツテ種々ニ氣候ノ變化ヲ來セルガ如ク墨國植物界ノ分佈ハ非常ナル奇  
觀ヲ呈スルモノニシテ熱帶地即チ海岸地ノ海面ヲ抜クコト千五百呎迄ノ處ニ在リテ  
ハマ、ホ、ガ、ニ、(植物) 鳥木、紅木、椰子樹、加々阿、嘩、呢、拉、草、綿、丁香、蕃、椒、エ、チ、ケ、ン、(麻) 及ヒ其  
他熱帶菓實繁殖シ是ヨリシテ四千呎迄ノ處ニ在テハ綿、甘蔗、咖啡、藍、米、茶、芭、蕉、烟、草、及ヒ  
其他多種ノ食根植物ヲ見ルベク更ニ進ンデ一層ノ高地ニ上レバ霸王樹、玉蜀黍、小麥、大  
麥、豆類、野菜、葡萄、諸種菓物、松柏等ノ堅質木材成長セリ殊ニ墨國ハ諸種ノ花卉ニ富ム其  
色鮮麗ニシテ佳香アル者多シ

礦物

墨國最要ノ富源ハ鑛山ナリト云ヘリ、ソノ州ヨリ、オ、ハ、カ、ニ至ル迄北西ヨリ南東ニ走  
レ、一、千、二、百、哩、間、ハ、無、前、ノ、鑛、脉、地、ニ、シ、テ、巨、額、ノ、金、銀、及、ヒ、諸、鑛、物、ヲ、産、シ、銀、ノ、産、額、一、年  
四、千、萬、弗、以、上、金、其、他、金、屬、ハ、五、百、萬、弗、以、上、ニ、上、レ、リ、又、墨、國、内、各、所、ニ、貴、石、類、ヲ、産、出、ス、ル  
コト、少、カ、ラ、ズ、オ、パ、ト、ル、及、ヒ、オ、ニ、ク、ス、ノ、如、キ、ハ、墨、國、産、ノ、名、字、内、ニ、高、ク、黑、羊、石、ハ、往、昔、土



人ノ之ヲ以テ武器家具ヲ製造セルモノニシテ歴史上尤モ有用ノ品ト爲シ石炭ハ近年ニ至リ始メテ之ヲ發見シ處々ニ良好ノ品ヲ産スレド運輸不便ナルガ爲メ未ダ内國用ヲ充タスニ至ラズ又鑛鑛ハ所々ニ散在シ湖水ハ鹹分ヲ帶ブル者多シ首要礦物及其產地ヲ列記スレバ左ノ如シ

鑛名 産出州名

金 純金 「ゲレロー」「メキシコ」「オハカ」

砂金 「チワハ」「ソノラ」「メキシコ」

他ノ礦物ト混シタル者 「チワハ」「ツランゴ」「グアナフアト」「イダルゴ」「メキシコ」「ミチヨアカン」「オハカ」「プエブラ」「ケレタロ」「サン、ルイス、ポトシ」「シナロア」「ソノラ」「サカテカス」

純銀 「チワハ」「ツランゴ」「グアナフアト」「イダルゴ」「ハリスコ」「メキシコ」

硫化銀 「グアナフアト」「パチユカ」「サカテカス」「メキシコ」「ゲエラ、グルイス」「ゲレロー」

「アグアスカリエンテス」「ミチヨアカン」「グアナフアト」「ソノラ」「サカテカス」

里福尼亞領地 「イダルゴ」「グアナフアト」「ハリスコ」「ツランゴ」

磁鉄 鉛 錫 亞鉛 水銀 鹽 明礬 著鉛 硫黃 瀝青 石油 石炭 紅寶石 金剛石 綠玉 柘榴石

「ツランゴ」

「サカテカス」「ソノラ」「オハカ」「メキシコ」

「グアナフアト」「チワハ」

「ゲレロー」

「サン、ルイス、ポトシ」「タパスコ」「グアナフアト」「サカテカス」「ゲレロー」

「サマ、ルイス、ポトシ」「コリマ」「ハリスコ」「ミチヨアカン」「タマウリパス」「メキシコ谷地」「ユカタン」

「プエブラ」「ミチヨアカン」「サカテカス」

「ホ、カトベトル山噴火口 下加里福尼亞領地」

「タマウリパス」「ゲエラ、ソルイス」

直隸地 「タパスコ」「オハカ」

「ソノラ」「ミチヨアカン」「ゲエラ、グルイス」「ゲレロー」「オハカ」「プエブラ」

「ツランゴ」

「ゲレロー」

「メキシコ」

「モレロー」「チワハ」



オパール 「ケレタロー」「イタルゴ」

水晶 瑪瑙 紅瑪瑙 「イダルゴ」「サン、ルイス、ポトシー」

大理石 「アエブラ」「ケレタロー」「ゲレロー」「グアナフアト」「ミチヨアカン」「ヌ

エボ、レオン」

墨國「オニクス種類」「アエブラ」

花崗石 「オハカ」「ハリスコー」「メキシコ」「ゲレロー」

黒羊石 「ハチユカ」

陶土 「グアナフアト」 其他處々ニ産ス

沿革 在昔墨國種族が耕耘、工藝、通商政治、書、數ヨリ日常生活ノ點ニ至ル迄早ク固有ノ開化ヲ

遂ケテ往々西國出征者ヲ驚歎セシメ今日猶ホ諸種ノ遺物ニ因リテ之ヲ証シ得ベキハ

何人モ疑ハザル所ナルガ西國遠征前ニ於テハ書冊ノ存セザルヲ以テ其沿革ヲ詳知シ

難ク或ハ亞細亞種族ノ漂寓セルモノナリト云ヘルアリ或ハ北地種族ノ南下セルモノ

ナリト云ヘルアリ區々其説ヲ異ニシテ之レガ憑據ヲ得難キモ略傳説ニ因リテ其大要

ヲ得ベク墨國今日ノ事態ヲ明カナラシメントスルニ當リ尤モ必要ト爲ス所ナレド本

書中之ヲ細記セシコトハ頗ル冗繁ニ涉ルノ恐レアルヲ以テ之ヲ畧ス今慣用スル所ニ

從ヒ墨國歴史ノ時代ヲ大別スレバ左ノ如シ

古實時代 此時代ハ「ナオハ」「トルテカ」「オトミテ」「マヤ」「チ、メカ」「ピマ」「キナチン」「ダラスコ」「ウルメカ」

「シカラソカ」等ノ種族國內諸地ニ居住セシ事實アルコトヲ探古學者ノ稱道セルモ

ノナリ

轉移時代 此時代ハ大畧第七世紀ノ後半ヨリ西國遠征ノ時迄ヲ指稱スルモノニシテ其重モ

ナルハ「トルテカ」種族北方ヨリ移轉シテ現今墨府ヲ去ル北五十哩計リナル「ツラ」ニ

住シ一時諸部族ヲ服從セシメ後チ「トラルテロカ」「アスカボツアルカ」等ノ王代ヲ經

就中「アステカ」人種即チ「メキシコ」人種ナル者北方ヨリ來住シテ遂ニ全權ヲ握リ今

日墨府ノ基礎ヲ開キタルモノトス

西領時代 一千五百廿一年西將「コルテス」墨府ヲ攻略シテ「モンテズマ」王ノ宮城ニ西班牙ノ國

旗ヲ建テシヨリ一千八百廿一年九月將軍「アグスチン」イツルビテ義兵ヲ督シテ墨

府ヲ陥レ西國總督ヲ廢セシニ至ル

獨立時代 將軍「イツルビテ」等撰ハレテ攝政官トナレルヨリ引キテ今日ニ至リ現大統領「ポフ

リオ、ヂアス」氏ハ一千八百七十七年ヨリ撰レテ其職ニ上ルコト三回ニ及ベリ

政治 墨國憲法ノ成文ニ從ヘバ該國政府ハ人民ヲ代表シテ共和ノ主義ヲ取り各州ヲ連合シ

テ全体ノ衡平ヲ維持スル者ニシテ最上權ヲ分ツテ立法、行政、司法ノ三者ニ分與シ其立

法權ハ上下二院ヨリ成ル所ノ國會ニ於テ之ヲ司リ下院議員ハ普通投票ニシテ間接撰

舉法ヲ用ヒ人口四萬人毎ニ一名ヲ撰出シ任期ヲ二ケ年トス上院議員ハ每州二名トシ

撰舉法ハ下院議員ニ異ナルコトナク議員半數ヲ二年ニ改撰スルモノトシ二院トモニ

每歲二回之ヲ招集シ四月一日ヨリ五月卅一日迄及ヒ九月十六日ヨリ十二月十六日迄

トス其行政權ハ普通投票ニ由リ撰出セラル、撰舉人ノ再撰ニ係ル大統領ニ於テ之ヲ



司リ其任期ハ四ケ年トス大統領ハ其職ヲ執行ルニ爲メニ内閣ヲ組織シ外務内務司法及教育事務農工商植民事務大藏海陸軍務及ヒ通信事務ノ七省大臣ヲ以テ之ニ充テ大臣ハ大統領ノ發布スル法律布告ニ同署シ其所管事務ニ對シテ責任ヲ負フモノニシテ任免ハ大統領ニ於テ之ヲ施行ス其司法權ハ裁判所ニ於テ之ヲ司リ判事檢事ハ普通投票ニシテ間接選舉法ヲ用ヒ在職六ケ年トス

此他各州施政機關ノ組織ハ聯邦政府ニ同シ

財政

一千八百九十一年度墨國聯邦政府歳入豫算ハ四一、四〇〇、〇〇〇弗ニシテ其財源ハ海關稅(歳入額ノ六割)内國稅(全三割)官業收入及ヒ雜收入各一割トシ稅目ヲ詳記スレバ左ノ如シ

海關稅

- 一、輸入稅
- 二、港灣改良費(輸入稅ノ外從價ノ二歩)
- 三、聯邦付屬地并、テビック(下加里福尼亞領地ニ於ケル)消費稅(輸入品稅金ノ五歩)
- 四、船舶噸數稅
- 五、燈臺稅
- 六、水先キ
- 七、案內料
- 八、倉敷料
- 九、通過荷物稅
- 十、輸出免許料
- 十一、在外領事手數料
- 十二、在墨諸會社証明手數料(五弗)

内國稅

- 一、印紙稅
- 二、不動產買賣及ヒ職業
- 三、商業鑑札料
- 四、遺產稅
- 五、官錄稅
- 六、記名證明料
- 七、公証人免許鑑札料
- 八、眞珠貝、鯨其他漁業借地料
- 九、專賣特許料

官業收入

- 一、郵便電信收入
- 二、造幣益金并試金手數料
- 三、印刷其他官業益金
- 四、富籤興行免許料

雜收入

- 一、罰金料
- 二、公共地拂下代
- 三、公共物貸付料
- 其他

同年度ニ於ケル歳出豫算ハ左ノ如シ

立法部

一、〇〇九、〇三六弗五〇仙

行政部

二、三、七三九、二五〇弗五九仙

陸海軍費

一、二、六五七、八五三弗一七仙

鐵道補助費償却

三、三、八八、六六二弗〇〇仙

司法部(裁判所)

四、六八、八八四弗二五仙

合計

四一、二六三、六五六弗五一仙

軍制

墨國ノ陸軍ヲ分ツテ常備、豫備、後備ノ三種ト爲シ一千八百九十一年ノ現在數ニ依レバ常備軍ハ步兵壹萬七千三百七人工兵六百五十五人砲兵一千六百〇四人騎兵五千四百八十四人野騎兵一千九百五十人憲兵二百四十四人合計二萬七千二百四十四人ニシテ此外三千有余ノ陸軍士官アリ豫備軍ノ兵卒二萬四千人馬一千五百頭後備軍ハ兵卒七萬人馬一萬頭ニシテ國家有事ノ日ハ步兵十三萬五千五百二十三人砲兵三萬六百五十人騎兵二萬五千七百九十八人ヲ招集スベキ目算ナリト士官學校ハ聯邦政府ノ管理ニ係リ目下三百名ノ生徒ヲ養成セリト云フ

海軍ニ至リテハ未ダ全ク之レガ整理ニ着手セズト云フモ不可ナキ程ニテ現在ノ軍艦

二艘ハ各四百五十噸六百馬力及ヒ二門ノ廿斤砲ヲ有スルニ過ギズシテ別ニ三艘ノ砲艦アルノミ

墨國ノ事物ハ一トシテ宗教ト密着ノ關係ヲ有セザルナク之レガ既往ノ變遷ヲ審カニ

宗教



スルハ尤モ缺ク可カラザル所ナレトモ本書ノ範圍ニ限リアルヲ以テ今其大要ヲ記サンニ古昔墨國土人ニ崇神ノ習俗アリシコトハ今猶ホ之ヲ徵証スベク下ツテ西國人ノ征服後ハ武力ヲ以テ其觀念思想ヲ壓制シ一千五百廿一年以來ハ總ベテ舊教檢束ノ下ニ竊イテ祭政一途ニ出テ僧侶專制ノ弊其比ヲ見ザルモノアリ一千八百七十四年十二月ニ至リ宗教維新律ノ聯邦憲法ニ編入セラル、ニ及ビ全ク政府ト寺院トノ關係ヲ絶タシメ宗教上ノ團體ヲ禁シ諸般ノ禮拜ハ個人ノ意志ニ任セシムルニ至リシガ今日ト雖モ羅馬教ノ勢力頗ル強ク普通ハ民ノ歸依スル所ニシテ大僧正一名僧正十九名ヲ有シ國內ヲ分ツテ一千三百四十九寺區トナシ殿堂ヲ有スルコト八千七百六十三箇所信者ノ數千三百三十三萬七千人ニ上レリ一千八百七十年以後英米ノ新教諸派ハ續々其宣教師ヲ派遣スルニ至リシカハ千八百八十九年ノ末ニ在リテハ國內八十八箇ノ新教々會堂ヲ見ルニ至レリ

學制

普通人民ヲ啓發シ德義ヲ進メ智識ヲ増シ以テ國運進歩ノ基ヲ開クノ必要ナルコトハ墨國有識者ノ夙トニ之ヲ識認スル所ニシテ現大統領ノ如キハ之レガ成効ヲ以テ在職間唯一ノ希望ト爲セル程ニテ強誘教育ノ制度ハ一般ノ贊同スル所ナリト云マク之ヲ廿年前ニ比スレバ墨國ハ驚クベキ進歩ヲ遂ゲ文字ヲ知ラザルモノ、數ヲ減ズルコト著シト稱セラルレトモ彼細民ニ至リテハ生計困難ノ餘教育ヲ輕視スルノ弊頗ル盛ンニシテ未ダ十分ニ目的ヲ達スル能ハズ左ニ記スル所ハ平均就學兒童ノ員數ト費用ノ額ヲ示ス者ナリ

州名	平均就學兒童員數	用一年開費
「アグアスカリエンテス」	六五〇〇人	一〇、〇〇〇弗
「カムベチエ」	四五〇〇人	一五、〇〇〇弗
「チアパス」	二五〇〇人	一〇、〇〇〇弗
「チリ、」	四五〇〇人	二八、〇〇〇弗
「コリマ」	三〇〇〇人	一八、〇〇〇弗
「ツランゴ」	五〇〇〇人	二〇、〇〇〇弗
「グアナフアト」	二〇〇〇人	八一、〇〇〇弗
「ダレロ」	一五〇〇人	三五、〇〇〇弗
「イダルゴ」	一九〇〇人	八二、〇〇〇弗
「ハリスコ」	四二〇〇人	一〇〇、〇〇〇弗
「メキシコ」	五〇〇〇人	一八七、〇〇〇弗
「ミチヨアカン」	一一〇〇人	五三、〇〇〇弗
「モレロス」	一四〇〇人	二三、〇〇〇弗
「ヌエボ、レオン」	一四〇〇人	六八、〇〇〇弗
「オハカ」	二一〇〇人	五一、〇〇〇弗
「アエブラ」	六七〇〇人	一五三、〇〇〇弗
「タレタロー」	一〇、〇〇〇人	三〇、〇〇〇弗



「サンルイス、ポトシー」	一四、〇〇〇人	四〇、〇〇〇弗
「シナロア」	九五〇〇人	五八、〇〇〇弗
「ソノラ」	四、〇〇〇人	二〇、〇〇〇弗
「タパスコ」	三、五〇〇人	二〇、〇〇〇弗
「タマウリパス」	四、〇〇〇人	一〇、〇〇〇弗
「トラクスカラ」	九五〇〇人	二〇、〇〇〇弗
「ヴェラクルース」	二七、〇〇〇人	二一九、〇〇〇弗
「ユカタン」	一一、五〇〇人	五〇、〇〇〇弗
「サカタカス」	二一、〇〇〇人	七二、〇〇〇弗
直隸地	三一、〇〇〇人	二〇二、〇〇〇弗
下加里福尼亞	一、〇〇〇人	一〇、〇〇〇弗
合計	四五二、五〇〇人	一、七一一、〇〇〇弗

通信 内地郵税ヲ外國郵税ニ比シテ高率ナリト云フハ奇恠ノ感ニ堪ヘザル所ニシテ郵政改革ノ議最モ囂シク日ナラズシテ其目的ヲ達スルニ至ル可シ地方郵便取扱人ヲ除ケバ現在郵便局ノ數四百九ヶ所ニシテ一千八百八十七、八十八年度ニ於ケル収入額八十八萬五千四百三十六弗内地書狀二千七百三十九萬〇二百八十八通外國書狀百六十二萬七千五百三十八通ナリ

現在電信線延長ハ聯邦政府所有ノ分二萬六千〇三十六「キロメートル」「我九町十間余」

各州政府所有七千六百十三「キロメートル」各鐵道會社所有七千五百五十一「キロメートル」私立會社所有七千廿四「キロメートル」合計四万七千八百廿四「キロメートル」ニシテ電話機ノ延長ハ七千四百七十八「キロメートル」トス一千八百八十七、八十八年度中聯邦政府所有電信局ニテ取扱ヒタル音信六十七萬千四百四十四件語數千二百〇四萬三千八百八十七字トス

### 第二章 農業

墨國現時ノ農業一般ニ之ヲ評スレバ未ダ近時科學的ノ理論ヲ應用シテ土地ノ生産力ヲ増長スルノ位置ニモ達セズ又々其祖先種族ガ自家ノ經驗ニ因リテ長足ノ進歩ヲ爲シ數百年ノ昔シ已ニ西國出征者ヲ驚服シタル所ノ美點モ次第ニ之ヲ亡失スルノ有様ニシテ墨國今日ノ農産物アルハ一ニ天賦ノ氣候ト地味ノ優等ナルニ由ラズンバアラズ然レモ已ニ此適順ナル氣候ト豊厚ナル土壤トヲ有セリ一旦之ニ加フルニ勤勞ト資本トヲ以テスルニ於テハ墨國富資ノ今日ニ倍蓰センコト明ケシ墨國當局者ハ之ニ見ル所アリテ農業ニ關スル機械器具ニ無稅通關ノ特典ヲ與フル等拮据至ラザルナシト雖モ未ダ十分ノ發達ヲ遂ゲサルモノ一ニ運輸不便資本不給ノ二事ニ歸因セリト云ハザル可ラズ

墨國ノ農事ヲ記述スルニ當リ先ツ之ヲ高層地農業ト熱帶地農業ノ二種ニ區別センコトヲ要ス何トナレバ氣候ノ熱冷ト地形ノ高下ニ從ヒ植物ノ分配ヲ異ニスルコト尤モ著シク隨ツテ大ニ耕作ノ方法ヲ異ニスル所アレバナリ高地ノ農業ニ尤モ重要ノ關係ヲ有スルハ所謂ニル雨期ト稱スル六月初ヨリ秋分ノ頃マテ連續スル所ノ降雨ニシテ水量ニ乏シキ地方ニ在リテ



ハ農夫ハ此雨期間ニ人爲灌溉ノ豫備ヲ爲サンコトヲ要シ「チャバス」「アハカ」「ペロテ」「アエブラ」「ア  
ト」「リスコ」「トラスカラ」「メキシコ」及ヒ「トルカ」等ノ谷地リオ、デ、サンチャゴ」ニ沿フタル河岸地或  
ヒハ北部諸州ノ平原ニ於テハ川湖ヲ利用シテ漏水ニ供シ尙ホ是ニテモ不足ナレトキハ高層  
ナル潤器ヲ壅塞シテ雨水ヲ滲蓄シ以テ田圃ニ灌溉スルコトアリ概言スレバ墨國ニ在リテハ  
農夫ハ陰濕ヲ憂フルヨリ寧ロ亢旱ヲ恐ル、コト甚シク到ル處灌溉法ノ設ケアラサルナク雨  
期ノ來ルコト遲キ歳ニ在リテハ作物ノ凶稔ヲ招クヲ常トス北部ノ邊境地若クハ高層地方ニ  
於テハ屢々霜又ハ雹ノ下ルコトアリ是等ハ大ニ作物ノ害ヲ爲ス者ナリ  
高地ノ田圃ハ主トシテ小麥玉蜀黍等ヲ耕作スルモノナルガ田圃ノ規模ハ概シテ廣大ナル方  
ト云ベシ小麥ハ十月中土地ヲ鋤キ十一月ニ及ンデ種子ヲ下ロシ水ヲ畦間ニ導キ種子ノ發芽  
ヲ待チテ冬時ニ二回水ヲ與ヘ春ニ至リテ又二回之ヲ與フルヲ以テ十分ナリトス五六月ノ交  
ニ至リテ之ヲ刈取リ耕地ノ傍ラニ設ケタル漆喰ヒ作リノ収納場ニ於テ牛馬ヲ使用シテ麥穂  
ヲ踏碎キ麥粒ヲ簸ヒ取リタル後之ヲ耕地附屬ノ磨臼場ニ送リテ麥粉ト爲スモノナリ裸麥ハ  
處々ニ耕作セラル、ヲ見レハ燕麥ハ更ニ無ク大麥ハ其產額尤モ大ナリ玉蜀黍ハ其種類多ク  
氣候ト地味ニ從ツテ其選擇ヲ異ニセリ屢寒氣ノ爲メ其初作ヲ害スルコトアルガ此際ニ於テ  
ハ多クハ之ヲ補償スル爲メ雨期中ニ大麥ヲ植エ付クルコトナリ夏期作物中ノ尤モ重要ナル  
モノハ豆類ニシテ殆ソド玉蜀黍ニ匹敵スルノ要品ト云ベク之ニ次イデ馬豆蕃椒甘藷等農産  
物ノ重要ナルモノナリ葡萄ノ耕作ハ近來次第ニ北部諸地ニ盛ンナルニ至リ殊ニ「フアレ」市  
近傍ニ産スル葡萄酒ハ數百年前ヨリ佳品ノ名ヲ博シ居レリ

土地ハ一般ニ雨水ノ滲浸ニ因リテ次第ニ其肥分ヲ増加スベキ鑛質ヲ包有セルガ爲メ一切肥  
料ヲ施スコトヲ要セズ或ル地方ノ如キハ尤モ地方ヲ消耗スト稱セラル、玉蜀黍ヲ連年耕作  
シナガラ巴ニ數百年ノ久シキヲ歴レル今ニ及ンテ連年豐作ヲ得ルヲ常トシ「トラスカラ」「チヨ  
ル」ト「トルカ」等ノ地方ハ一面火山噴出ノ土石ヲ以テ蔽ハル、モノナルガ土壤ノ分解ニ從ヒ次第  
ニ其肥力ヲ増加スト云フ此外天然ノ肥力ニ富マザル地方ニ在リテハ專ラ羊類ノ肥料ヲ借リ  
テ之ヲ助ケルモノトシ使役ノ馬騾ハ厩ニ於テ之ヲ糞ヘドモ其肥料ハ廢物トシテ田圃ニ埋積  
シ秋ニ至ツテ之ヲ燒キ棄ツルモノナリ其他ノ有角畜類ハ之ヲ野間ニ放牧シ食料ハ細カニ麥  
稈ヲ刻ミ玉蜀黍若クハ大麥ヲ混和シタル者ニシテ稀レニハ牝牛ニ限リ玉蜀黍ノ稈ヲ與フル  
トアリ耕地ヲ鋤クニハ多ク牝牛ヲ使用シ大地主ハ往々數百頭ヲ使用スルモノアルヲ見ル  
ノ体裁ハ專ラ古代歐羅巴ニ行ハレタル木製品ニシテ單ニ畦線ヲ作ルニ止マリ土壤ヲ碎破シ  
テ之ヲ鋤キ返ス等ノ「トナシ」

大概耕場ノ作事ニハ地内ニ住スル「ピラン」夫ヲ日雇シ勞銀ノ額ヲ定メ毎週拂ニシテ土曜日若クハ  
日曜日朝現金ヲ以テ之ヲ支拂フコトナリ勞働時間ハ熱地ナレバ朝五時ヨリ十一時迄働ラキ  
休憩ノ后々更ラニ午後三時ヨリ七時頃迄其業ヲ執ラシム温地及ヒ寒地ニ在リテハ早朝ヨリ  
續事迄トシ食事ノ爲メ隨意ニ二三時ノ休憩ヲ與フルコトアリ鐵道線路ノ通セシ場處ハ一般ニ  
勞働者ノ賃銀ヲ高擧セシト雖モ大概男子ノ賃銀ハ廿五仙ヨリ卅七仙位トシ食品ノ給否ニ從  
ツテ其割合ヲ異ニシ小兒ハ十二仙ヨリ十八仙迄女子ハ田圃ノ作業ニ從事スルモノ極メテ少  
ク隸夫ノ食物ヲ運送スル位ニ過ギス而シテ雇主ヨリ勞働者ニ食物ヲ給與スル際ニ在リテハ



玉蜀黍、豆、鹽等ヲ給與スルヲ以テ十分ナリトス。總テ廣大ナル耕場ニ在リテハ所有主ニ於テ自  
ラ其耕場ノ全部ニ着手スル能ハザルガ爲メ土地ノ大半ハ家畜ノ牧場ニ使用スルカ若クハ佃  
戸ニ分貸スルコトナリ

熱帶地ノ農業ハ高地ニ比シ氣候ト地味ニ從ツテ晰然タル區劃ヲ有シ此限界ヲ越ユルコト僅  
カニ一步ナレバ地質忽チ變ジテ丘陵ニハ樹木密茂シ原野ニハ艸菜佈蔓シ農業ハ著シク產物  
ノ種類ヲ増加スルヲ見ル且東岸地ヲ西岸地ニ比較スレバ其相異スル所口實ニ著シク西岸ニ  
在テハ人爲灌溉ノ設ケアルニ非サレバ甘蔗、咖啡、ココ、米、ウアニア等ノ生長ヲ遂ゲ難シト雖モ  
東岸ノ山岳近キ處ニ在リテハ周歲降雨アルガ爲メ玉蜀黍、豆、烟草、米、及ヒ藍等ハ雨期ノ初メニ  
之ヲ植エ付クレバ其後灌溉ヲ施スコト無クシテ能ク繁生スル者ナリ

高地ニ於テハ種子ヲ植エ付クル爲メニ土地ヲ耕クコトヲ要スレトモ熱帶地ニ於テハ只大耕  
作場ニ於テ稀レニ耨犁ヲ使用スルコトアルモ小農夫ハ夏期作物ヲ林地ニ種ユルニ方リテ多  
クハ耨犁ヲ使用スルコト無ク旱天ニ林木荆藎ヲ伐リ倒シ數月間之ヲ乾カシタル後チ燒キ拂  
ヒ雨期ノ至ルヲ待チテ木片ニ鐵尖ヲ付シタル者ニテ土地ヲ穿チ之ニ種子ヲ投下スルモノト  
シ玉蜀黍、豆、米、綿樹等ハ此方法ニテ植付ケ烟草ハ更ニ之ヲ移植スルコトヲ要ス草綿ハ陰濕ヲ  
嫌フモノナルヲ以テ冬期降雨少ナキ地殊ニ東南海岸地トシイラ、マドレ山脈ノ西側三千呎以  
下ノ處ニ繁殖スルヲ見ルサレド東岸ノ山岳近キ所ハ雨露ノ爲メニ綿花ヲ害セラル、ヲ常ト  
ス  
熱帶地ノ耕作ハ高層地ニ比スレバ一層簡易ナルモ反ツテ其收穫ハ之ニ優レリ海岸地方ノ如

キハ氣候ノ暑熱ナルガ上ニ往々氣序ノ人体ニ適セザルガ爲メ荒蕪ニ委スル者多ク勞動者ノ  
賃銀ノ如キモ高層地ニ比スレバ二倍若クハ三倍ニ至リ其生計ノ安樂ナル僅カニ數棟ノ芭蕉  
ト玉蜀黍ノ小圃アレバ苦役ニ服スルコト無クシテ十分ノ食料ヲ得ベシト云フ且海岸ノ河湖  
ハ魚鱉ニ富ミ山間ニハ椰子樹ノ深林アリテ許多ノ椰油ト椰酒ヲ與ヘ其他菜根類ニ至ル迄何  
一ツトシテ繁生セサルコトナク農夫ハ竹ヲ以テ組ミ上ケタル假小屋ニ住シ開放ノ儘ニテ起  
臥スルノ習慣ナルヲ以テ生活ノ爲メニ費用ト勞動トヲ要スルコト僅小ニシテ一日ニ三時間  
ヲ農事ニ費セバ安逸ニ生存ヲ遂ゲ得ベキヲ以テ自余ノ時間ハ漁獵若クハ遊樂ニ耽ケルヲ常  
トス

前ニ記スル所ハ一般農業ノ概況ヲ記スニ過ギザルモノナレバ今左ニ重要ナル農產物ヲ列舉  
シテ其產出地及ヒ產額等ヲ略記セントス

咖啡

墨國ニ於テハ北緯十六度氣温五十五度以上ノ地區ヲ以テ尤モ咖啡樹ノ生長ニ適當ス  
ルモノト爲シ殊ニ三四千呎ノ高地ニシテ其根ハ餘リ濕潤スルコトナク數々驟雨アリ  
テ其葉ヲ淨洗スル所ニ能ク繁茂スルヲ見ル何トナレバ此地層ニ在テハ一年間氣候ノ  
劇變ヲ起スコト少ク十分ノ陰翳ト濕氣アル爲メ該樹ノ枯死ヲ來スコト至ツテ少ナ  
ケレバナリサレバ該樹ヲ林際ニ植付クルモハ可成ク樹木ヲ保存シテ日光ノ烈射ヲ遮  
ラシメノコトヲ要シ又之ヲ低地ニ植付クルモハ其側ニ芭蕉ノ如キ密葉ノ植物ヲ植  
ユルヲ常トス大概栽培場ヲ設ケ苗木ニ仕立テ一二呎ニ及ヒタルモ之ヲ移植シ最初數  
年間ハ尤モ注意シテ其枯死ヲ豫防シ高貴廿呎以上ニモ生長スルモノアレバ之ヲ押シ



屈メテ其枝梢ヲ地平ニ展張セシムルヲ宜トスル爲メ初メヨリ各株八呎計リヲ隔テ、  
 植ユルヲ要ス此方法ヲ施シタル者ハ天生ノ者ニ比スレバ結實ノ多キト其實ヲ摘取ス  
 ルニ便ナルヲ以テナリ適當ナル地所ト氣候ト緯度ノ三者ヲ兼有スル墨國ノ如キハ實  
 ニ稀有ナリト云ベシ今日現ニ該樹栽培ノ尤モ盛大ナルハ東岸ナル「ウエラ、クルリス州」ヲ  
 以テ第一トシ「チャパス」「モレロス」「オハカ」「コリマ」「ミチヨアカン」ノ諸州之ニ次グ殊ニ「コリ  
 マ州」「ウルワバム」近傍ハ良品ヲ産スルヲ以テ其名高シ咖啡實ハ其成熟スルヲ待テテ之  
 ヲ摘取リ莢ノ儘ニテ太陽ニ乾カシ然ル后木製ノ機械ニ夾ミテ壓碎シ籾ヒテ殼皮ト種  
 子ヲ分ツモノトス一千八百八十七一八十八年度ニ於ケル合衆國ヘノ輸出高ハ其價額  
 二、一一七、二九九弗〇八仙ニシテ千八百九十一年度ニ於ケル各國ヘノ輸出高ハ  
 六、一四九、八〇八弗七二仙トス今一千八百八十八年調査ノ毎州咖啡産額ヲ擧グレバ左  
 ノ如シ「キログラム」ハ我二百

「ベラグルリス」	一八、四〇〇、〇〇〇	「コリマ」	九二〇、〇〇〇
「ミチヨアカン」	六二五、〇〇〇	「チャパス」	四二〇、〇〇〇
「オハカ」	二五四、〇〇〇	「アマウリパス」	八四、〇〇〇
「モレロス」	五四三、〇〇〇	「ゲレロー」	五〇、〇〇〇
「ハリスコ」	一五、八三〇	「サン、ルイス、ポトシー」	一〇〇、〇〇〇
「メキシコ」	九二〇、〇〇〇	合計	二〇、九八四、三三〇

左ニ記ス所ハ久シク「チャパス州」ニ於テ自ラ咖啡ノ耕作ニ從事シタル現合衆國駐在墨

國公使「マルチアス、ロメロ」氏ガ「一千、グエルダ」我五十六町三ノ咖啡栽培費ニツキ自ラ算  
 出セシモノニシテ尤モ信用ス可キモノナリ

○第一年經費

一千、グエルダノ土地ニ對スル咖啡幼樹栽培園	二二、五〇〇
卅、グエルダニ對スル芟除費「グエルダ」七十	一〇〇、〇〇〇
栽培園手入費	一〇、二二五
合計	一三二、六二五

○第二年經費

土地整理費	六〇、〇〇〇
支柱費(十萬四千本ヲ植付クルトシテ)	三四、六七
穿穴費(十萬四千本ノ支柱ニ對シ)	一〇四、〇〇
咖啡樹十萬四千本植付費	五二〇、〇〇
草取(一年兩度)并芟除費	五〇〇、〇〇
雜費(修繕、建築、紛料、諸稅等)	五六〇、〇〇
合計	二、四〇八、六七

○第三年經費

草取費(一年四度)	一〇〇、〇〇〇
咖啡乾燥場築造費「五百、マス」平方「一、ハラ」	六二五、〇〇



咖啡精淨器械並器械据付及運搬費用等  
 第一収穫費(每樹四、オンスヲ產出ストシテ  
 二、オンスハ我七、五五分ニ當ル)  
 雜費(修繕費、建築費、諸稅等)

合計

○第四年經費

草取費(一年四度)

咖啡乾燥場入費

器械費

第二収穫費每樹一封ヲ產ストシテ(一封  
ハ我百廿、七、分四厘ニ當ル)

雜費(修繕、建築、并諸稅)

合計

總計四年間經費

○咖啡產出

一千クエルダノ咖啡樹十萬四千本ニシテ第三年目ニ至リ

二萬六千封ヲ產ス一封ヲ非常ノ安價十仙ト見積リ

同上第四年目収穫十萬四千封ヲ產ス之ヲ一封十仙ト見積リ

合計 產出價額

一、クエルダニ付十三、兩、一本ニ付  
十二仙半ヲ產出スル割合ナリ

八三〇、〇〇

三〇〇、〇〇

三五〇、〇〇

三四〇、五〇〇

一、〇〇〇、〇〇

一、八七五、〇〇

三〇〇、〇〇

八〇〇、〇〇

七五〇、〇〇

四、七二五、〇〇

一一、五六二、一七

二、六〇〇、〇〇

一〇、四〇〇、〇〇

一、三〇〇、〇〇

○咖啡栽培利益

一千クエルダニ對スル三年及ヒ四年目収利

同四年間諸費

差引四年目利益

○第五年以後計算

咖啡樹ノ結實ハ次第ニ増加スルモノニシテ第五年目即初メテ實ヲ結ビシヨリ三年目以後ニ至リ每樹二封ヲ產スルトスレバ十萬四千本ニ對シ廿萬八千封ヲ產スベキ筈ニシテ之ヲ每封十仙宛ニ賣捌クトスレバ

此内草取、給料、改良其他ニ費消スル入費一クエルダ平均五弗トシ

一千クエルダニ付

差引五年目以後ノ利益

此計算ニ依レバ第五年以後ハ資本ニ對シ十三割四分五厘即一倍ト三割四五ノ所得ニ相當シ一クエルダヨリ年々十五弗八十仙一樹ヨリ十五仙強ノ純益ヲ得ル割合ナルガ前ニ記シタル咖啡一封ノ代價ヲ十仙トナシタルハ極メテ計算上ノ安全ヲ示シタル者ニテ實際ノ市價ハ之ニ超過スベケレバ隨ツテ純益ノ額モ亦大ナルコトヲ得マシ墨國ニ於ケル護樹栽培ノ事業ハ極メテ幼稚ナルモノニシテ一千八百八十九一十九年度ニ於ケル輸出高ハ九七、二四五弗七五仙一千八百九十一年度ニ於テハ六九、八四四弗八〇仙ニ過ギザレバ森林ニハ自生頗ル多ク之ヲ培植ノモノニ比スレバ液汁



ヲ與フルコト少ナシト云フ「チャパス州」ソヨヌスコ「近方ハ天生ノ護謨樹尤モ多ク墨國ニ於ケル該事業ノ中心ト稱セラレ其他「ミナヨアカン」「コリマ」「ウエラ、クルース」「シナロア」ノ諸州ニ在リテモ該事業ニ從事スルモノアリ「ユカダン」州ノ如キモ夥シク護謨樹生長スレモ未ダ之レガ採取法ニ着手スルモノナシ該樹ノ栽培法ハ尤モ單簡ナルモノニシテ種子ヲ蒔キテ苗木ニ仕立テ然ル后之ヲ移植スルカ又ハ「植」ノ方法ヲ用ユルモ可ナリ當國農務局ノ報告ニ依レバ該樹ノ栽培ハ尤モ有利ナルモノニシテ曾テ「ソヨヌスコ」ニ於テハ三株ノ稚樹ヲ森林中ヨリ取リテ之ヲ耕地ニ試培セシニ直徑七呎以上ニ及ビ巴ニ液汁ヲ與フルコト十五年ニ及ベドモ毎年平均五十封ヲ搾取シテ更ラニ衰弱スルコトナク該樹ノ長大ナルニ隨ツテ液汁ヲ與フルコト益々多キ割合ナリト今日墨國政府ガ該樹ノ栽培ヲ獎勵スルノ一證ハ一千八百八十九年十月中政府ハ三名ノ墨國人ニ特許ヲ與ヘテ「オハカ州」ニ於テ十五年間ニ千五百萬本ノ護謨樹ヲ植付クルコトヲ許シ之レガ保護トシテ一本ニ付三仙ノ補助金ヲ下付シ該事業必要ノ機械器具車輛等ヲ無稅輸入スルコトヲ許可シタルヲ以テ之ヲ察ス可シ今「ロメロ」氏ノ計算ニ由リ「一」リ「一」ク「九千六百町五畝」ノ土地ニ「五」バ「ラス」平方「七」平方「尺」餘ニ當ル我ヲ隔テ、一株ノ護謨樹トスレバ百萬本ヲ植付クベキ等ニシテ差引利益左ノ如シ

○護謨栽培費

土地芟除費 付五十仙ノ割 一八、五一八、五〇  
 植付入費 全廿五仙ノ割 九、二五九、二五

草取(一年五回) 全廿五仙ノ割 四六、二九六、二五

合計

七四、〇七四、〇〇

然ルニ護謨樹ハ第六年目ヨリ樹液ヲ採取スルコトヲ得一樹ヨリ一ケ年六封ヲ獲ベキ等ナルヲ以テ百萬本ヨリハ六百萬封ヲ得ベシ博士「フアラデー」「ウレイ」「阿氏」ノ説ニ據レバ内四割四分又ハ四割五分ハ彈力護謨ヲ搾取スルコトヲ得ベキガ故ニ六百萬封ノ樹液ヨリシテ五割六分ヲ除キ差引二百六十四萬封ヲ得ル時價一封八十仙ヨリ一弗迄ノ高下アレモ今仮リニ之ヲ引下テ六十仙ト爲シ計算スレバ「一」五八四、〇〇〇  
 下ナリ一封ニ對スル運賃、手數料、口錢、其他諸雜費ヲ廿仙ト見積リ二百六十四萬封ニ對スル入費……………五二八、〇〇〇  
 ヲ扣除スルモ殘金……………一〇五六、〇〇〇  
 トナリ六ケ年諸經費……………七四、〇七四、〇〇  
 ニシテ差引純益……………九八一、九二六、〇〇  
 ト爲ル

甘蔗

以上ハ第六年目收穫ノ計算ナレモ年々經ルニ從ヒ一株ヨリ十五、廿五又三十封ノ樹液ヲ搾取スルコトヲ得ベク同時ニ草取等ノ諸入費ハ第六年目ノ分ヨリ増加スル所ナシ墨國官立農學校ノ評定ニ由レバ墨國ニ於テハ大約「一」エ「ト」カ「ト」我「四」反「八」三ノ土地ヨリ砂糖三、六七五封ヲ産出シ得ベキ等ニシテ其種類ハ「カスナ」「ア」「ハ」「バ」「ナ」「ラ」「ダ」「ヘ」「イト」ノ三種トシ此三種ノ糖液ヲ混シテ精良ノ砂糖ヲ製セリ其耕作ハ重モニ熱帶地ニ施サレ



「モノニシテモレロス」ハリスゴ「ゲエラクルース」オハカ「プエアラ」及ヒ「ユカ」ン「フ」甘蔗  
 産出ノ最盛地トナス近年耕作、搾取、精製ノ方法、機械等漸次改良ニ趣クノ姿ナレモ墨國  
 今日ノ製糖業ハ僅カニ内國ノ需用ニ充ツルニ過ギサル者ニシテ未ダ十分ニ地利天候  
 フ適用シ得タル者ト云ベカラズサレバ毎年度産額大約八、七三五、〇〇〇弗ニシテ其輸  
 出高ノ如キハ實ニ僅少ナルモノト云ベク一千八百八十九—九十年ニ於テハ二四、〇  
 一八弗四〇仙ニ過ギザルナリサレバ砂糖分拆術ヲ以テ有名ナル合衆國、ルイジアナ州  
 「アルフレッド、ゴットシオー」氏ハ近頃墨國諸州糖業研究トシテ滞在中墨國糖業ヲ評シ  
 テ曰ク、

「今日墨國糖業ノ此ノ如ク進歩セザルハ一ニ鐵道運賃ノ高率ナルニ歸因スルモノト云  
 ベク墨國ノ地質「古巴」島ノ地質ニ異ナルコトナク甘蔗ノ耕種ニ適當シ同國ニ於テハ  
 三仙(金貨)ノ價值ヲ以テ一封ノ砂糖ヲ賣出シ得ベキニ墨國ニ於テハ一封廿一仙(銀貨)以  
 上ニ非ザレバ引合ハザルノ現狀ナルガ是レ主トシテ前記セル鐵道運賃ノ高率ナルニ  
 由ルモノナレモ又墨國製糖方法ノ古式ヲ墨守シテ改良ヲ施サザルニ因レルモノアリ  
 ト云ベク今日ハ墨國糖業ニ取リテ新式ノ機械ヲ採用スルト同時ニ更ラニ熟練ナル專  
 門化學家ヲ聘シテ其進歩ヲ計ルベキノ時ニシテ是迄合衆國糖業家ハ化學家ヲ雇フテ  
 耕場中某部ト某部ニ於ケル甘蔗ノ糖分ヲ比較セシメ之ニ應ジテ藥品ノ種類、藥量ノ多  
 寡及ヒ製造方法等ヲ研究スルコトナレバ獨リ糖質ヲ精選スルノミナラズ又大イニ製  
 造費用ヲ節減スルコトヲ得ルモノト云フ可シ「氏」ハ更ラニ進ンテ「廿五萬弗」ノ資本アレ

「ハ墨國ニ於テ耕場ヲ購ヒ甘蔗ヲ植ヘ機械ヲ据付テ砂糖ヲ製造シテ一々年ノ後諸費ヲ  
 引去リテ廿萬弗ノ純利ヲ得ルハ實ニ容易ナルコト云ベク墨國ト「古巴」トノ位地ヲ比  
 較スルニ同國モ一々高價ヲ拂フテ石炭ノ供給ヲ仰クノ勢ナレバ製糖上墨國ニ比シテ  
 決シテ優等ナル位地ヲ有セル者トハ云ヒ難ク是ヨリシテ資本家が墨國糖業ニ着眼ス  
 ルニ至ラシコト期シテ埃ツベシ云々  
 「ゴットシオー」氏ノ論辯スル處ハ主トシテ運搬ノ不便ヨリシテ自然ニ之レガ資金ヲ高  
 メ砂糖ノ價直ヲ騰貴セシムルノ傾アルコトヲ示スモソナルガ今砂糖製造業ノ實費ヲ  
 知ラントスルニハ墨國熱帶產物ニ關シ頗ル精該ノ名アル「カ」ロス、「グ」ラス「氏」ガ「オハカ」  
 州製糖業ヲ目撃シテ算出セル者ニ如クハナシ即チ左ノ如シ

○製糖費用

- 甘蔗刈取ノ爲メ男二人之ヲ製造處マテ輸送スル爲メ三頭ノ驢馬ヲ使用スルトシテ 六十二仙
- 甘蔗磨碎ノ爲メ男二人小供一人磨白ハ牡牛ヲ使役シテ回轉スル者トス 五十仙
- 甘蔗乾蒸ノ爲メ男一人女一人小供一人 五十六仙
- 製糖用槽桶類ヲ乾カス爲メ男一人 廿五仙
- 合計 壹萬九十三仙

○日々砂糖產出高

- 「パチラ」ト稱スル黃砂糖五百封一封ニテ 五弗
- 差引純益 參弗七仙



右ノ計算中ニハ單ニ勞働者ノ賃銀ヲ示スノミニテ牛驢ノ代價機械ノ損料等ヲ算入セサレモ今此等ニ對シテ五十仙ヲ費消スト見積レバ此方法ニテ產出セル砂糖一封ニ付恰カモ半仙ノ費用ヲ要スルモノニシテ尙ホ五割方ノ純利アルモノナリ尤是ハ土人ヲ使用シ從來ノ方法ニ改良ヲ加ヘザル儘ナルヲ以テ十分ニ利益ヲ収ムルコト能ハザルモノナレモ是ヨリシテ新式ノ方法ヲ採用スルニ至ラバ產額ノ愈々大ニシテ販賣價值ノ愈々低落スルニモ拘ハラズ製造者ニ取リテハ十分ノ利潤アルヲ見ルニ至ランコト明ケシト云ベシ

棉花

棉花ハ墨國固有產物ニシテ概シテ冬期降雨少ナキ地ニ繁生シ「ミチヨアカン州」ノ南部「ゲレロー州」「ミナ地方」「ヴェラ、クルース州」等ノ平野若クハ「コワウイラ州」「トラウアッラ湖邊」「沃地」「チウ、州」ノ廣原及ヒ「チャバス」「ソノラ」「ツランゴ」「ヨリマ」「ハリスコ」「オハカ」「アマウリパス」「ヌエボ、レオン」「イダルゴ」ノ諸地ノ如キハ尤モ本品ノ耕作ニ適當スル所ナレバ運搬不便ノ爲メ墨米間鐵道開通后ハ却ツテ米國品ニ壓制セラレテ從來ノ利益ダモ得ルヲ能ハズ該業萎靡ノ模様アリシガ近頃内地運輸ノ開通ト棉業ノ保護ニ伴ヒ今日ニテハ漸次恢復ノ勢ニテ年々產額ヲ増加シ大約一〇、八五七、〇〇〇弗ヲ產出スルノ有様ナレモ本品ハ之ヲ耕作スルニ他ノ作物ト異ナリ多額ノ資本ト幾分ノ熟練ヲ要スルコト故進歩ヲ見ル甚ダ遲シト云ベシ米國棉ニ比シ墨國產ノ尤モ有利ナルハ米國ニテハ年々土地ニ肥料ヲ施シ種子ヲ蒔キ代フルノ必要アルニ反シ墨國ニテハ此等ノ手數ヲ要スルコト少ナケレバナリ技師「マクドナルド」氏ノ計算ニ據レバ棉花耕作ノ収支ハ大略左

ノ如シ

植付ケ及ヒ取入費用「エーカ」

十七弗四十九仙

一「エーカ」產額八百三十二封一封代價六

五十二弗〇〇

差引純益

三十四弗五十一仙

一千八百八十九年調査ノ每州棉花產額ヲ擧クンバ左ノ如シ

「ヴェラ、クルース」	一九、二八八、〇〇〇 <small>「サット」</small>	「ツランゴ」	五、八五六、〇〇〇 <small>「サット」</small>
「コワウイラ」	四、九五〇、〇〇〇	「オハカ」	四、六〇〇、〇〇〇
「ハリスコ」	二、五〇〇、〇〇〇	「ゲレロー」	二、〇〇〇、〇〇〇
「シナロア」	一、五〇〇、〇〇〇	「ヨリマ」	九〇六、〇〇〇
「チウ、」	八五〇、〇〇〇	「アマウリパス」	七一二、〇〇〇
「ソノラ」	六〇〇、〇〇〇	「ミチヨアカン」	五三〇、〇〇〇
「イダルゴ」	三五〇、〇〇〇	「チャバス」	一八四、〇〇〇
「ヌエボ、レオン」	一六〇、〇〇〇	「サン、ルイス、ポトシ」	六九〇、〇〇〇
「ケレタロ」	四六〇、〇〇〇	「サカテカス」	二、五〇〇
「アジアスカリエンテス」	二、三〇〇	合計	四五、一〇五、八〇〇

玉蜀黍 米國大陸ノ發見前ヨリシテ玉蜀黍ハ土人ノ唯一ナル食料品トシテ貴重セラレシ故西牙人ノ當國ヲ征服セシトキニ在リテハ國中到處ニ此品ノ有ラザル所ナキヲ見シト云フ仍ホ今日ト雖モ土人ノ食料ト云ヘバ單ニ玉蜀黍ヲ指稱スルモ不可ナキ程ニテ其產額ノ



夥シキ實ニ驚クニ堪ヘタリ且ツ此品ハ其耕作法至ツテ簡短ニシテ地味ノ如何ヲ問ハズ能ク生長シ些少ノ勞力ヲ施シテ十分ノ收穫ヲ得ルコト故殆シド墨國全体ノ普通產物ト云ベク年々ノ產出價額一、二、一六四、四二四弗ニ上レリ土人ハ之ヲ種々ノ目的ニ利用シ其重モナル者ハ「トーチヨ」ト稱スル日用ノ食糧ヲ製シ又一種ノ酒精ヲ釀シテ之ヲ飲用スト云フ一千八百八十九年調査各州玉蜀黍產出高ヲ擧グレバ左ノ如シ

(「エクトリトレス」ハ我五斗五升五合ニ當ル)

「ハリスコー」	六、三六四、〇三〇 <sup>トレス</sup>	「グアナフアト」	四、八五一、五〇〇 <sup>トレス</sup>
「ミチヨアカン」	三、八六三、〇〇〇	「メキシコ」	三、七五二、四八〇
「アエブラ」	三、六九六、〇〇〇	「オハカ」	三、五四八、〇〇〇
「サカテカス」	三、四四四、九八〇	「サン、ルイス、ポトシー」	二、六三二、三七二
「イダルゴ」	二、三八〇、七四〇	「ヴェラ、クルース」	二、一七〇、三八九
「ゲレロー」	九八五、〇〇〇	「ツランゴ」	九五三、〇〇〇
「トラクスカラ」	九一〇、〇〇〇	「ケレタロー」	九〇〇、〇〇〇
「ヌエボ、レオン」	八六二、四四〇	「ダマウリパス」	八〇〇、〇〇〇
「チアパス」	六一二、五一七	「コウウイラ」	五七〇、九九〇
「タバスコ」	五四九、三〇〇	「チワ、」	四七八、六〇〇
「シナロア」	四七一、五一四	「アグアスカリエンテス」	三九一、五七〇
「ツノラ」	三一七、二五〇	「コリマ」	二八〇、〇〇〇

「ユカタン」	二七四、五〇〇	「モレロス」	一八〇、七一〇
直隸地	一五六、三〇〇	「カムベチエ」	五四、九〇〇
下加里福尼亞領地	六、七三〇	合計	四六、四五八、八一〇
小麥、大麥、米及ヒ豆			

小麥ハ墨國固有ノ穀物ニ非ラザレハ偶然西國人ノ軍糧ニ混シテ輸送シタルモノヲ植付ケシニ繁殖シテ遂ニ今日ノ盛況ヲ致セルモノニシテ殊ニ運輸ノ開ケシヨリハ急進ノ勢アリト云ベク海面ヲ抜ク六千呎ヨリ九千呎迄北緯十八度ヨリ廿四度ナル中央高原地ニ於テ之レカ耕作ニ適當セル土地五萬二千方哩ヲ有シ「ミチヨアカン」「ハリスコ」「グアナフアト」「アグアスカリエンテス」「サン、ルイス、ポトシー」「ケレタロー」ノ諸州ニ涉レルモノト殊ニ所謂「メキシコ」谷地ノ產品ハ佳好ノ名アリテ北部地方產ノ小麥ハ品質劣等ト稱セラレレハ灌溉法ノ行キ届キタル場處ニ在リテハ近頃頗ル佳品ヲ產スルニ至リ年々ノ產出價額ハ一七、四三六、三四五弗トス麥粉ハ耕場附屬ノ磨臼場ニ於テ之ヲ製造シタル上市街地ニ輸送シテ販賣スルモノナレハ米國產ノ麥粉ニ比シ遙カニ劣レル所ケルヲ以テ墨國政府ハ重稅ヲ課シテ其輸入ヲ防遏シ内國製麵業ヲ保護セントスレハ未タ十分ニ其目的ヲ達スルニ至ラズ

「ハリスコー」	九七一、六九〇 <sup>トレス</sup>	「サカテカス」	八二〇、〇〇〇 <sup>トレス</sup>
「グアナフアト」	三九〇、〇〇〇	「チワ、」	二八七、〇〇〇



「アエブラ」	二六〇、〇〇〇	「メキシコ」	三三〇、〇〇〇
「コワウイラ」	二〇〇、〇〇〇	「ミチヨアカン」	一五〇、八三五
「サン、ルイス、ポトシー」	一二五、〇〇〇	「ツランゴ」	一〇九、六九〇
「テレタロー」	九五、〇〇〇	「オハカ」	八〇、〇〇〇
「イダルゴ」	六〇、〇〇〇	「トラクスカラ」	六〇、〇〇〇
「アグアスカリエンテス」	四一、一〇〇	「ソノラ」	四〇、七〇〇
「シナロア」	二七、五〇〇	「直隸地」	二六、〇〇〇
「ヌエボ、レオン」	一六、六五〇	「タマウリパス」	一五、〇〇〇
下加里福尼亞領地	九、九五〇	「ヴェラ、クルース」	九、五七〇
「モレロス」	一、二四〇	合計	四、〇二六、九二五

大麥モ亦西班牙人ノ輸入スル所ニシテ今日重モ牛馬ノ飼料ニ供スレテ漸々醸造業ノ盛大ニ赴クニ從ヒ次第ニ其用路ヲ擴張スルノ有様ナリ本品モ亦中央高原地ノ農産物ニシテ小麥ニ比スレバ一層高地ニ適當セリ千八百八十九年度ノ産額ハ總計二、三三一、六六〇、エクトリトレスナリ

米ハ「ゲエラ、クルース」コリマ「ミチヨアカン」チアパス「ゲレロー」オハカ「タムビコ」ソノラ「ユカタン」モレロス等ノ地味ニ適シ墨國政府ノ尤モ望ヲ屬シ種々ノ獎勵法ヲ設ケテ試植ニ從事スル所ナレトモ一年産出ノ價額僅ニ大約一、二四六、〇〇〇弗ニ過ギヌ之ヲ當國ニ於ケル米作適當ノ田地ニ比スレバ實ニ微々タルモノト云ベシ必竟米作ハ重モニ陰濕

纖維植物

ノ地ヲ宜トスルコトナレバ自然瘴毒ノ人体ヲ害スル恐レアルヨリシテ此事業ノ進捗ヲ妨クルモノナリ

豆ハ玉蜀黍ニ次ケル墨國人最要ノ日常食品ニシテ一千八百八十九年ノ調査ニ由レバ其産額二、七四四、五一七、エクトリトレスニ上レリ

墨國ニ産スル纖維植物ハ頗ル多種ニシテ就中「エチケン」「イキストル」「芭蕉」「ミ」「霸王樹」北緯廿七度ヨリ卅一度迄ナル下「カリホルニア」領地ニ産スル等ニシテ「エチケン」「イキストル」ハ其ニ輸出品中ノ要物ナリ

「エチケン」ハ墨國「ユカタン」及「ヒカムベチユ」州特産ノ「呂宋麻」ノ種類ニ屬スル一植物ニシテ麻「マニラ」纖維等ト共ニ專ラ繩索ノ製造ニ使用スルモノナルガ貴金屬ヲ除ケバ墨國輸出品中ノ最多額ヲ占ムルモノニシテ千八百九十一年度ニ在リテハ七、〇四八、五五六弗七六仙ニ上レリ「ユカタン」州ハ其地味至ツテ礮礮ナリシニ一旦本品ノ耕作ヲ始ムルニ及ンテ農夫ノ所得ハ實ニ著シキ巨額ニ達シタリト千八百七十八年ハ「エチケン」ノ價格尤モ下落シタル年ニテ一封四仙半位ナリシヲ以テ農夫ハ大イニ其不幸ヲ愁訴シタリシカモ諸費用ヲ引去リ尙ホ資本ニ對シテ壹割乃至壹割二分ノ純利アリシ割合ナレバ若シ一封ノ價格ハ九仙ニモ上ルトキハ殆ンド二割以上ノ純利アル筈ニシテ本品耕作ノ如ク有利ナルモノハ少ナク近頃墨國「シナロア」州ニ於テモ之レカ耕植ニ從事スル者アルニ至レリ今左ニ千八百九十一年中ニ於ケル「エチケン」ノ外國輸出高ヲ擧



クレバ左ノ如シ

合衆國

二七五、八九〇 榎一榎ハ我四十八貫

英國

一八、一七三、

「キユバ」島

六、六四一、

獨逸

三、五〇九、

白耳義

二、二八一、

佛蘭西

二、五四一、

西班牙

九二九、

和蘭

一〇〇、

伊太利

五〇、

合計

三二〇、〇八四、

一千八百九十一年十二月三十一日「ユカタン」アログレン「府」ニ於ケル「エチケン」アロバ

ニ廿五封ノ代價壹弗五十三仙トス

龍舌蘭

此種ハ其種類殆ント三十三種アリト稱シ呂宋麻ノ一種ニシテ墨國固有ノ植物ナル

ガ「アルケ」ト稱スル特産ノ酒類ヲ搾リテ飲用ニ供スルモノニシテ特ニ海面ヲ抜ク七

千呎以上ノ所ニ生長スルヲ常トシ「イダゴ」トラックスカラ「プエブラ」ノ諸州ヲ其最ナル

モノトス「イダゴ州」ニ在リテハ大概一耕場「アシエンダ」ハ二萬二千ニ「アシエンダ」ハ二萬二千ニ

「トラックスカラ州」ニテハ四百萬弗「プエブラ州」ニテハ二百萬弗ニ及ブモノアリ本樹耕作

諸種ノ首要産物

ノ土地ニ到レバ數里ヲ連テテ一耕場トナシ凡ソ三碼計「ヤド」ヲ隔テ一畦ヲ作り殆ソド視極目之ヲ并植セル様ハ實ニ驚クニ堪ヘタリ此故ニ「アルケ」酒ノ日々墨府ノミニテ飲用セラル、モ廿五萬「バインツ」「バインツ」ハ我三ニ上リ産地ヨリハ日々別仕立ノ汽車ヲ以テ之ヲ輸來スルノ有様ナリ一千八百八十年中墨國ニ於ケル「マギー」ヨリノ酒類産額ハ「アルケ」一八七、一五四、二九七、キログラム其價額四、五八九、五二八弗酒精九、〇一六、〇〇〇「キログラム」一七六、〇〇〇弗「マギー」酒五、一五二、七六四「キログラム」五七〇、六四六弗トス此種ハ獨リ酒精ヲ與フルノミナラズ諸種ノ使用ニ供セラレテ頗ル精良ノ紙ヲ製シ又之ヲ以テ家宅ノ屋根ヲ葺クニ用ユ

墨國が天候地利ノ便ニ依リテ諸種天産物ニ富饒ナルコトハ他ニ其類ヲ見難キ所ニシ

テ今之ニ人工ヲ加フルニ至ラバ殆ント富有ノ計數ス可ラザルモノアリト云ベク中ニ

モ其重モナル者ヲ擧クレバ左ノ如シ

「法尼拉」「アニラ」(植物科) 九〇〇、〇〇〇弗 「ゲエラ、「クニス」「オハカ」

「サルサボリア」二〇〇、〇〇〇弗 「ゲエラ、「クルイス」「オハカ」

「チヨコレイト」一、三三三、三六〇弗 「タバスコ」

「フハカ」 「ゲエラ、「クルイス」「タバスコ」

「藍」 三七二、九一〇弗 「オハカ」

「チヤパス」 「ゲレロ」 「ゲエラ、「クルイス」「ソノラ」



烟草 二、五〇〇、〇〇〇弗 「ヴェラ、クルース」 「タバスコ」 「カムベチエ」 「ユカマ

ン」 「チャパス」 「オハカ」 「グレロ」 「ハリスコ」 「シ

ナロア」 「コリマ」

「ゴチニール」(紅色染料ヲ製) 一一一、九一〇弗 「オハカ」  
此外墨國產藥物ニシテ有益ノ望ミアルモノハ鳳梨、蔗實、密柑、檸檬、瓜類等トス是等ハ重  
モノ合衆國ニ向ツテ販賣セラル、モノナルガ墨國地味ノ適當ナルヨリシテ自然ニ良  
好ノ名ヲ博シ今日ニテモ其販路頗ル廣ク之レガ耕作ノ有利ヲ証スルモノニシテ仮令  
ヘバ一千八百八十八年中合衆國ニ於テ加里福尼亞産ノ檸檬ハ一箱壹弗五十仙ナリシ  
ニ墨國品ハ五弗ヨリ六弗ノ高直ヲ有シ加里福尼亞産密柑ハ一箱壹弗ヨリ二弗ナリシ  
ニ墨品ハ一箱三弗廿五仙ニ上レリ蔗實ハ海面ヲ抜クコト一千九百呎ヨリ二千四百呎  
ノ處ニ生長シ之ヲ耕作スルニハ大概一株ノ費用植付ヨリ收穫ヲ見積リテ五仙トナシ  
一年ヲ經過スレバ一朶ノ収實アル者ニテ其價合衆國ニテハ二弗五十仙ヨリ三弗トス  
然レバ一千株ヲ植付クルニハ僅カニ五十弗ヲ費スニ過ギザレドモ蔗實ノ直段ヲ如何  
ニ安ク見積ルモ其收得ハ一年間ニ一千弗ヲ得メシ且芭蕉ハ只佳味ノ菓實ヲ着クルニ  
止マラス其幹葉ヨリハ紙又ハ繩索ヲ製造シ得ベキ材料ヲ給セリ密柑ノ培養ハ尙未ダ  
幼稚ナルモノナレド墨國西北地方ニ於テ次第ニ進歩スルノ有様ニシテ「ソノラ」一州ヨ  
リ合衆國ヘノ輸出高ヲ擧クレバ左ノ如シ  
千八百八十四年度 一〇、九九三弗 八十五年度 一〇、九二二弗  
千八百八十四年度 一〇、九九三弗

八十六年度 一四、六五四弗 八十七年度 一三、〇二六弗

八十八年度 一五、五四一弗 八十九年度 二六、四二四弗

九十年年度 四三、六〇七弗

密柑ノ培養ハ頗ル有益ナルモノニシテ合衆國政府編纂ノ墨其哥事情ト稱セル書籍ニ  
由レバ大概男一人ニテ柑園七、エーカーヨリ九、エーカー迄ヲ監護シ得ベク一株ノ柑樹  
ヨリ墨國熱地ナレバ五千個ヲ收穫シ得ベキ筈ナレド之ヲ半減シテ二千五百個トナス  
モ廿五弗ノ収入アル可ク而シテ「エーカー」ニ七十株ノ柑樹ヲ植付クルコトヲ得ルトスレ  
バ「エーカー」ニ對シテ千七百五十弗即チ一人ニ付壹萬二千二百五十弗ノ収入アルベ  
キ筈ナリ「ソノラ」州ハ墨國隨一ノ柑産地ニシテ其内同州「エルモシヨ」地方ノ産品ハ特殊  
ノ名アリテ一千八百八十九年中ニ「ノガレス」税關ヲ經過シテ合衆國諸地方ニ輸出セラ  
レシモノ一萬三千百九十箱ニ上レリ今墨國ニ於ケル原價墨銀二弗ノ密柑三百箱ヲ「  
カゴ」府迄輸出セシニ其總額六百弗トス之ヲ米貨ニ換算スレバ四百五十四弗八十仙ニ  
シテ「ソノラ」州「グワヤマス」ヨリ「シカゴ」府迄ノ運賃ヲ米金二百六十二弗五十仙米國ノ境  
ニ於ケル輸入税金及ヒ領事証明料等ヲ七拾七弗五十仙トスレバ總入費七百九十四弗  
八十仙即チ「シカゴ」府ニ於テ密柑壹箇ノ直段一仙八三二分ノ一立方呎ニシテ密柑大凡  
含シテ常トス「トナル」割合ニテ此計算ハ「セント、ポール」桑港「ロス、アンヘレス」等ニ適  
用スルヲ得ベク「グワヤマス」ヨリ「カンサス」市「アマハ」アルケルケ「セント、ジョセフ」デ  
ン「ト」等ニ輸出スルニハ運賃ノ下廉ナルヲ以テ大概一箇一仙七七ニテ賣捌クコ



トヲ得ベシ鳳梨ノ培養モ亦頗ル有益ナル事業ニシテ壹萬株ヲ植付クルニハ恰カモ  
 二、エーカー半ノ土地ヲ要スベシト雖モ其畦間ニ玉蜀黍ヲ蒔付クルコトナルヲ以テ諸  
 般ノ費用ハ大概之レニテ相償フコトヲ得ベク而シテ産地ニテ之ヲ賣捌ケバ一打僅ニ  
 三十七八仙ニ過ギザレモ合衆國ニ輸出スレバ一打六弗ニ及ブコトアリサレバ「エー  
 カー」ニ付大凡一千弗ノ純利ヲ得ベキ筈ニシテ男一人ニテ鳳梨園六「エーカー」迄ヲ監護  
 スルヲ得ベシ

牧畜

牧畜モ亦墨國首要産業ノ一ニシテ殊ニ北部諸州ヲ以テ尤モ適當ノ地方トナス氣候地  
 理ノ上ヨリ云ヘバ該事業ヲ以テ墨國ガ後來「アルゼンチン」共和國ノ競争者ト爲ラシ  
 ト難キニ非ズ近頃英米人ハ頻リニ北部諸州ノ土地ヲ購フテ家畜ノ飼養ニ從事スルニ  
 至レルガ獨リ北部諸州ノミナラズ南部地方モ亦夥シク牧草ニ富メルヲ以テ其牧畜  
 ニ適當ナルコトヲ証セリ  
 左ニ記スル所ハ首府ヲ去ル二百四十九哩ニ位シ鐵道停車場ヲ去ル五十哩ニシテ六百  
 十七「エーカー」七五ヲ有セル牧場ニ關シ當局者ノ報道セル計算ニシテ信用スベキモノ  
 ナリ

○費用ノ部

- 牧場面積六百十七「エーカー」七五 「エーカー」代價 四弗八十六仙 三〇〇二弗二六
- 牧草蒔付ク垣結ヒ小屋掛ケ其他諸費 九〇二弗〇〇
- 前記二事經費利子一年一割二分トシテ 一、四四二弗六七

第二年合計

第二年牛千頭(一頭十六弗)

諸費利子等

第二年合計

首府マア運賃諸稅等

總計

○賣上ノ部

牛九百七十頭 同養中百分ノ三ヲヨリ五十八萬二千封 牛一頭ニ付 六百封ノ内 七失スル見込ニテ 四〇、七四〇弗〇〇

牛皮九百七十枚一枚三弗ニ賣捌ケバ 二、九一〇弗〇〇

屠殺費一頭壹弗トシテ 九七〇弗〇〇

一頭ニ付脂肪百封ヲ得ルトシ之ヲ一封十二仙ニ賣捌ケバ 一、一六四〇弗〇〇

屠殺費一頭壹弗トシテ 九七〇弗〇〇

總計

差引二年間純利

第三年ヨリハ前二年間ニ於テ土地ノ代價ヲ皆償セルコト故飼養費用ハ牛代及ヒ諸費

ニ止リ其概算……………三、一〇〇九弗〇〇

トス然レニ賣上高ハ前年ニ異ナルコトナク……………五六、二六〇弗〇〇

ナリ差引純利ハ即チ資本ノ七割ニ相當ス……………二五、二五一弗〇〇



「ツランゴ」ツノラ「チワ」、「ヌエボ、レオン」コウウイラ「マヤウリパス」ゲエラクルース「ミチヨ  
 アカン」ノ諸州ハ尤モ牧畜事業ニ適當シ諸方ノ供給ヲ引受クル所ナルガ單ニ墨府ノミ  
 ニテモ一千八百八十八年間ノ費消高牛八萬三千二百廿八頭羊十三萬二百六十三頭ニ  
 上レリ一千八百八十三年中ニハ墨國北部地ニ於ケル三十萬方哩ノ牧場ニ牛百五十萬  
 頭山羊二百五十萬頭羊百萬頭馬百萬頭騾馬五十萬頭ニシテ同年間墨國全体ノ牧場數  
 ハ二萬五千七百七十四ヶ處ト價額五億一千五百萬弗ヲ有セシトノ事ナレバ爾來九年間ニ  
 於テ著シキ増加ヲ成セシトナラン墨國ハ只内國用ヲ充タヌニ止マラズ合衆國ニ比  
 スレバ氣候ノ溫暖ニシテ牧草ニ豐富ナルガ爲メ斃死ノ虞レ少ナク一千八百八十七  
 八十八年度間ニ於テ合衆國ニ輸出セシ高左ノ如シ

馬	二萬二千八百廿五頭	二三九、三四二弗五〇仙
牛	一萬九千三百三十二頭	一一五、二七九弗八〇仙
羊	七萬一千二百三十二頭	一一九、六三一弗七五仙
騾馬、驢馬	二千六十八頭	三二、六三一弗五〇仙
諸他獸類		四九、一弗五〇仙
惣計	十萬六千二百十八頭	五〇七、三七七弗〇五仙

牧畜ニツキテ盛大ナルハ皮革事業ニシテ墨國ハ世界中首要ノ位地ヲ占メ居リ一千  
 八百八十七、八十八年度間ニ墨國ヨリ合衆國ニ輸出シタル粗皮、製革ハ墨銀百七十一  
 萬八千五百四十四弗六十五仙ニシテ之ヲ細別スレバ

牛皮	六三九、八八〇弗〇二仙
製皮	三〇、八四弗六八仙
羊皮	六三三、三弗〇〇仙
山羊皮	九四三、〇六一弗〇三仙
鹿皮	九九、六一三弗二八仙
其他獸皮	二五、五七二弗六四仙

墨國人製革ニ熟練ナルヲ以テ皮革製造場ハ日々増加スルノ勢アリテ現ニ墨府ノミニ  
 テモ三十ヶ所計リモアル可ク殊ニ「レオン」府ヲ以テ製革事業ノ中心トナシ諸種ノ物品  
 ヲ製造セリ而シテ一千八百八十八、八十九年度中ニ於テ墨國產皮革ノ物輸出高ハ墨  
 銀二、〇一一、二九弗ニ上レリ就中羊皮ノ如キハ婦人及ヒ小兒用ノ靴類ヲ製スルニ適  
 シ絶佳ノ名アリテ合衆國ニ輸出セラレ、モノハ一封印價四十仙乃至四十五仙ナリ

### 第三章 工業

墨國及ヒ中央亞米利加ニ於ケル「ナウアス」及ヒ「マヤ」種族ガ古代ヨリ技藝ニ精熟ナルヲハ著明  
 ナル事實ニシテ金石、貝殻木材ヲ利用シテ諸種ノ粧飾品ヲ作り殊ニ陶磁器ノ製造ニ長シ木綿、  
 兔毛、鳥羽等ヲ以テ布疋ヲ織リ龍舌蘭椰子等ノ如キ纖維以テ紙ヲ漉キ或ヒハ索繩、蓆席ヲ組ミ  
 獸皮ヲ精製シテ衣服馬具等ニ使用シ且ツ尤モ巧ミニ鑛物、動物、植物ノ色素ヲ撰擇シテ染彩用  
 ニ充ツテ殆ント其比ヲ見ルベキニ非ズ斯ノ如ク土人ハ固有ノ技術ニ富メルヲ以テ工業ハ墨  
 國人ノ長所ト爲ヌニ似ヌト雖モ一言以テ之ヲ評スレバ墨國土人ハ僅カニ其手工ノ精巧ヲ



有スルニ過キザルモノニシテ之ヲ規模ノ宏大ナル製造事業ニ適用スルコトヲ知ラザルモノト云フベク國內需用ノ益々急促ナル今日ニ當リテハ止ムヲ得ズシテ之ヲ外國ノ供給ニ仰ガザルヲ得ザル有様ナレバ斯ノ如ク天資ノ満足セルニモ拘ラズ一々之ヲ精製シ自ラ輸賣者タルノ位置ニ達スル能ハズシテ僅ニ貴金屬產出ノ饒多ナルヲ頼ミテ外國ノ供給ヲ支フルモノト云フベシサレバ今ヤ墨國ハ殆ンド輸入禁遏ニ近キ保護稅ノ石壁ヲ築イテ內國產ノ進歩ヲ促セ且今日ニ於テハ之ヲ稱シテ工業國ノ名ヲ冠センコト尤モ難シト云フ可ク且ツ將來タリトモ當國ニ產出スル天產物製造ノ區域ヲ越エテ百般ノ工業ニ從事センコトハ到底之ヲ望ム可ラザルガ如シト雖モ獨リ墨國天產物ノ製造ノミニテモ今日ヨリ之ガ改良ヲ要シ其擴張ヲ計ル可キ者實ニ少カラス必竟スルニ墨國工業上ノ第一困難ト云ヘルハ勞働社界ノ大部ヲ占ムル所ノ土人が古來精技ノ天賦ヲ有セルニモ拘ハラズ其性質至ツテ惰怠ニシテ祖先ノ遺風ヲ棄テ近代開明ノ利器ヲ代用スルノ氣象ニ乏シク日常ノ生活モ極メテ非薄ナルニ安スソシテ毫モ其位地ヲ前進セントスルノ名譽心ナキコトナルヲ以テ其需用ハ僅カニ生命ヲ支持スルヲ以テ満足スル程ナレバ國內工業ノ振起セザルモ其由アリト云ベシ然レモ近來墨國政府ハ無比ノ進歩主義ヲ抱イテ十分ノ保護ヲ加ヘ以テ富資ノ増加ヲ企圖セルガ爲而今而后日ナラズシテ當國工業上ノ面目ヲ改ムルモノアラソコト必セリ夫レ一國經濟開發ノ順序ヨリシテ鑛山事業ニ陸續其趨向スルモノ減退シ漸次ニ農業ノ時代ヲ來シ然ル后工商業ノ發達ヲ見ルニ至ランコト墨國ハ彼合衆國西部諸州ガ過去四五十年間ニ經過シタル歴史ト恰モ其揆ヲ同フスルモノト云ヘク今ヤ内外人が墨國ヲ以テ唯一ノ銀產國ト見做シタル假想ハ到底之ヲ以

テ一國ノ維持ヲ長久スル所以ニ非ザレバ漸クニシテ實着ノ氣風ヲ馴致スルニ至リ農工商業進歩ノ必要ヲ知ルニ至ルハ自然ノ數ナリト云ベシ且ツ工業ノ如キハ粗製物品ノ増加ト共ニ其擴張ヲ促スモノナレバ墨國ノ如キ廣大ナル地積ヲ有スル國ニ在テハ殆ント無盡ノ源泉ヲ有スルモノニシテ依令ヒ墨國工業ヲシテ墨國粗製原料ノ領域ヲ越ユ可ラザルモノトスルモ焉メテ其版圖ノ狹隘ナルヲ憂ヘン今左ニ目下墨國ニ於ケル工業ノ重要ナルモノヲ列記スベシ

**棉布製造業** 墨國製造業ノ最要ナルモノハ棉布就中土人ノ「マント」ト稱スル粗製棉布ノ產出ニシテ國內諸製造所ニ於テ使用スル棉花ハ無慮二千六百萬封ニ及ヒ製棉事業ノ爲メニ生計ヲ支フル家口ハ五萬戸以上ニ上レリト製造場ニ使用スル機關ハ英米ヨリ輸入セル近時改良ヲ施シタル發明品ニシテ「マント」壹反ノ長サ三十「ヤード」四「インチ」幅三十「インチ」ニ「ス」ニ當ル「バ」ラ代價ハ二圓八十仙ヨリ四圓内外トス墨國棉布製造所ノ員數

州名	員數	每年產出反數	代價
直隸地	六	四五二、四〇〇反	一、五八三、四〇〇弗
「アグアスカリエンテス」	三	三六、〇〇〇	一、二六、〇〇〇
「コワウイラ」	八	三〇二、〇〇〇	一、〇五七、〇〇〇
「コリマ」	二	四八、〇〇〇	一、六八、〇〇〇
「チワ」	三	九〇、〇〇〇	三、一五、〇〇〇



「アラソゴ」	七	一五〇、〇〇〇反	五二五、〇〇〇弗
「グアナフアト」	四	二七二、四〇〇、	九五三、四〇〇、
「ゲレロー」	一	二四、〇〇〇、	八四、〇〇〇、
「イダルゴ」	一	一六、八〇〇、	五八、八〇〇、
「ハリスコー」	九	二八二、〇〇〇、	九八七、〇〇〇、
「メキシコ」	三	一八六、八〇〇、	六五三、八〇〇、
「ミナヨアカン」	三	一一四、〇〇〇、	三九九、〇〇〇、
「スエボレオン」	三	五四、〇〇〇、	一八九、〇〇〇、
「オハカ」	二	七二、〇〇〇、	二五二、〇〇〇、
「アエブラ」	二二	九九五、二〇〇、	三、四八三、二〇〇、
「クレタロー」	三	一五〇、〇〇〇、	五二五、〇〇〇、
「サン、ルイス、ポトシー」	一	三三、四〇八、	一一六、九二八、
「シナロア」	三	一四一、六〇〇、	四九五、六〇〇、
「ソノラ」	一	一一、〇〇〇、	四二、〇〇〇、
「トラグスカラ」	二	二六、四〇〇、	九二、四〇〇、
「ヴェラ、クルース」	八	二八七、七〇〇、	一、〇〇六、九五〇、
「ユカタン」	一	一五、六〇〇、	五四、六〇〇、
「サカテカス」	一	六、〇〇〇、	二一、〇〇〇、

合計

九七

三、七六八、三〇八、

一三、一八九、〇七八、

右ニ記セル「マノタ」ノ外「レボソ」ト稱スル婦人用ノ肩掛綿糸入り毛布手巾等ヲ製産スル爲メニ綿糸三千噸三噸ハ我二百七十四噸ニ當ルヲ費消スト云フ内國産ノ外英米國ヨリ之ヲ輸入スルモノ頗ル多ク綿糸肩掛ノ關稅ハ織糸ノ多少ニ從ヒ稅率ヲ異ニシ大概一「メートル」方形ニ付一弗廿仙ヨリ五弗位トス

毛絨品製造業

「サラパ」ト稱スルハ行クニハ肩掛トナリ臥スルニハ寢具トナルベキ土人必用ノ毛製日用品ニシテ其需用高頗ル大ニ就中「サンチヨ」及ヒ「サン、ミゲル」ノ産品ハ織質染色ノ良好ナルヲ以テ其名著シク殊ニ毛布製造ハ棉布ト異ナリ多クハ在來ノ織法ヲ守用シ大概ハ小仕掛ヲ以テ一家内ニテ之ニ從事シ婦人ノ生業ト爲スニ過ギザルガ如キ有様ナレバ今年額ヲ確知シ難シト雖統計家「バラス」氏ノ概算スル所ニ依レバ直隸地ニ四箇ノ製造所アリテ毎年十六萬二千反ヲ産出シ「メキシコ」州ハ製造所三箇毎年産額十五萬反「アエブラ」州ハ製造所五箇毎年毛糸五十五萬封ヲ産出シ「イダルゴ」州ハ製造所三箇毛布十二萬五千反毛氈カウツ五萬「バラス」州ハ産出ス「サラパ」一枚ノ代價ハ品質ニ從ヒ二弗以上七八弗ニ至リ毛氈ハ「バラス」八十仙以上壹弗二三十仙迄トス

陶器製造業

墨國庖厨ニ於テハ釜鍋ヨリ皿碗ノ類ニ至ルマテ多クハ陶土器ヲ使用セルガ爲メ陶器製造ハ墨國工業中第三ノ地位ヲ占有スルモノニシテ大概到ル處多少ノ陶器ヲ産出セザル村落ナシト雖「就中」グアダハラ「サカテカス」グアナフアト「アエブラ」等ヲ以テ該事業ノ中心ト稱セラル然レ「産地」ニ隨ツテ各其獨有ノ素地、意匠及ヒ光澤ヲ



有シテ優劣ヲ別ク假令ハバ「グアダラハラ」ノ產品ハ鼠色ニシテ燒ケ弱ク磨滑セルガ上ニ色彩及金銀箔ヲ施ス者多ク「サカテカス」ノ產品ハ赤色ニシテ燒ケ強ク渤藥ノ下ニ散ラシ模様ノ彩飾ヲ加ヘ「グアナフアト」ノ產品ハ「サカテカス」産ニ比スレバ脆弱ナリト雖也概シテ燒ケ強ク通常深褐及ヒ深綠色ノ間ニシテ美シキ渤藥ヲ施ス者多ク中ニハ淺刻ヲ加フルモノアリ「プエブラ」ノ產品ハ陶器ト粗造ナル磁器ノ中間ニ位スル者ニシテ深色彩飾ヲ施セルガ上ニ厚ク鉛料ヲ渤スル者多シ同地産ノ敷瓦ハ頗ル秀逸ノ譽アリテ諸寺刹ノ内外裝飾ニ使用スルコト夥シ食卓用ノ磁器ハ大概白色青彩ノ物多ク直隸地内ニ二箇ノ製造所アリテ盛ンニ日用品ヲ産出セリ

諸種製造業

墨國が斯ノ如ク纖維植物ニ豐富ナルニ拘ハラズ國內製紙業ノ振起セザルハ實ニ不可思議ノ極ニシテ消費スル所ノ紙類ハ大概之レが供給ヲ外國ニ仰クノ勢ナレバ紙價ノ高直ナル實ニ驚クニ堪マリサレバ國內ヲ通テ製紙場ハ「ハリス」州ニ二箇「ウエラ」州ニ一箇直隸地ニ四箇アルモ僅ニ包ミ紙若クハ新聞用紙ヲ製出スルニ過ギス

酒精釀造業ハ國內到ル處之ニ從事スレバ近時發明ノ機械ヲ使用スル者少ナク「マスカ」又ハ「テキラ」ト稱スル劇性ノ火酒ヲ龍舌蘭ヨリ蒸取スルモノアリ又甘蔗ヨリモ一種ノ火酒ヲ産出セリ葡萄ハ「チワ」、「コウウイラ」、「ヌエボ」、「レオン」、「アグアスカリ」等ノ諸州ニ産シテ頗ル良好ノ葡萄酒、火酒、砂糖ヲ生産スト稱セラルレドモ規模至ツテ狭小ニシテ未ダ内國ノ需用ヲ充タズニ足ラズ内國産麥酒モ亦佳品ノ名

アルモノアレバ産額至テ少ナリシト云フベシ

烟草製造業ハ尤モ盛大ナルモノニシテ所々烟草製造所ヲ設立シ國內ヲ通計スレバ殆ンド幾百ヲ以テ之ヲ算フ可ク單ニ墨府ノミニテモ製造所ノ數十五ニシテ烟草小賣店ハ千二百餘ノ多キニ上レリ「ウエラ」、「クル」産ノ烟草ハ殆ンド「キユバ」島産ニ比敵シ外國輸出高毎歲百萬弗以上ト稱セラル紙卷烟草ハ低廉ニシテ壹弗ニ付七百本ヨリ八百本葉卷烟草ハ千本ニ付墨銀三十五弗ヨリ八十弗位ナリ

硝子製料ニ適ス可キ鑛物ハ墨國內所々ニ散在スレバ之レが製造業ハ極メテ幼稚ナルモノニシテ窓戸用玻璃、燭臺等ヲ製出スルニ過ギズ且其價格非常ニ高ク通常窓戸用玻璃一枚ノ代價七十五仙トス

鑄鐵事業ハ墨國鑄鐵ノ良好ニシテ且ツ夥多ナルヨリ今日已ニ其設立ヲ見ルコト頗ル多シト雖也製出品ハ重モニ農具若クハ鐵條等ニ止リ近頃某鑄鐵場ニ於テ製糖機械ヲ製造セシコトアリシガ費用ノ大ナルガ爲メ外國品ノ競争ニ敵スルコト能ハズ又墨府ニ在ル官有戎器製造處ニ於テハ頗ル利便ノ銃砲及ヒ彈藥ヲ製出セリ

燐寸ハ外國輸入品ニ對シテ「キログラム」一弗五十仙ノ重稅ヲ課シ墨府及ヒ「プエブラ」府ニ於テ之レが製造ニ從事スル者アレバ内地ノ製造ハ未ダ内地ノ需用ニ應スル能ハ

才蠟製品一箱七十本入ノ小賣直段三仙餘ニ當レリ  
墨國今日ノ狀態ヨリシテ考フルニ諸種製造業ノ内尤モ其進歩ノ必要ヲ感シ且ツ資本ニ對シテ十分ノ利益アルベシト思ハル、モノハ合密品、食鹽、精製木材器具、肉類ノ罐詰



及鹽藏等ヲ以テ其重モナルモノトシ殊ニ木材品ノ如キハ國內到ル處美材ノ山林多ク之ヲ伐出シテ家具ヲ製スルニ於テハ獨リ外國品ヲ輸入スルガ爲メ毎歲四百萬弗許ヲ費消スルコトヲ要セザルノミナラズ却ツテ外國ニ向ツテ其需用ヲ充タスニ至ラン左ニ抄録セル一節ハ該事業ニ對セル外國資本家ノ所見ヲ察スルニ足ルベシ

墨國ヲ以テ家具及ヒ諸種木材品製造ノ中心ト爲サントセルコトハ合衆國ニ於テ該事業ニ從事セル輩ノ頗ル熱望スル所ニシテ墨國人ノ需用スル家具ノ巨額ナルト又々同國山林中夥シキ良材ノ繁茂スルコトハ共ニ著シキ事實ニシテ頗ル事業ノ有利ヲ示スモノナレバ「マツサチユーセツト」州ナル椅子製造會社ハ近頃人ヲ同國「オハカ」州「ゲレロー」ノ兩州ニ送リテ木材ノ性質及ヒ總額ヲ查究シ且ツ製造場ニ適用スベキ水力ノ便否ヲ探討セシムル所アリ今同國ニ於ケル家具及ヒ木材ノ輸出入ヲ擧グレバ一千八百八十八年中ニ合衆國ヨリ同國ニ輸入セシ家具ノ價格ハ百二十萬弗ニシテ同時ニ同國ヨリ堅質材ヲ合衆國ニ輸出セシ者五十萬弗其他諸國ニ輸出セラレシモノ殆ント百五十萬弗ニ上レリ一旦鐵道ノ布設ニシテ森林地迄ニ到達シ運搬ノ便ヲ加フルノ曉ニハ木材需用ノ額ハ益々増加スベク且ツ今日朽廢ニ委シ去ル所ノ良材ト適當ナル水利ヲ使用シテ墨國ガ自國ニ於テ家具類ヲ製造シ内外ニ供給スルニ至ランコト必セリ其他墨國林產物ニシテ同年中ニ輸出セシモノ百八十萬弗ノ多キニ上レルヲ以テ森林ノ富饒ナルヲ證スベシトイヘ此等ノ森林地タル運搬ノ便ヲ欠ケル所ノ者ナレバ未ダ十分ニ其遺利ヲ蒐集利用シタル者ト云フ可ラズ只内地鐵

道ノ普及ハ恰カモ墨國林業ノ進歩ヲ助長スル者ニシテ是迄僅カニ鑛山家ノ跋渉ヲ見ルニ過ギザル内部諸州ノ僻郷ヲシテ美麗ナル工業地ニ變ズルノ日近キニ在ルベシ

天生ノ鹽ハ國內所々ニ產出シ尤モ有名ナルハ「サンルイス」州ナル「ベニヨン」州ラシヨニ產スル者ニシテ鹽分七十乃至八十ヲ包含スルト稱セラルレモ未ダ之レガ精製ニ從事スルモノナク食鹽壹袋合衆國ニ在リテハ賣價十仙内外ニ過ギザル者墨國ニ於テハ殆ント三十仙以上ニ上レリ含密品モ亦々墨國ニ於テ甚ダ有利ナル望アルモノニシテ鑛山ニ使用スル者夥シク且ツ后來農業ノ進歩ニ連レテ之レガ需用ヲ増加セシ

墨國ニ於ケル養蠶事業ハ未ダ旺盛ナラザレモ漸次進歩ノ模様アリ昔時西國人ノ此國ヲ征服セキ已ニ土人間ニハ製絹ノ業ニ從事スル者アリシモ西國人ノ爲メニ禁遏セラレ遂ニ廢滅ニ歸シ去リシガ再ヒ之ヲ恢復スルニ至リシハ近年ノ事ナリ墨國天候ノ蚕兒發育ニ適セルハ殆ント宇内無比ナリト云ベク現時該事業ノ尤モ盛大ナルハ「オハカ州」「オハカ」「プエブラ州」「テテラ」「イダルゴ州」「イキスキルバム」ニシテ其他「ハリスコ」「オハカ」「トラクスカラ」「ミチヨアカン」「ケレンドロ」「ヂエラ」「クルース」「ナワ」「サカテカス」ノ諸州ニ在リテモ之ニ從事シ諸種ノ桑樹ハ直隸地及ヒ諸州ニ繁茂シ一千八百八十六年中已ニ四個ノ會社ハ其規模大ナラズト雖モ佛國ヨリ製糸機械ヲ輸入シ數多ノ女工ヲ雇使セシ下聯邦政府及ヒ各州政府ニ於テハ頗ル該事業ノ發達ヲ希望シ「プエブラ州」ノ如キハ



一千八百八十六年中法令ヲ發シテ起業ノ第一年目ニハ製絹一キログラムニ付壹弗ノ保護金ヲ與ヘ次年ヨリハ五十仙ヲ與ヘ又桑樹ノ培養ニ供用セル土地ハ五ヶ年州稅ヲ免スベキ旨ヲ告知セリ連邦政府モ亦同様保護ノ政策ヲ執リ本年初メ農商務省ハ三月一日迄ニ願出ツル者ニハ各自所有桑葉ノ多寡ニ應ジテ蚕卵ヲ給與シ又養蚕志願者ニシテ桑樹ナキ者ニハ桑實ヲ給與スベキ旨ヲ達セリ以テ墨國當局者ガ養蚕事業ノ發達ニ汲々タルヲ察ス可シ

鑛山事業

墨國ノ鑛産ニ富メルハ比類ナキモノト云フベク東西兩洋ノ中間ニ連亘セル一帯噴火山岳ノ下ニハ無盡ノ寶庫ヲ藏匿セルモノニシテ鑛山事業ノ墨國ニ盛行セラル、ニ至リシヨリ已ニ四百ノ星霜ヲ經過セリト雖モ今ニ至テ之ヲ掘盡スルノ虞ナカルヘシ墨國鑛山ノ數斯ノ如ク夥多ナルニ反シ之レガ採掘ニ從事スル者極メテ少數ナルノ割合ナリシガ近歲ニ至リ頓ニ其採掘量額及ヒ箇數ヲ増加スルノ有様トナリシハ單ニ左ノ原因ニ基イセル者ト云ハザルヲ得ズ

一千八百八十六年中銀價下落ノ爲メ墨國ハ殆ンド經濟上恐慌ノ有様ナルニ際シ國會ハ審査委員ヲ撰ンデ之レガ救濟ヲ講究スル所アリシガ委員ハ之ニ答ヘテ墨國ハ今後銀ノ産出ニ依頼シテ國計ヲ支持センコト頗ル難シト云ベク該國地利天候ノ諸種生産ニ適順ナルハ更ニ之ヲ疑フ可カラザルノ事實ナレバ十分ニ保護ヲ加ヘテ農工業ノ發達ヲ促ガサント尤モ必要ナリト云ベシト遂ニ當局者ハ鑛山法ニ改正ヲ加ヘテ大會社ヲ設立ヲ促ガシ新ニ石炭水銀及ヒ鑛産ノ採掘ヲ獎勵シ農業及ヒ工業ニ對スル關稅

々率ヲ訂正シ産業發達ニ必要ナル處置ヲ履行スルノ特權ヲ行政官ニ附與シ次イデ國會ハ鑛業及ヒ農業ニ關スル八十有餘ノ品物ニ對シテ關稅ヲ免除ナルニ至レリ一千八百八十七年七月中一法令ヲ發シテ石炭鐵水銀ノ鑛山ニハ印紙稅ヲ除ク外一切ノ聯邦稅州稅市邑稅ヲ五十年間免除スルコト、ナシ墨國産出ノ鐵條鐵塊及ヒ鐵軌等前記同様ノ特權ヲ與フルコト、ナリ自餘諸種ノ鑛山モ亦々年産價額百分ノ二ヲ超過セサル租稅ヲ賦課スルノニシテ金銀ハ鑄貨ト塊條トヲ問ハズ自由ニ國內ヲ通過シテ一切ノ課稅ニ服スルヲ要セズ又鑛物精製所ヨリ聯邦政府ノ徵收セル租稅ハ營業高五百分ノ一ヲ越セザル能ハザルコト、ナリ殊ニ該法律ヲ以テ州政府ハ鑛山機械産額資本出願手續等ニ對シテ一切課稅スルコトヲ禁ジタリシカバ一千八百八十七年八月ヨリ八十年九月ニ至ル一週年間ニ鑛山二千七十七精製所三十三ヶ所ノ登記ヲ見ルニ至リ該事業ノ爲メニ投入スル資本ハ大略五億弗ニシテ其内米國人ノ投資ニ係ルモノ無慮壹億弗ニ上ルト稱セラレ

一千八百八十五年一月ヨリ施行セラル、墨國坑法ニ由リ現行規則ノ大要ヲ記サンニ鑛窟及ヒ鑛床ハ所在地所トハ全ク別種ノ地産ニシテ假令ヒ同一人ニ於テ之ヲ所有スルコトヲ得ルトスルモ別種ノ手續ヲ經由セサルヲ得ザルモノトシ鑛山所有權ハ坑法若クハ營業手續及ヒ勞働者保護ニ關セル細則ヲ遵守スルニ於テハ年日ノ際限ヲ設クルコトナク外國人ト雖モ墨國人同様ノ特權ヲ以テ鑛山ヲ所有スルコトヲ得ルモノニシテ此場合ニ在リテハ墨國公民ト齊シク諸般ノ法律規則ニ服從センコトヲ要シ法定



ノ手續ヲ經テ得有セル鑛山ハ他ノ不動産ト同シク之ヲ讓與賣買スルコトヲ得ルモノ  
 トス尤モ政府ハ供養不足若クハ不注意ノ事態ヨリシテ抗夫ノ生命ニ危害ヲ及ボスノ  
 恐レアルト見認ムルキ抗井抗窟抗路等ノ如キ埋藏鑛物ノ測定開掘ニ必要ナル工事ノ  
 額廢ヲ修理セサルキ工場氣通ノ不十分ナルキ若クハ鑛事ヲ障害ス可キ湧水ノ汲出シ  
 フ怠リタルキニ限リ鑛山所有者特權ヲ沒収スルコトアルベシ  
 米陸發見后世界産銀ノ三分二ハ墨國ニ於テ之ヲ採出セシト稱セラルレモ確實ナル統  
 計ヲ得ンコト尤モ難ク今概算ニ依レバ千五百廿一年ヨリ千八百八十四年ニ至ル迄金  
 二億七千六百萬弗銀三十五億七千萬弗ヲ産出セシト云ヘルヲ以テ墨國鑛産ノ大ナル  
 ナ知ルベク今千八百八十五年以降ニ關シ某氏ノ調査スル所ニ依レバ左ノ如シ

一千八百八十五年—八十六年	一〇二六、〇〇〇	三四、一一二、〇〇〇
八十六年—八十七年	一〇四七、〇〇〇	三四、六〇〇、〇〇〇
八十七年—八十八年	一〇三一、〇〇〇	三四、九一二、〇〇〇
八十八年—八十九年	一〇四〇、〇〇〇	四〇、七〇六、〇〇〇
八十九年—九十年	一一〇〇、〇〇〇	四一、五〇〇、〇〇〇
九十年—九十一年	一一五〇、〇〇〇	四三、〇〇〇、〇〇〇

墨國ニ於ケル造幣事業ハ一千五百三十七年ニ創始シ現今國內ニ於テ十一箇ノ造幣局  
 アルモノナルガ其内オハカ造幣局ハ政府ノ事業ニ係リ他ノ十局ハ民間功勞者ニ貸與

シテ之ヲ營業セシムルモノナリト云フ即チ「アラモス」  
 「グリアカン」  
 「チワ」  
 「ツランゴ」  
 「グ  
 アダラハラ」  
 「グアナフアト」  
 「エルモシヨ」  
 「メキシコ府」  
 「サンルイス」  
 「ポトシ」  
 「及ヒ」  
 「サカテカ  
 ス」トス而シテ鑄造材料ハ重モニ内國産ヲ使用シ當初ヨリ一千八百八十八年十二月末  
 ニ至ル迄ノ總額ヲ擧ケレバ左ノ如シ

金	壹億二千二百七十五萬千二百九十一弗廿九仙
銀	參拾二億三百一十一萬九千九百四十一弗六十三仙
銅	六百四十萬二千四百四十七弗五十八仙
合計	參拾三億三千二百廿七萬一千四百四十七弗五十仙

今一千八百八十九年ヨリ九十年年度ニ至ル年々ノ鑄造高ヲ列擧スレバ左ノ如シ

銀	一千八百八十九年度	二四、三二八、三二六弗四五	二四三、二九八弗〇〇	一三四、六三七弗四七
銅	九十年年度	二四、二三七、四四九弗二五	三〇八、〇八三弗〇〇	二二八、八六九弗六一

今墨國紙幣ニ關シテ其現狀ヲ茲ニ掲ケンコト蓋シ無益ノ勞ニ非ラザル可ク今日發行  
 紙幣ノ濫溢ヲ恐ル、モノアレハ一千八百九十年十二月末ノ調査ニ由レバ乃チ左ノ如  
 シ

墨國々立銀行	一四、六七一、八六六弗
倫敦及墨國銀行	六、八三七、七一八弗
貸附銀行	一、一三〇、七〇〇弗



- 「メヒカノ、デ、チワ、」銀行 一八五、二〇六弗
- 「ユメルシアル、デ、チワ、」銀行 一九〇、二〇七弗
- 「デ、チワ、」銀行 一四五、一四三弗
- 「チワ、」銀行 四〇八、五九五弗
- 「ユカタン」商業銀行 三〇五、二〇〇弗
- 「デ、ユカタン」銀行 六五五、三〇五弗
- 「デ、ツランゴ」銀行 一三六、六四五弗

合計

二四、六六六、六四二弗

之ヲ墨國ノ人口ニ分賦スレバ每一人別二弗廿四仙ニシテ之ヲ流通硬貨一人別拾弗ノ割合ナルニ比スレバ其十分ノ二半ニ過ギズ

### 第四章 商業

墨國當局者が種々ノ方策ヲ設ケテ商業ノ進歩ヲ計畫セルニ拘ハラズ國內商業ノ實情ヲ察スルニ之ヲ他ノ文明諸國ニ比シテ三四世紀若クハ五六世紀ノ后ニ逡巡セル者ト云ハサルヲ得ズ之ヲ要スルニ内地生産業ノ未タ發達セザルガ爲メ彼我遠近ニ於ケル有無交易ノ未タ頻繁ナルヲ見ルニ至ラザル者ナルベシト雖モ商業不振ノ起因ト云フベキハ運輸ノ便其宜シキヲ得ザルカ爲メ既設鐵道線路ヲ除クノ外ハ悉ク人肩馬背ヲ依リテ產品ヲ遠地ニ致サバ爾ヲ得ズ之ニ加フルニ墨國內ニ於テハ聯邦ヲ舉ケテ未ダ稅制ノ一致ヲ見ルコト能ハズシテ大ハ各州ヨリ小ハ市邑ニ至ル迄互ヒニ相ヒ分據割立シ各々關隘ヲ嚴守シテ他方物品ノ輸來ヲ拒絕

シ外國產品ハ勿論内國產ト雖モ外地ヨリ送入スル所ノ品物ニハ内地稅ヲ賦課スルノ習慣アルヲ以テ物品ノ買價ハ概テ其實價ニ二三倍スルヲ常トシ一般人民ノ使用ニ適當セサルヲ以テ内地商業ノ振起セザルモ故アリト云フベシ然レモ此等二障害ノ内前者ハ近年鐵道線路ノ設計ヲ増加スルト共ニ漸次之ヲ排除スルノ機會ニ到達セントスルノ傾向アリ後者ノ如キハ依然其舊體ヲ保持シテ商業ノ進路ヲ拒ムモノナルガ墨國當局者モ亦大ニ覺ル所アリテ銳意之ヲ救治セントシ大藏大臣ハ近頃財政會議ヲ召集シ内地稅ノ廢棄ヲ討議セシムル所アリシガ其可決ヲ見ルニ至ラザリシハ遺憾ナリト云ベシ且ツ外國貿易ノ如キモ内地貿易ト同様ノ阻礙ニ由リテ未タ十分ニ其發達ヲ遂グル能ハズ之ヲ例セバ東岸ノ墨其哥灣地方ニ在リテハ「ゲエラ、クルース」<sup>グムヒコ</sup>及ヒ「ブグレン」ノ三大巨港アリテ合衆國及ヒ歐洲諸國トノ貿易要路ヲ扼スレモ僅ニ中央二三大都府及ヒ「ユカタン」州ノ一部ニ商品ヲ輸送スルノ機關タルニ過ギズシテ自餘數多ノ港灣ハ洲渚其口ヲ塞イテ殆ンド大船ヲ碇泊スルノ實用ニ適セズ又西方太平洋對岸地方ハ多數ノ良港灣ニ富メリト雖モ全ク中央及ヒ東岸地トノ交通ヲ阻絶スルヲ以テ殆ント別國境ノ趣ナキ能ハズ從ツテ輸出入商品ノ如キモ僅カニ西地住民ノ需要供給スル所ノ限界ヲ越エザルカ爲メ非常ノ好位地非常ノ生産力ヲ有セルニ反シテ西岸貿易ノ現況ハ大ニ遲滯スル所アリト云ベシ東西海岸貿易ノ振起セザルコト已ニ斯ノ如クナルガ北合衆國トハ近年頻リニ鐵道ノ布設ヲ急促シテ漸次比々其成効ヲ見ルニ至リシカバ現今墨國輸入高ノ六七割ハ合衆國ヨリ輸入セル者ニ係リ昔時歐洲諸國ノ供給ヲ仰ギシ者ノ位地ヲ奪ハントスルニ至リシハ以テ運輸ノ貿易上ニ重要ナルヲ証スルニ足ルベシサレバ今後墨國政府ガ其



制度ノ硬塞ヲ除キ勉メテ鐵道、港灣、運河等ノ改良ヲ計リ内外ノ輸出入ヲ圓滑ナラシムルニ至  
 ラバ外國商業ノ隆盛ヲ發揮スルモノ今日ニ幾倍スルヲ知ル可ラザル者アラソ  
 外國貿易 墨國ノ外國貿易ハ北隣合衆國并ニ英國等ニ偏シ本邦并ニ東洋諸國トノ貿易ナキ  
 ハ前者ニ運輸ノ便アリ後者ニ其利ナキニ由ルナラン然レモ當國政府ハ銳意以テ鐵道  
 建設ヲ獎勵シ兩洋貫通ヲ急促スルヲ以テ其竣功期シテ待ツ可ク東洋トノ貿易開通モ  
 遠キニ非ザル可シ

○墨國輸入ノ部

千八百八十八—八十九會計年度ニ於ケル墨國ノ輸入品總額ハ四千〇〇二萬四千八百九拾四  
 弗三拾二弗此輸入税二千二百四拾七萬七千九百六拾二弗九拾五仙ニシテ平均五割六分ノ税  
 金ニ相當ス而シテ無税品千三百五拾萬六千二百三拾弗廿三仙ヲ除ケバ平均輸入税八割四分  
 七厘ニ相當ス左ニ各輸入品ニ對スル金額并ニ税金ヲ掲グ

有税品	金額	税金
棉布	七、五三四、〇八八、七〇 <sub>仙</sub>	七、四四七、三九四、七〇 <sub>仙</sub>
無税品	一、三、五〇六、二三〇、弗二三仙	
電氣用銅線、垣籬用鐵線、消防器、砂、白砒石、防火布、用粉、瀉筒、格魯兒、水素、酸、鐵、鉛、管、セメン <small>ト</small> 、農作用鋏、斧類、骸炭、グリス、リン、鷄卵、活字、版紙、綴リ、書籍、ホツプ、他ニ記載セザル農具、 器械類、書籍、目錄、種子并ニ苗木、鑛山用火藥、家根、時計、曹達、アンモニヤ、陶土、毛皮、用劇藥 等		

麻并ニ精麻布	六七四、〇二九、五二	六七一、五九〇、八七
毛布	一、六一三、一八六、二二	一、九八六、〇二〇、六一
絹布	三九四、六九一、六〇	三七八、六一四、五七
食料品	四、八九三、七〇六、四九	三、七八九、二七〇、五七
石并ニ陶器	八一、八一五、六八	四一、二四四、八一
玻璃并ニ磁器	六〇七、七二七、一八	六八六、八四四、八四
金銀アラチナ器	三二〇、八四三、六〇	二七、九六七、三六
鐵并ニ鋼器	一、五一〇、一二九、九一	一、二五九、四八〇、一二
銅并ニ合銅	五九三、一六六、九一	三二四、二二五、三七
錫、鉛并ニ亞鉛	七五、九六八、九二	三九、二八九、七六
小鐵具	六五八、八五三、六八	五〇五、四九七、八一
器械并ニ附屬品	五三九、五八二、三五	一二八、二〇五、八四
馬車并ニ車輪等付屬品	二一三、七九六、二〇	一一六、二〇六、五七
銃砲并ニ彈藥	二八〇、四五三、〇四	一七二、八三〇、七八
材木并ニ製品	四七三、六八四、二五	三六八、五二三、七二
紙并ニ紙製品	一、三五二、一四三、一二	一一六、二五〇、八一
皮革并ニ製品	四一四、一〇九、五四	二九〇、二一一、九二
製藥	一、六九七、八三〇、三八	九九七、四四七、四二



其他

二、一九三、九六六、九四

一、六七五、三八二、七〇

合計

四〇〇、二四、八九四、三二

二、二四七、七九六、二九五

以上輸入金高ヲ差分スレバ左ノ割合トナル

米國

五割六六

英國

一割五八

佛國

一割二三

獨國

七〇

西國

四七

其他

三六

合計

一〇、〇〇

○墨國輸出ノ部

千八百九十一年會計年度ニ於ケル墨國輸出價額ハ六千三百二十七萬六千三百九十五弗三十四仙ニシテ其六割ハ貴金屬及ヒ公債証書トシ残り四割ノ内咖啡九分七厘、エチケン一割一分、チクレ二分材木二分七厘、皮革二分九厘、鉛一分七厘、烟草一分七厘、他ノ八分三厘ハ百萬弗ニ達セザル物品ナリトス要スルニ當國輸出品ハ製造事業ノ未タ進歩セザルガ爲メ天產物其大部ヲ占ム

ラム酒

一一、五六三、五〇

ガリソツク

二九、九八五、七八

金銀細工

一七、五七四、〇〇

生畜

一八三、〇三二、〇〇

藍

六三、七六七、八八

米

七、八五一、四〇

砂糖

二四、〇一八、四〇

空樽

一八、七六九、五〇

咖啡

六、一四九、八〇八、七二

石炭

一六〇、七〇二、三五

護謨

六九、八四四、八〇

生皮

五八、四七七、九二

銅

九四〇、九二〇、〇〇

貝殼

二四、四一一、三一

木皮

二二、一六三、〇〇

チクレ

一、二八六、九九七、一〇

番椒

九、三七二、〇〇

文書類

四、四四八、〇〇

手荷物

三九、七三四、二五

リナロエ精

六、五六五、〇〇

豌豆類

九八、二五一、三三

蠶豆類

二〇八、五〇六、三八

菓物

一〇三、八〇九、六二



「エチケン」	七〇四八、五五六、七六
「イキストル」	八二二、六五八、八四
羊毛	三〇、〇〇
書籍	一、八五二、〇〇
檸檬	七〇、六七五、〇〇
亞麻子「リンシード」	一、〇〇〇、〇〇
材木	一、七二六、五二七、〇四
玉蜀黍	七、四〇一、八〇
製造品	一三、九六二、七四
大理石	八七、五五五、八五
辰シ荷物(再輸出)	九七、一五四、六九
蜂蜜	九一、八七四、九二
見本品	九、七四五、九〇
「フルチャ」	一、三五一、〇〇
眞珠	一七、五〇〇、〇〇
皮革	一、八〇三、〇九三、九七
粗製砂糖	二九、二〇二、五八
植物	一〇、七八六、〇〇

鉛	一、一二五、四六八、六四
羽毛	一六、一七九、〇〇
「ハラバ」根	六七、四五七、六六
常用玉蜀黍	五一三、二五四、〇四
空袋	三、一二九、〇〇
鹽	三七五、〇〇
棉實	二〇〇、〇〇
帽子	一〇、五四七、七七
烟草	一、二〇五、一七六、七三
小麥	五七〇、〇〇
法尼拉「ツアニラ」	五一九、七四一、〇四
公債證書	二〇七三、七〇六、五〇
白堊	四、五二九、〇〇
「サルサボリア」	三一、三五〇、〇〇
雜品	一一六、〇三六、八七
銀鑲	八、八七四、四五七、二四
外國金貨幣	二〇、五九四、〇〇
墨國金貨幣	一三四、二一九、〇〇



地金	六二、六一九、一二
外國銀貨幣	一五、二、三七五、二〇
墨國銀貨幣	一七、五八三、〇六三、一〇
混銀	七、二九、一三四、八一
地銀	六、七五、二一九、〇七
硫化銀	一、二八〇、七六八、九七
其他銀	一、三八二、〇〇
合計	六三、二七六、三九五、三四

以上輸出金高ヲ差分スレバ左ノ割合トナル

米國	七割〇一	英國	一割七二
佛國	五八	獨國	四四
西國	〇八	其他	一七
合計	一〇〇〇		

○墨國各港ニ於ケル船舶出入調 (千八百八十八年)

來着ノ部

國名	船舶ノ數	荷物實量	乘組員數
墨國各港ヨリ	三、二二〇	五八〇、三九八	三六、八八八
合衆國	五七七	四七九、一八七	一九、七九四

「コロンビア」	七二	一〇八、八〇〇	五、〇四〇
「エタアドール」	一	三八五	六七
「伯西兒」	二	五一四	一五
「アラジール」	二	四、五一五	二四二
「哇的麻刺」	五	一七四、二五〇	五、〇六七
英國	一三五	四四、七六一	二、二八一
佛國	三三	一三三、二五九	五、六七一
西班牙	五五	三七、三二一	八五八
獨逸	三七	一、三三一	二六
奧國	二	二、三八四	五六
白耳義	五	一、五六七、一〇五	七五、九九八
合計	四、一四四	四八四、三三四	三、六四三
墨國各港へ	二、八二五	四五三、六八六	一六、四八五
合衆國	四二一	一、六三七	七三
「哇的麻刺」	二	一一七、三九二	三、六〇五
英國	二二二	五三、三一七	五、七九六
佛國	三二	一三一、九二七	
西國	五七		

出航ノ部



獨逸

四八

四一、九二八

九八四

合計

三、六六二

一、三八〇、四四〇

六八、九四二

税關 墨國ニ於ケル海岸及ヒ國境税關ニシテ重モノヲ擧グレハ左ノ如シ

墨西哥灣沿岸

「マタモラス」「タムピコ」「ツクスパン」「ヴェラクルース」「フロンテラ」

太平洋沿岸

「ソコヌスコ」「トナラ」「サリナ、グルース」「アエルト、アンヘル」「アカプル

コー」「マンサニヨ」「サン、ブラス」「マサトラフ」「アルダ、」「グアヤマス」「ラ、パス」

北方國境

「カボ、デ、サン、ルカス」「バヒア、デ、ラ、マグダレナ」「トマス、サントイス」

「チファナ」「キトヴァキタ」「ノガレス」「サ、ペ」「パロミナス」「アセンシヨ

南方國境

「サバルタ」

墨國輸入海關税ノ收入ハ總歲入ノ六割餘ヲ占ムルモノナレバ世人往々之ヲ目シテ墨國ノ關稅主義ハ外國品ヲ禁遏シテ内國産業ヲ獎勵セントスルノ意味アルニモセヨ主トシテ歲入ヲ得テ以テ國用ヲ支エントスルノ目的ニ出テタルモノト云フモノアリ或ハ然ランサレバ關稅ハ墨國首要ノ稅源ニシテ具眼ノ士或ハ國運ノ不振ハ一ニ此故障物ニ存ズル者ナルコトヲ洞視シ之ヲ排除シテ外國貿易ヲ進歩セシムコトヲ企圖スル者アレバ國內産業未ダ起ラズ土壤未ダ開ケザルヲ以テ此海關稅ニ代エテ以テ歲入ノ途ヲ開クベキノ手段ナク止ム

ヲ得ズシテ今日ノ有様ニ在ルモノト云ベシ千八百九十一年八月從來ノ稅則ニ大改正ヲ加ヘ同年十一月一日ヨリ之ヲ實行スルコト、ナリシガ新則ヲ舊則ニ比較スルニ新律ハ一般ニ稅率ヲ増加シ殊ニ合衆國ヨリ輸入スル物品ニ一層ノ重キヲ加ヘタルヲ見ル是レ單ニ合衆國ニ於ケル「マツキレ」稅則ガ墨國ヨリ米國ニ輸入スル物品ニ對シ稅率ヲ増加セシト權衡ヲ保テシメントノ政策ニ出テタルモノナルベシト云フ  
墨國稅率ハ大概重量ニ因レル者ニシテ「キログラム」ヲ以テ基數トナシ物品ニ依リテハ面積ニ從ツテ關稅ヲ課スルモノアリテ「メートル」方形ヲ基數トス貨物ノ性質ニ從ツテ量額評定ノ方法ヲ異ニシ之ヲ別ツテ純量、法量、總量ノ三種トシ純量トハ物品ノ實量ノミニ課稅スルヲ云ヒ法量トハ純量ノ外物品ノ輸送ニ必用ナル罐、函、包、紙等ノ重量ヲモ包含スルモノヲ指稱シ總量トハ物品荷造リノ儘ナル重量ヲ指稱ス茲ニ墨國關稅目錄ヲ詳載センコトハ冗煩ニ涉ルノ恐レアルヲ以テ其中尤モ本邦輸出品ニ關係アルモノヲ列舉シテ其一例ヲ示セバ左ノ如シ

陶磁器 通常品	總量「キログラム」ニ付	十五仙
全 銅及ヒ其合金ノ象	全	卅仙
全 鍍金銀セル通常金屬	全	壹弗
生 糸	純量「キログラム」ニ付	壹弗
絹太糸	全	十六弗
絹糸類	全	六弗



絹レース類	全	十六弗
絹織物及手巾類	全	壹弗七十五仙
絹地傘及日傘	一本ニ付	十六弗ヨリ卅四弗迄
全肩掛	純量一「キログラム」ニ付	十六弗
全仕立上ケ衣服及ヒ裁キ切レ	純量一「キログラム」ニ付	五十仙
茶	法量一「キログラム」ニ付	一仙ヨリ廿五仙迄
紙	全	十仙
壁紙	法量一「キログラム」ニ付	廿仙
全	全	五十仙
全	全	卅仙
全	一本	二弗五十仙
全	法量一「キログラム」ニ付	一弗廿五仙
全	全	全
全	全	全
全	一本	二弗五十仙
全	法量一「キログラム」ニ付	全
全	全	五弗

木製家具 塗模様及ヒ 細工ナキ分 全 八仙

全 木地理模様又ハ貝、象牙、鼈 甲通常金属ヲ用ヒタルモノ 全 四十仙

裝飾具 金及ヒ白金ノ細工ニシテ貴金属 純量一「キログラム」ニ付 七十五弗

全 全上ニシテ眞珠及ヒ 寶石ナ有セザルモノ 全 五十弗

全 銀及ヒ金ノ細工ニシテ眞珠 及ヒ寶石ナ有スル分 全 全

全 全上ニシテ眞珠及ヒ 寶石ナ有セザルモノ 全 十弗

銅、黄銅、青銅製品 法量一「キログラム」ニ付 四十仙

全 鍍金、鍍銀 シタルモノ 壹弗五十仙

墨國關稅規則ニ由レバ外國貨物積出人ハ墨國各地ニ向ヒ貨物ヲ輸送セントスルニ當リ相 當ノ手續ヲ履行スベキノ義務アルヲ以テ今該規則中送狀及ヒ墨國領事手數料ニ關スル條 項ヲ抄録シテ營業者ノ參考ニ供セントス

墨國關稅規則 第三章 貨主又ハ積出代理人ノ義務

第四十四條 墨國諸港ニ輸送スル商品ノ貨主ハ其國用州用又ハ本法ニ從ツテ免稅セララル、 モノナルコトヲ問ハス凡ベテ受托者一名毎ニ對シテ本法ノ指定スル場合ニ由リ三通若クハ四通ノ送狀ヲ調製スルノ義務アリ此送狀ハ別紙第七號雛形ニ倣ヒ左ノ事項ヲ記載スベキモノトス

一、船舶ノ種類、所屬國名、名稱、船長及ヒ商品受托者及ヒ行先キ港名

二、荷包ミノ符號、附加號、及ヒ番號



- 三、數字及ヒ文字ヲ以テ商品ノ荷包ミ、箱、樽等及ヒ荷物ノ總量ヲ記載スルコト
  - 四、本法税目中關稅賦課方ニ關シ指定スル所ニ從ヒ數字及ヒ文字ヲ以テ商品ノ純量及ヒ法量ヲ記載スルコト
  - 五、本法税目中記載スル所ニ從ヒ數字及ヒ文字ヲ以テ商品ノ箇數、對數及ヒ千數千ヲ以テ計算スル位ト爲シテ計算スルヲ記載スルコト
  - 六、本法税目中寸法ニ從ツテ課稅スルモノハ數字及ヒ文字ヲ以テ商品ノ長サ及ヒ廣サヲ記載スルコト尤モ計算ノ單位ト爲ス可キ寸法ヲ記載スベシ
  - 七、本法税目中記載スル所ニ從ヒ毛糸品一メートル方形ノ純量及ヒ每種類ノ總純量
  - 八、税目若クハ字類ゴツリ中ニ記載セル稱呼ニ從ヒ商品ノ名稱、原料、種類ヲ記シ又タ商品ノ名ヲ税目中ニ有スルキハ其項目フツクシヨヲ記載シ税目中ニ之ヲ見出サ、ルキハ必要ナル説明ヲ記載スルコト
- 第四十五條 領事送り狀中貨主又ハ船積代理人ニ於テ商品ノ受托者姓名ヲ記載セズ又貨主ノ命令待トシテ積載スルモノナレバ船長ニ於テ本法第廿四條ニ於テ規定セル權利ヲ施行セサルキハ税關長ハ取扱人トナリテ左ノ條項ヲ取計フコトヲ得ベシ
- 一、税關長ハ受托者ナキ又ハ貨主ノ命令待トシテ委託サレタル貨物ノ假委託者ト爲リテ信憑スベキ人物ヲ撰任スルコトヲ得該員ハ正當委託者ノ出頭スル迄若シクハ正當受托者ナキキハ商品ノ賣捌カル、迄本法規定ノ條項ヲ施行スルコトヲ得ルモノトス
  - 二、命令待トシテ委託サレタル若クハ委託ノ事ヲ記載セサル物品ノ所有主又ハ委託者ハ積

- 三、認許時間中ニ所有主又ハ受托者ノ出頭セサルキハ税關長ハ受托者ヲ撰任シ領事ヨリ稅關ニ送りタル送狀證明書ヲ交附シ本條第五第六項ニ規定セル檢査ニ立會シ送り狀中ニ増加若クハ改正ヲ要スル廉アルキハ本法第四十五條ニ從ヒ所有主ノ損害ヲ免ル、爲メ處辨上請願ヲ爲スコトヲ得ベシ
- 此場合ニ於テハ商品ハ本法ノ規定スル所ニ從ヒ之ヲ倉入シ置キ所有主ニ於テ之ヲ要求セサルキハ之ヲ公賣ニ附ス可キモノトス
- 四、税關長ニ於テ撰任セラレタル仮受托者ニ於テ委託ヲ引受ケタル后チ商品所有者ノ出頭スルキハ正當ノ受托者タルコトヲ得ル此場合ニ於テハ諸般ノ費用ト仮受托者ニ對スル手数料ヲ辨償シタル上自ラ商品ヲ處辨スルコトヲ得ルモノトス
- 五、商品受托者名ノ貨物目錄ニ記載コレナキキ又ハ命令待トシテ來載セル場合ニハ商品陸揚ノ際注意シテ受托者ナキ貨物ヲ分別シ置キ陸揚手續ノ濟ミタル后チ之ヲ倉入スル前税關ニ到着セル領事送り狀ニ照合シテ精密ニ之ヲ檢査シ置カントヲ要ス
- 税關ニ於テ領事送り狀ヲ受取ラサル場合ニハ商品明細書ヲ作り左ノ事項ニ關シ記載ス可シ
- 六、檢査、鉛封、陸上ケ、運送等ニ關スル諸費ハ凡テ商品受托者又所有者ノ負擔トシ又タ公賣ノ節モ本法ノ規定スル所ニ從ヒ諸費ハ受托者ニ於テ之ヲ負擔ス可キモノトス



第四十六條 商品貨主ハ同種類商品ヲ包札セル梱箱又ハ其他ノ荷包ミヲ集メテ一箇ノ大荷

物ヲ作ルコトヲ得ル此場合ニハ領事送り狀ニ於テ各梱箱荷包中ニ在ル包數ヲ記載セシコ  
トヲ要ス此手續ヲ欠キ又ハ本法第百廿九條中ニ於テ受托者ニ認許セル時間内ニ之レガ説  
明ヲ記載セザルモノハ五十弗以下ノ罰金ニ處ス可シ

尤此説明ハ左記ノ商品ニ對シテ之ヲ記載スルヲ要セズ

一、粗造品、鐵鋼條、管類、金屬板、家根又ハ荷造用板、木類又ハ金屬類水桶、機關ノ分部其他同性質  
ノ商品若クハ無稅品

二、各荷包中ニ在ル商品ノ罐若クハ内包ミ

三、梱又ハ包中ニ在ル織物、貯藏肉類、藥品、香水等ヲ有セル價、德利、瓶等ニシテ惣シテ一箇ノ大  
荷作り中ニ在ル小サキ荷包ミ、袋、箱等

第四十七條 領事送り狀中ニハ各種商品荷包ミ及ヒ各荷造リノ總量及ヒ純量ヲ記載センコ  
トヲ要ス

太ト物、綿品、毛糸品、麻品及絹品ヲ包札スル所ノ荷包ミハ商品ノ稅目中ニ掲ケタル同種屬ニ  
屬スルキ或ヒハ商品重量ノ差十キログラムニ超過セザルトキハ重量、寸法ト共ニ之ヲ一筆  
ニ認ムルコトヲ得ベシ

本則ニ違犯スル者ハ受托者ニ於テ本法第百廿九條ニ於テ認許セル特許ヲ履行セザルキ五  
十弗以下ノ罰金ニ處スベシ

第四十八條 一、メイトル方形ニ對シ關稅ヲ課ス可キ商品ノ幅ヲ申報スルニハ最長ノ幅ト最

短ノ幅トノ差六センチメートルヲ超過セザルキハ之ヲ一筆ニ認ムルコトヲ得ベシ

前記ノ如ク申報シタル商品ノ幅ニシテ六センチメートル以上ノ差違アレハ關係者ニ於テ  
期限内ニ此誤謬ヲ更正セザルキハ書面中記載シタル最長幅ヲ以テ單一ノ寸法ト見做ス可  
シ此ノ際ニ商品ヲ處辨スルキハ右誤謬ニ關係アル荷包ハ一々之ヲ檢査ス可キモノトス

第四十九條 領事送り狀中ニ他ノ副書ト符合セザル字句ノ挿入、刪除、塗抹及添加ヲ爲スコト  
ヲ禁ズ

若シ此不突合ノ殊ニ關稅賦課ニ關係ヲ及ホスベキ者ナルキハ不突合ノ起リタル商品中、最  
高ノ稅目ニ從ツテ關稅ヲ賦課セザルベキモノトス

左ニ記載スル場合ハ本條ノ限リニ非ス

一、本法第六十八條及ヒ第六十九條ニ掲ケル領收書ヲ得ル前關係者ニ於テ文書ノ紙下ニ相  
當ノ説明ヲ加ヘタルキ

二、正誤アルニモ拘ハラヌ同文書ノ他副書ト符合セザルキ

三、字句ノ挿入、刪除、塗抹及添加ノ關稅賦課ニ關係ヲ有セザルキ

第五十條 若シ同一ノ荷包中別種ノ關稅ヲ課スベキ別種ノ商品アルトキ若クハ總量ニ從ツ  
テ課稅ス可キモノアルキハ送り狀中ニ該荷包ミ總量ノ外ニ荷包中ニ在ル商品ノ法量ヲ記  
載シ之ニ準シテ總量ヲ按分ス可キモノトス  
法量ノ申報アルモ評價及ヒ關稅ノ適用ニ必要ナル純量、箇數、對數、寸法等ノ申告ヲ除去  
スベキ者ニ非ス尤モ總量ニ從ツテ課稅ス可キ商品ハ此限ニ非ラズ



若シ前述ノ場合ニ於テ法量ニ從ツテ課税ス可キ者ニ非ザル商品ノ法量ヲ記載セザルキハ各商品ノ總量ヲ按分スルニ當リ關係者ヨリ期限内ニ改正追加ヲ申出ヅルキノ外只送り狀中ニ申告セル法量ニ基ツキテ之カ計算ヲ爲ス可シ

第五十一條 第五章第四節ニ記載セル者ノ見本ヲ包裹セル荷包ミノ送り狀ハ領事証明ヲ要スルコトナシ尤モ送り狀中ニ見本載送ノ船名受托者ノ姓名行先キ港名荷包ミノ符號番號重量種類各見本ノ總量及ヒ其總稱前記文書ヲ欠クキハ受托者ハ荷包ミ一ケニ付五弗以下ノ罰金ニ處セラレヘシ

第五十二條 商品積出人ハ船舶ノ出帆前商品發送地又ハ荷物積出地ニ住セル墨國領事又ハ貿易事務官ノ許ニ四通ノ送り狀ヲ提出シ其証明ヲ乞フベキモノトシ其内三通ハ領事館ニ殘シ置キ壹通ハ領事ヨリ相當ノ證明書ト領収書トヲ添ヘ之ヲ本人ニ還付スベシ積出人ハ此送り狀ト領事領収書ヲ商品受托者ニ送付シ墨國諸港ニ於テ本法ノ規定スル所ニ從ヒ諸般ノ手續ヲ取行ハシムルモノトス

第五十三條 送り狀ハ外國ニ住スル墨國領事又ハ貿易事務官ニ提出シ其証明ヲ請フコトヲ得積載貨物ノ發送前ニ此手續ヲ終ル可キモノトス

第五十四條 墨國領事又ハ貿易事務官ナキ場合ニ在リテハ凡ヘテ各諸條規定スル所ニ從ヒ三通ノ領収書ヲ作り同日ニ萬國郵便法第六條第二款ニ記載セル如ク所在地郵便局ニ於テ之ヲ書留書狀ト爲シ一通ハ墨國大藏省一通ハ商品到着地ノ税關長ニ向ケ之ヲ發送ス可シ積出人ハ郵便局長ヨリ相當ノ領収書ヲ徴シ之ヲ商品到着地ノ受托者ニ送付センコトヲ要ス

ス受托者ハ更ラニ商品處辨ノ爲メ第三送り狀ト共ニ此領収書ヲ提出ス可キモノトス若シ墨國條約國ノ領事ニ於テ送り狀ニ証明ヲ附與スル時タリトモ本法ノ規定ヲ遵奉スベキモノトス

第五十五條 送り狀領事證明書并ニ領事領収書共悉皆之ヲ用意セサル者ハ處罰トシテ輸入商品ニ對スル關稅ノ二倍ヲ賦課ス可シ

第五十六條 若シ受托者ニ於テ送り狀及ヒ之ニ對スル領事證明書ヲ提出スルコトアルモ稅關ニ於テ送り狀ヲ受取り居ラザルキハ稅關ハ受托者所有ノ分ヲ騰寫シテ必要書類ト共ニ之ヲ備ヘ置クベシ又受托者ニ於テ送り狀ヲ提出セサルモ稅關ニ於テ之ヲ受取り居ルキハ受托者ハ書面ヲ以テ稅關ニ出願シ証明セル送り狀ノ騰寫ヲ申受ケ自用ニ供スルコトヲ得ルモノトス

稅關ヨリ証明セル騰寫ヲ下渡スレハ法定ノ紙幅ニ從ヒ每葉五十仙ノ證券印紙ヲ貼付シ稅關ニ於テ之ヲ消印シタル后受托者ハ之ニ署名スベキモノトス  
本條ニ記載セル送り狀騰寫ニ關スル願書ハ法定ノ紙幅ニ從ヒ每葉五十仙ノ證券印紙ヲ貼付ス可シ

第五十七條 商品ノ墨領事若クハ貿易事務官ナキ場處ヨリ來ルキ若クハ該品載積船舶ノ墨國官吏ナキ場所ヨリ來ルキハ必ス郵便局領收書ヲ提出センコトヲ要ス尤モ大藏省及稅關ニ於テ郵便局ヲ經テ相當ノ書類ヲ領收シタルキハ之ヲ斟酌スルコトアルベシ受托者ニ於テ提出シタル送り狀中數量ノ過不足ニ關シ大藏省若クハ稅關所有ノ分ト差違ノ點アルコ



トヲ見出スキハ送り状中不実合ヲ生シルヲ商品ニ對シ處罰トシテ二倍ノ關稅ヲ賦課ス可シ

第五十八條 稅關々係者又ハ大藏省ノ送り状ヲ欠クキハ領事送り状ト同様ノ手續ヲ經ベキモノトス

第五十九條 稅關送り状ハ西班牙語ヲ以テ之ヲ記載スベキモノナレバ積出人ニ於テ墨國官用語ヲ心得サルキハ他ノ普通國語ヲ以テ之ヲ認ムルコトヲ得ル

第六十條 領事送り状ニ關シ本法規定ノ手續ヲ誤ルモノハ稅關長ニ於テ相當ノ罰金ニ處ス可キモノトス

第六十一條 墨國諸港ニ於ケル商品ノ受托者ハ荷主又ハ積出人ノ過誤ニ對シ本法ニ從ヒ之レガ責任ヲ負フノ義務アルモノトス

第六十二條 商品積載船舶ノ出帆前荷主ニ於テ領事証明ヲ受ケタル送り状中ニ誤謬アルコトヲ發見スルキハ之ニ關シテ四通ノ書面ヲ作り領事ニ出願シテ其訂正ヲ請フ可シ領事ハ

壹通ニ証印并ニ証明ヲ付シテ之ヲ荷主ニ還付シ商品ノ受托者ニ送付シ受托者ハ商品處辨方ヲ稅關ニ申出ツルキ領事送り状ト共ニ之ヲ提出ス可キモノトス

此証明書ヲ以テ送り状中ノ誤謬ヲ訂正スルモノトス

第六十三條 商品積載船舶出發ノ后チ未タ行先キ港ニ到着セサル前々條同様ノ手續ヲ申出タルキハ領事ハ之ニ對シテ証明狀ヲ附與ス可シ然レバ各港稅關ニ於テ之ヲ許入スルト否トハ大藏省ニ於テ之ヲ指定ス可シ

第六十四條 荷主居住地ニ墨國領事又ハ貿易事務官アルモノ不意事情ニ依リ荷主ニ於テ送り

狀ノ證明ヲ得ルコト能ハサル場合ニハ本法第五十四條ニ記載セル如ク取計フ可シ而シテ此手續ヲ經タル送り状ノ有効ナルヤ否ヤハ大藏省ニ於テ之ヲ指定ス可シ

第六十五條 商品荷包ミハ之ヲ認識シ易カラシムル爲メ只一ケノ符號ト一ケノ番號ヲ有セ

ンコトヲ要ス若シ領事送り状又ハ船長積荷目錄ニ記載セル者ノ外荷包ミニ他ノ符號又ハ番號ヲ有スルキハ受托者ハ荷包ミ一ケニ付壹弗以上ノ罰金ニ處ス可シ尤此場合ニ於テハ

一樣ニ荷包ニ印記セル製造所ノ標籤若クハ住所ハ之ヲ以テ荷物ノ符號ト見テ荷包ミヲ分別ス可キ爲メニ用ユル所ノ略字、圖形、數字等ヲ以テ符號ト爲ス

附記

第七十八條 墨國領事ハ其證明ヲ受クル爲メニ船長ハ荷主ヨリ提出スル文書ニ對シ左ノ手

數料ヲ賦課スルコトヲ得ル

一、墨國ニ商品ヲ輸送スル船舶ノ積荷目錄ニ對シ證明ヲ附與スルキ 拾 弗

二、無荷物船舶同斷 四 弗

三、稅關送り状壹組同斷 四 弗

四、何事件ヲ問ハズ船長若クハ荷主ノ請求ニ由リ發行スル證明書 二 弗

五、前項ニ記セル証明書ノ副書ニ證明ヲ付與スルキ一通毎ニ 壹 弗

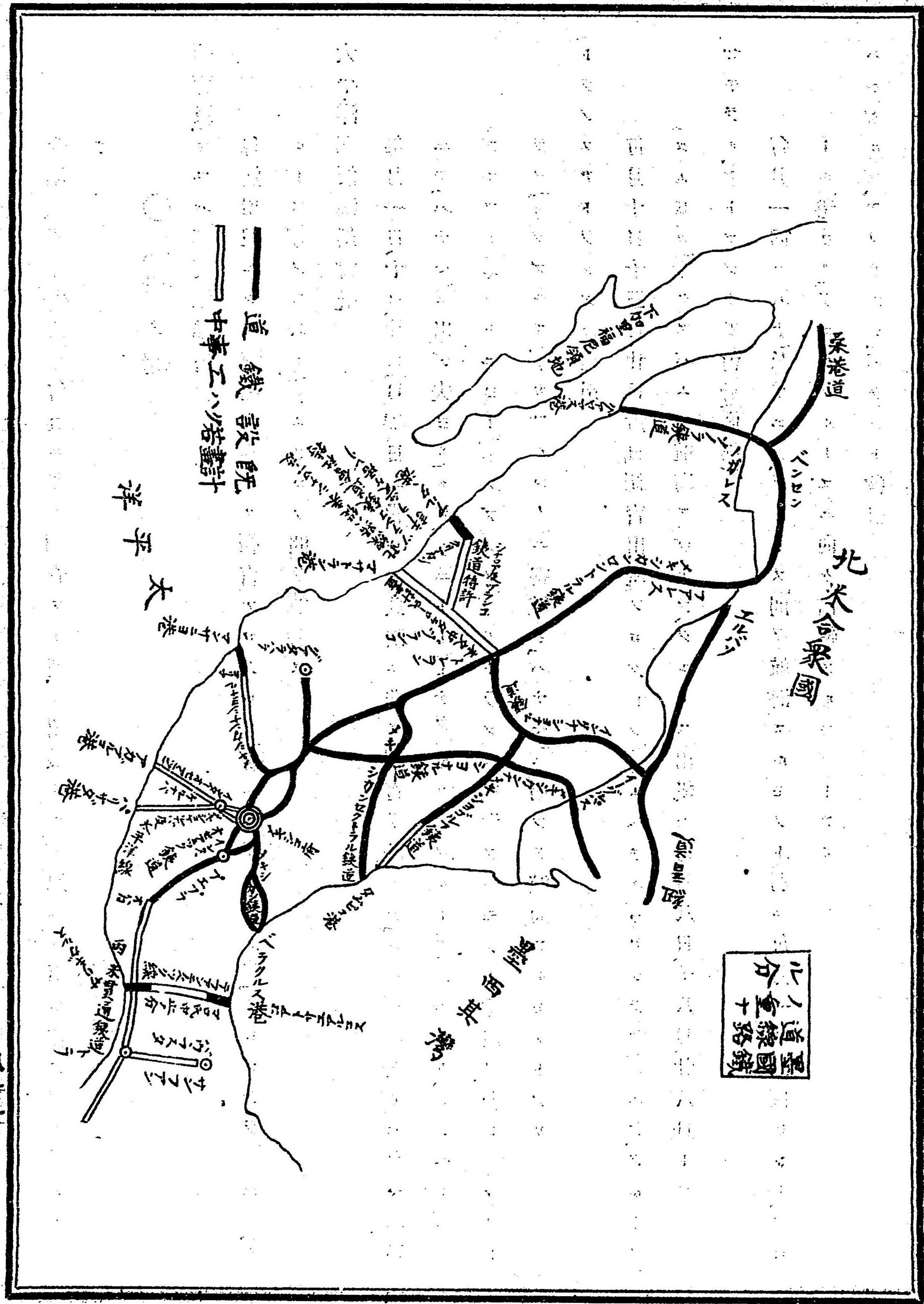
六、本法第六十二、六十三條ニ記セル申告書ニ證明ヲ附與スルキ壹組ニ付 貳 弗

廿五仙



運輸

今日墨國ニ於ケル最大急務ハト問ハハ皆運輸事業ノ發達ナリト答フルナルベシ土地ノ開發セズシテ所在良田密林ノ空シク廢蕪ニ委スルト云フモ資本家ノ未ダ十分ニ出金セザルヲ以テ商工ノ進歩セサルト云フモ必竟スルニ之レガ起動機關タル運輸便利ノ未タ普及開通セサルニ職由スルモノト云フ可シ宜ナル哉墨國當局者ガ國力補給ノ第一手段トシテ運輸事業ヲ進捗シ十二分ノ補助保護ヲ與フルニ吝ナラザルナリ目下海運ニ於テハ東岸諸港ニハ合衆國及ヒ歐州諸國トノ間西岸諸港ニハ桑港「サンチャゴ」「バナマ」等トノ間ニ定期航海ノ便アレハ沿岸航海ニ至ツテハ法律ヲ以テ特ニ之ヲ内國船舶ニ許可スルモノニシテ未ダ船舶ノ員數十分ナラザルガ爲メ諸港間ノ運輸ハ殊ニ不便ナリト云ベシ陸運殊ニ鐵道ニ於テハ前十數年間ニ墨國ハ長足ノ進歩ヲ爲シ目下運輸ニ從事セルハ一〇二〇〇「キロメートル」九丁十間餘ニ當ル「我ノ延長ヲ有スト稱セラレ殆ント首府地方ト北境諸要地及ヒ東岸諸港トノ連絡ヲ見ルニ至リシト雖也是レ僅カニ國內一部分ヲ貫通スルニ過ギズ南部諸地及ヒ太平洋地方ト首府トノ連絡ハ目下其工事ニ從事セルモノニシテ之レガ竣成ヲ見ルハ今ヨリ二三年后ニ在ル可シ今日墨國ハ運輸不便ノ爲メ其手足ヲ牽制セラレテ豊富ナル諸種ノ天産ハ不振ノ有様ヲ爲スト雖也一旦運路開通ノ日ニ及バ、凡百事業ノ勃興シテ其面目ヲ改新スルモノ小々ナラサルベシ左ニ掲クル所ハ墨國ニ於ケル既設及ヒ設計ニ係ル首要鐵道ノ線路圖ナルガ以テ同事業ガ墨國未來ノ經濟ニ影響ヲ與フルノ大ナルヲ察知スベシ





今墨國運輸事業諸會社ニ關シ調査スル所ヲ附載スルハ無益ノ事ニ非ラザル可シト信  
ズ

○ 瀛船ノ部

紐育及、キユバ郵便瀛船會社

毎週出帆ニシテ瀛船六艘アリ紐育、プログレンソ、カムベチエ、ラグナ、フロンテラ、ヴェラ、ク  
ルース、ツクスバム、ダムビコノ間ヲ航海ス

太平洋郵便瀛船會社

毎月一日、十日、廿日(日曜日ニ當レバ此限ニ非ス)紐育ヲ發シテ、コロソニ至リ、パナマ鐵道  
ニテ、パナマニ出デ夫ヨリ、サン、ベニト、トナラ、サリナ、クルース、アエルト、アンヘル、アカ  
アルコー、マンサニヨ、サンフラス、マサトランニ航海スルモノト桑港ヲ發シテ、マサト  
ラン、サンフラス、アカアルコーニ寄航シ、パナマニ向ツテ航海スルモノトアリ

「トランスアトランテカ」會社

毎月十日、十三日、廿日、卅日紐育出帆、プログレンソ、カムベチエ、フロンテラ、ヴェラ、クルース、  
「ダムビコ」ツクスバムニ航海ス、ヴェラ、クルース出帆、ハ毎月八日、十八日、廿八日トス

「ゼテラル、アトランナケ」會社(佛線)

毎月一回「ハバナ」及「ヴェラ、クルース」間ヲ航海スルモノト別ニ毎月一回佛國「セント、ナセ  
ール」港ヨリ「ヴェラ、クルース」ニ向ケ出帆スルモノトアリ

「ハンボルク、アメリカン、バケット」會社

「ロイヤル、メー、ル、スナーム、バケット」會社  
歐洲諸港ニ向ツテ航海スルモノニシテ毎月一二回「ヴェラ、クルース」港ニ寄航ス

英國「サウサムプトン」ヨリ航海スルモノニシテ毎月二回「ヴェラ、クルース」港ニ寄泊ス  
「ハリソン」線

毎月二回英國「リパプール」ヲ發シテ「プログレンソ」  
「ダムビコ」ニ寄泊シタル上「ヴェラ、クルー  
ス」ニ航到ス

西印度及ヒ太平洋瀛船會社

毎月廿日、廿五日「ヴェラ、クルース」出帆、ニユー、オルレンスヲ經テ倫敦、リパプールニ向ツ  
テ航海シ、歐洲ヨリノ歸航ニハ「プログレンソ」  
「ダムビコ」ニ寄泊スルヲ常トス

南太平洋會社(モルガン線)

毎月二回「ヴェラ、クルース」ニ向ツテ合衆國「ルイジアナ州」  
「モルガン」市ヲ出帆シ、ガルベス  
トン港ニ寄泊ス、ガルベストンヨリ「ヴェラ、クルース」迄大概六十時間、ニユー、オルレンス  
ヨリ「モルガン」市ヲ經由シテ大概八十時間ヲ要ス

太平洋沿岸瀛船會社

毎月一回桑港出帆、エンセナダ、マヒア、マグダレナ、グワヤマス、マサトラン、サンノゼ、デル、  
カボ「アトランタ」  
「ラパス」等ニ航海ス

沿岸航海ノ分ヲ記サンニ墨其哥灣ニ在リテハ瀛船カムベチエ及ヒ「イペロ」ノ兩號「ヴェラ、ク  
ルース」  
「プログレンソ」間ヲ航海シ、セレスツム、カムベチエ、チャムボートン、ラグナ、フロンテラニ



寄泊シ、汽船タパスケニユー「號ハ」プログレソヨリ、カムベチエ「ラグナ」フロムテラ「サエラ、クル  
リス」コアツコアルマスニ航海シ、汽船「フエニクス」號「プログレソ」ヨリ、カムベチエ「ラグナ」フロ  
ンテラニ航海シ、汽船「ウイルソン」號ハ「ゲエラ、クルリス」ツクスバム「テクルツラ」カツチスノ間  
ヲ航海シ、汽船「トラコタルバム」號ハ「ゲエラ、クルリス」トラコタルバム「マルバレド」ノ間ヲ航  
海セリ

太平洋岸ニ於テハ諸港間ノ貨物運漕ノ爲メニ箇ノ航路アリテ一ヲソノラ「鐵道」所屬ノ汽船  
トシ一ヲ「アレキサンダー」線ノ汽船トス「グアヤマス」ラパス「サンタ、ロサリナ」アギアパンボ  
「トボロバムボ」マサトラン「ペリウエテ」サン、ブラス「マンサニヨ」等ノ間ヲ航海セリ

○鐵道ノ部

千八百九十一年十二月三十一日ニ終ル首要ナル實地營業鐵道ノ延長及ヒ其沿革ヲ舉グル  
バ左ノ如シ

中央鐵道會社

墨府ヨリ「エルパソ」迄

「アグワスカリエンテス」ヨリ「サン、ルイス、ポトシ」

一九七一キロメートル

二二五

「ダムビコ」ヨリ「サン、ルイス、ポトシ」

四四四

「イラアト」ヨリ「グアダラハラ」

二六〇

「サラヲ」ヨリ「ダアナフアト」

二三

合計

二、九二三

墨國「ナショナル」鐵道

墨府ヨリ「ラレド」

一、三五三

墨府ヨリ「サンミグエル、デ、アエンデ」

四〇九

「アカンパロ」ヨリ「パツクアロ」

一五五

「ラレド」ヨリ「コルプス」

一六一

「マタモラス」ヨリ「レイノサ」及「サンミグエル」

一一〇

墨府ヨリ「サルト」

六八

合計

二、二六六

インゲルホフニコ  
阿洋鐵道

墨府ヨリ「ゲエラ、クルリス」

五四七、キロメートル

「ゲイレイエス」ヨリ「サンファン、デ、ロース、ヤノス」

一一

「アエブラ」ヨリ「イスカール」

八四

墨府ヨリ「ホフドラ」

一九四

「サンマルコ」ヨリ「ウイチシラバム」

六六

「コシセア」ヨリ「サンファン、デ、ロス、ヤノス」

一一

合計

八二五

「モンテレー」墨其哥灣鐵道

「モンテレー」ヨリ「マンビコ」

五一七



「モンテレー」ヨリ「ゲエナシト」

合計

一〇六「キロメートル」

墨國鐵道「グエラ、クルース線」

六二三

墨府ヨリ「グエラ、クルース」

四二三

「グエラ、クルース」ヨリ「ハラバ」

一一四

「アビサコ」ヨリ「アエブラ」

四七

合計

五八四

「アカプルコ、グエラ、クルース」兩洋鐵道

墨府ヨリ「ペロテ」

三三九

墨府ヨリ「トラルチサバム」

一七八

合計

五一七

墨國鐵道

「トルレヲン」ヨリ「ビエドラス、チグラス」

六一七

「ソノラ」鐵道

「グアイマス」ヨリ「ノガレス」及州「テキサス」

五六七

「ユカタン」鐵道

「メリダ」ヨリ「アログレソ」

三三七

「ヨリ」チクル

六五

「ヨリ」テカント

六四

「ヨリ」トリニダツス

五四

「コンカル」ヨリ「テハス」

二八

「ヨリ」モツル

三二

合計

二七八

「イダルゴ」及東北鐵道

墨府ヨリ「パチユカ」

一一〇

「ツランシンゴ」

三二

「パチユカ」ヨリ「イロ」

七〇

「チサユカ」ヨリ「テヲロユカン」

二六

合計

二二八

墨國南部鐵道

「アエブラ」ヨリ「チコマゲアカ」

二二五

墨國北部鐵道

「エスカロン」ヨリ「シエルラ、モハダ」

一二五

「ナシヨナル」建築會社

「コリマ」ヨリ「マンサニヨ」

九五

「シナロア、ツランゴ州」鐵道



「アルタ、ヨリ、クリアカン」	六一
「テフアカン、ナシヨナル」鐵道	
「エスベランサヨリ、テフアカン」	五〇
「ミチヨアカン」及太平洋鐵道	
「マラザアチヲヨリ、トロヘス」	五二
「ゲエナカスヨリ、ウエルテ」ニ至ル鐵道	
「ゲエナカスヨリ、マテウアラ」	四七
農業鐵道	
「コルドハヨリ、モトロツンゴ」	四二
「サラマンカ」及「サンテアゴ」鐵道	
「サラマンカヨリ、ハラル」	三六
「トナラ」及「フロンテラ」鐵道	
「トナラヨリ、プエルト」	一五
「トルカ」及「ピサン、フアン、デ、ラス、ウエルタ」鐵道	
「トルカヨリ、サン、フアン」	一六
「サン、フアン、パウチヌタ」及「ヒ、ツムルテ、カリサル」鐵道	
「サン、フアン、パウチヌタ」ヨリ、カリサル」	六
全長總計	一〇、二〇〇、キロメートル

### 第五章 勞銀及ヒ生計

一言以テ墨國普通人民ノ状態ヲ評スレバ墨國ハ經濟學原則ノ外ニ逸出セリト云フノ外ナク人口稀少土地曠漠ナルニモ拘ハラズ諸般ノ貨物ハ概テ之ヲ外國ノ輸出ニ仰ケルヲ以テ生計ノ費用頗ル高貴ナルト同時ニ勞働者ノ賃銀ハ頗ル低廉ナリトイヘルハ一々理解ニ苦ム所ロ但是彼輩ノ怠惰ニシテ自ラ進ンデ其品位ヲ揚ケントスルノ氣象ニ乏シキニ原因セリト云ハザル可ラズサレバ近頃「マルチオ、ロメロ」氏ガ北米評論雜誌中ニ於テ墨國隸夫制度ニ關シテ之ヲ辨護セル所アリシガ今之ヲ摘録スレバ左ノ如シ

墨國隸夫ニ關シ米國ニ於テ泛説スル所ニ大ナル誤謬アリ米國人ハ「ピラソ」ヲ以テ奴隸ト一般ナリトシ又墨國內此「ピラソ」ヲ以テ充滿スルガ如ク想像スルモノナリ予ハ云ハン此「ピラソ」法ハ勞働者少ナキ地方ニ行ハレ多少ノ攻撃ヲ受ク可キ要素ナキニ非サレモ此ノ如ク甚シキ者ニ非ラズ墨國ノ人口多キ部分ハ寒冷健康ノ氣候ヲ有スル山上即中央高原ニ位ヒシ冷帶温帶ノ物産ヲ生シ運搬不便ノ爲メ地方ノ需要ニ應スル式ノ耕作ヲ爲スニ止マレバ勞力ノ余リ有リテ賃金低廉ナルコト理ノ然ラシムル處ニシテ此ノ如キ地方ニハ往々隸夫制ノ行ハル、コトアルモノトス温帶トモ可稱時候ハ海面ヨリ三千乃至五千呎ノ高地ニ在リテ人口稀少貴重ナル物産ニ富ム即チ咖啡、砂糖其他熱帶菓物等トス乃チ天與ノ良地モ當時ハ勞働少ナキ爲メ大耕作ヲ施シ難ク又場所ニヨリ運輸ノ便ヲ欠ケルガ爲メ物産ヲ他方ニ輸出スルコト能ハザル者アリ熱帶ハ兩洋沿岸并ニ谷地ニ在リテ人口極メテ少ナク賃金頗ル高ク冷地一日ノ賃金食料付大概十二仙半ナルモ熱帶ニテハ一日一弗五十仙ナルコト



アリ冷温兩帶地ノ住民ハ怠惰ナルガ故ニ地方蟲害等ヲ名トシテ熱帶地方ニ至ラズ假令時々下降スルコトアルモ數日ニシテ歸ルヲ常トス故ニ最モ豐饒ニ最モ有利ナル土地ヲ未開ノ儘放棄シテ願ミサル者多ク是等ノ土地ハ亞非利加人又ハ亞細亞人ニ非サレバ開拓スル能ハズトノ思想地主社界ニ行ハレ支那人亞非利加人ヲ導キ入レントスル者多シ是墨國憲法第十一條ニ何レノ國人ヲ問ハス墨國ニ來住スルヲ許スノ個條アレ所以ナリ熱帶地方ニ住スル勞働者ハ其數少ナキカ爲メ冷温兩帶勞働者ヨリ二ケノ利益ヲ享有ス即第一ハ給料ノ高キコト第二ハ有事ノ際前借スルコトヲ得ル是レナリ然レモ好惡ナル雇主時トシテ此  
 前借ト勞働者ノ無職ト已レノ資産トヲ利用シテ勞働者ヲ束縛スルコトアリ是レ世間目シテ奴隸ト見做ス所ノ者ナレモ予ハ七ヶ年間「チヤパス州」ノ「コヌスコ」耕地ニ於テ親驗シタル所ヨリ隸夫ノ事ヲ述ベシニ同州ハ隸夫勞働法最モ多ク行ハル、所ニシテ若家事又ハ耕地勞働者ヲ得ント欲セバ先ツ最初ノ雇主ニ其前借ヲ償還スルニ非サレハ雇入ル、コト能ハズ其前借ノ額ハ種々アレモ一般百弗ヨリ五百弗ニ至ル故ニ多數ノ勞働者ヲ得ント欲セハ頗ル多額ノ金員ヲ要スルコト、知ルベシ而シテ時ノ經過ト共ニ該負債ハ減少セズ却テ漸次増加スルコト一般ナリ殊ニ勞働者毎週給料ノ全額又ハ給料ヨリ多額ヲ要求スルヲ例トス若シ勞働者勞働ニ不満足ナルモハ負債額ヲ償却セズ直ニ自由ニ他ニ轉雇スルコトヲ得ベシ然レモ雇主土地人情ニ通セザルカ又ハ他ノ事情アルモハ勞働者充分ノ負債ヲ爲シ他方ニ出奔シ又ハ他ノ方法ヲ以テ負債ヲ蹂躪スルコトアリ又「ダバスコ」「カムベチエ州」ノ如キハ無人ノ山林ニ良材ヲ伐木シ其跡ニ開拓ヲ爲ス者多ク彼等ハ近方ニ地方官ナキヲ好機ト

又ハ監視人勞働者ヲ監督シ無限ノ勢力ヲ振ヒ奸策ヲ逞フスルコトアリ又雇主商店ヲ開キ近傍ニ他店ノ競争ナキヲ好機トシ日用必需ノ物品ヲ賣リ給料トシテ渡セル自己ノ切手ヲ以テ仕佛ニ當テシメ價額ハ雇主ノ望ム儘ナル法外ノ請求ヲ爲スコトアリ  
 右ニ抄録スル所「ロメロ」氏ガ米國人ガ墨國隸夫ヲ評シテ奴隸制度ナリト云々スルヲ辨護スルノ目的ヲ以テ記述スル者ナレモ反ツテ墨國隸夫ノ現狀ヲ暴露セルモノナリト云ベク實ニ今日ト雖モ隸夫制度ハ到ル處ノ耕場ニ實行セラレテ地主ハ傲然一方ヲ據有シ邸宅ノ華麗ナル出入ノ壯嚴ナル宛然封建小諸侯ノ觀ヲ爲スモ却テ其使役スル所ノ隸夫ヲ見ルニ衣ハ以テ体軀ヲ蔽フニ足ラズ食ハ以テ凍餓ニ支フルニ足ラザルノ有様ニシテ子々孫々相傳ヘテ一地主ノ指呼ニ供シ其給與ヲ仰ギテ世々苦慘ヲ脱スル能ハザルコトハ事實ノ許ス所ナリト云ベク「ロメロ」氏ガ云ヘル如ク彼等ハ墨國憲法ノ成文ニ從ツテ去留諾否ノ自由權ヲ有スルニ相違ナカルベシト雖モ引イテ今日ニ至リテ十分ニ法文ノ特典ヲ履行スル能ハザル所以ノモノ一ニ一般住民ガ進取自尊ノ氣象ニ乏シキニ由レルモノナリト云ハザルヲ得ズ墨國當局者ガ外民ノ移住ヲ熱望スルノ甚シキ此ノ如クナルモ宜ナリト云ベシ然レモ「ビロン」制ハ單ニ墨國耕場ニ實行セラル、モノニシテ之ヲ以テ全体勞役者ノ狀態ヲ判定センコトハ其當ヲ得ザル者ト云ヘク鑛山鑛道、建築及工場等ニ使用スル工夫女工ノ如キハ何レモ相應ノ給料ヲ得テ適當ノ生計ヲ遂グル者タルコトヲ記應セザル可ラズ  
 左ニ記スル所「ロメロ」氏ガ其論說中ニ附載セル墨國農夫賃金額ニシテ頗ル精確ノ評アルモノナリ讀者之ヲ參看セバ大要ヲ得ル者アラン



州名	最低一日ノ賃金	最高一日ノ賃金	平均一日ノ賃金
「アグアスカリエンテス」	十八仙四分ノ三	十八仙四分ノ三	十八仙四分ノ三
「下」カリホルニヤ	五十仙	五十仙	五十仙
「チアパス」	廿五仙	七十五仙	五十仙
「チワ」	十八仙四分ノ三	廿五仙	廿一仙八分ノ七
「コウウイラ」	三十一仙四分ノ一	七十五仙	五十三仙八分ノ二
「コリマ」	廿五仙	三十七仙二分ノ一	卅一仙四分ノ一
「ツランゴ」	廿五仙	七十五仙	五十仙
直隸地			
「グアナフアトウ」	卅一仙四分ノ一	三十七仙二分ノ一	三十四仙八分ノ三
「ゲレロ」	十八仙四分ノ三	三十一仙四分ノ一	廿五仙
「イダルゴ」	十二仙二分ノ一	五十仙	卅四仙四分ノ三
「ハリスコ」	十八仙四分ノ三	五十仙	卅五仙
「メキシコ」	十二仙二分ノ一	卅七仙二分ノ一	廿五仙
「ミチヨアカン」	十五仙二分ノ一	七十五仙	五十仙
「モレロス」	廿五仙	七十五仙	五十仙
「ヌエボ、レラン」	十八仙四分ノ三	十八仙四分ノ三	十八仙四分ノ三
「アエブラ」	十八仙四分ノ三	五十仙	三十四仙八分ノ三

前合衆國總領事「ストローサー」氏ノ報告ニ依レバ墨國諸職工ノ給料大概左ノ如シ

「ケレタロ」	十八仙四分ノ三	三十七仙二分ノ一	廿八仙八分ノ一
「サン、ルネス、ポトシー」	十八仙四分ノ三	廿五仙	二十二仙四分ノ一
「ソノラ」	三十仙	一仙	六十五仙
「タパスコ」	卅七仙二分ノ一	五十仙	四十三仙四分ノ三
「アマウリパス」	廿五仙	五十仙	三十七仙二分ノ一
「チビツク」	廿五仙	五十仙	三十七仙二分ノ一
「トラクスカラ」	廿五仙	五十仙	三十七仙二分ノ一
「ペラ、クルーリス」	廿五仙	六十二仙二分ノ一	四十三仙四分ノ三
「ユカマン」	廿五仙	三十七仙二分ノ一	三十一仙四分ノ一
「サカテカス」	十八仙四分ノ三	五十仙	三十四仙八分ノ三
「サカテカス」	廿三仙三分ノ一	五十仙	三十六仙
合計平均			
製本師		一日壹弗ヨリ貳弗五十仙	
大工		七十五仙ヨリ壹弗	
製本師		壹弗ヨリ壹弗五十仙	
大工		五十仙ヨリ壹弗五十仙	
卷烟草職工 <small>重モニ用ユ</small>		壹弗五十仙ヨリ二弗	
車工		平均壹弗	
綿及毛糸紡績師及職工 <small>大略手間仕事トス之ヲ一日ニ概算スレハ</small>			



潔關車夫	壹弗ヨリ壹弗五十仙
工場諸種使夫	五十仙ヨリ七十五仙
車馬具師	七十五仙ヨリ壹弗
「ペンキ」塗職	七十五仙ヨリ壹弗廿五仙
帽子職	七十五仙ヨリ壹弗
機械製造師	壹弗ヨリ壹弗七十五仙
漆灰職	壹弗二十五仙ヨリ壹弗五十仙
鉛管師及ヒ瓦斯職	七十五仙ヨリ壹弗
走丁人夫	十二仙二分ノ一ヨリ五十仙
印刷人	壹弗ヨリ二弗
鐵道車掌	壹弗
縫針女工	三十七仙二分ノ一ヨリ五十仙
靴工	七十五仙ヨリ壹弗五十仙
石工及煉瓦師	七十五仙ヨリ壹弗廿五仙
火夫 <small>ヒダキ</small>	八十七仙二分ノ一ヨリ壹弗五十仙
裁縫師	壹弗ヨリ壹弗五十仙
錫器匠	七十五仙ヨリ八十七仙二分ノ一
轆轤職	七十五仙ヨリ壹弗

家具職

墨國普通人民生計ノ状態ヲ研究スルニ當リテ日用物品ノ價格ヲ並記スルハ尤モ必要ノ事ト考フルヲ以テ墨國市場ノ卸賣物價表ヲ撮録スレバ即チ左ノ如シ貧民ハ何レモ小賣ニテ日用食品ヲ求ムルコト故大概之ニ二三割ヲ増シタル價格ヲ拂フ者ト知ルベシ

小麥粉 内國品	一封ニ付五仙	七十五仙ヨリ壹弗廿五仙
玉蜀黍	一封ニ付九仙二分ノ一ヨリ十仙	
砂糖 精製	一封ニ付九仙二分ノ一ヨリ十仙	
全 粗製	八仙四分ノ一ヨリ九仙二分ノ一	
咖啡	一封ニ付廿二仙ヨリ廿四仙	
「チヨコレイト」	全 六十二仙	
豆	一封ニ付九弗五十仙ヨリ十六弗	
茶	一封ニ付壹弗ヨリ二弗	
米	全 六仙ヨリ十仙	
獸脂	全 十八仙ヨリ廿五仙	
牛肉	全 六仙ヨリ廿仙	
搥 粗製	全 三仙ヨリ七仙	
董腿 内國品	全 卅仙	
盤腿 全	全 廿五仙	



蕃椒 全 八ヨリ廿四仙  
 石鹼 洗濯用 一封八仙  
 炭 一封五仙  
 物價ノ高直ナル大概此ノ如キ有様ナルヲ以テ普通人民ノ食料ハ極メテ粗末ナルモノト云フ可ク日常々食トスル所ハ玉蜀黍餅豆小許ノ肉片等ニ過キザルモノナレハ左ニ掲クル所ハ墨府ニ於テ夫婦子供五人家内ヲ有セル勞働者ノ生計ヲ算出シタル費用ニシテ一日三十仙乃至五十仙ノ所得アル者ニ取リテハ他ニ家族ノ助力アルニ非ラザルヨリハ迎モ之ヲ支ユベキノ術ナク止ムヲ得ズ他人ノ扶助ヲ仰ギテ僅カニ其口ヲ糊スル者多シ尤モ内地ニ入レバ農作收穫ノ貯蓄等アルベキガ爲メ多少費用ヲ節減スル所アルベシト雖モ必竟スルニ物價ノ高直ナルハ一ニ今日運搬ノ不便ニシテ内國良地ノ未ダ十分ニ開拓セザルニ因由セル者ナルベシ  
 王蜀黍 三升 此小賣代價卅三仙  
 豆 五合 十二仙  
 牛肉 一封 八仙  
 蕃椒 全 三仙  
 野菜 葱、蕪、人參、赤茄 一束 六仙  
 炭 一小籠 三仙  
 獸脂 一ノ封四分一 三仙  
 鹽 一封 一仙

蠟燭	一個	全	二仙
「ブレケ」酒	土人常用ノ飲料	二壺	全
室料	一室一日		十仙
合計			九十一仙

### 第六章 植民政略

墨國土地空潤人口稀少ナルノ一事ハ別ニ喋々ヲ要セザル所ニシテ當局者が植民ノ移轉ヲ假リテ之ヲ開發センコトヲ志セシコトハ遠ク之ヲ前代ニ溯原スルコトヲ得ベク稅役輕減ノ方法ヲ設テ特別輸入ノ特典ヲ與ヘ無代ニテ土地ノ下渡ヲ許シテ外民ノ移住ヲ促セ凡今日ニ及ブ迄當局者ガ其目的ヲ達スル能ハザル者第一外國民ガ查訪ノ足ラザルヨリシテ往々墨國政體ノ確否ヲ疑ヒ又墨國天産ノ豐富ニシテ土地ノ沃穰ナルコトヲ知ラザルガ爲メ資本投入ヲ躊躇スルコト第二通運ノ普及セザルガ爲メ隔遠ノ地ニ在リテハ假令イ如何様ノ收穫アルモ之ヲ市場ニ致シテ生産費ヲ償却スルニ足ラザルコト第三資本家ガ貴金屬ノ採掘ニ眩惑シテ實着ナル農事ニ著手スルノ氣風ニ乏シキコト第四中央及ヒ東南諸州ニハ水利最便土地肥沃ナル廣地アルモ彼耕場主ナル者ガ殆ノ下數十哩ヲ運子テ之ヲ專領シ隸夫ヲ使用シテ自ラ之ヲ耕作スルカ若クハ之ヲ荒廢ニ委シ乍ラ時價ノ騰貴スルヲ待テテ之レガ所有權ヲ他人ニ讓與スルコトヲ好マザルコト等ハ以テ墨國今日土地未開ノ主因トモ云フ可シト雖モ現大統領「ピアス」氏就職以來汲々内治ノ改良ヲ謀リテ國家隆進ノ基ヲ開キ墨國ガ今日財政上及ヒ政治上ニ於テ安全ノ評判アルコトハ實ニ字内ニ昭々タル所ニシテ更ニ之ヲ疑フ可クモ非ズ且ツ



其天與ノ富饒ナルコト土地氣候ノ生産ニ適順ナルコトニ至ツテハ讀者已ニ前記ニ於テ之ヲ察知セルナラン運輸ノ普及セザルハ實ニ墨國進路ノ一大障害ヲ爲ス者ナルニ相違ナカルベシト雖也今ヤ鐵道ノ布設ハ殆ド東南諸部ニ縱横シテ漸ク西北地方ニ普及セントスルノ秋ナレバ今ヨリ五年ヲ出デズシテ墨其哥灣ヨリ太平洋ニ貫通シ旅客貨物ノ運送ヲ自在ナラシムルニ至ランコト必セリ是ニ於テカ墨國天然ニ保有セル生産上ノ不振ハ突然變化シテ活潑ヲ爲シ農工商業ノ生氣ヲ開カンコト如何ゾヤ鑛業ニ熱中スルノ一事ハ今ヤ漸ク士人ノ迷夢ヲ醒マスニ至リシカバ次第ニ農工商ニ投入スル資本ノ額ヲ増加スルヲ見ルニ至リシハ墨國ノ爲メ大ニ慶賀スベシ地主專有ノ弊ニ至テハ墨國有識者活眼ヲ開イテ之ヲ看破シ之レガ救濟ヲ講ズルコト之ヲ左ノ一編ニ徴ス可シ

墨國ハ國ノ富強ニ必須ナル要素ハ一トシテ之ヲ欠ク所ナク只人口ノ不足ヲ以テ微瑕ト爲スノミ而シテ今日人口増加ノ尤モ障碍ヲ爲ス者ハ墨國田制ノアマリ廣大ニシテ地主偏有ノ傾アルガ爲メ大概其十分ノ一ヲモ之ヲ耕作ニ使用スル能ハザルノ有様ナレバ一旦此弊習ヲ打破シ何人ニテモ相當ノ代價ヲ以テ田地ヲ購求スルコトヲ得セシメテ移民ノ接踵來住スルニ至ランコト必セリ且大地主等ニ於テモ實ニ歐洲諸國ガ太西洋ノ他岸ニ向ツテ新地ヲ求メ其過剩ノ人口ヲ移植セン爲メ相當ノ代價ヲ拂フニ吝ナラザル時ニ當リ空シク廣大ノ地產ヲ荒蕪ニ委センヨリハ其不用ナル部分ヲ賣却シ必用ノ資本ヲ得ンコトヲ希望スルニ至ラン墨國地主ガ其所有地ノ幾部ヲ賣却シテ之ヲ資本ニ換ルニ於テハ其今日ノ位地ヨリ進ンテ更ニ社會ノ好位地ヲ占ムルニ至ルノ日アラント毫モ疑フベキニ非ラズ墨

國政府ハ現ニ此平和ナル手段ニ由リテ財産的ノ革命ヲ企圖セルモニシテ其寬裕ナル補助ヲ與ヘ若クハ保護ヲ加ヘテ鐵道ノ布設ヲ獎勵スルハ別ニ大目的トスル所無シハアル可ラズ今ヤ墨國ガ其門扉ヲ開イテ移民ヲ歡迎スルノ時ニ際シ殊ニ地主タルモノハ其土地ト水利ヲ賣却シ移民ヲ誘導スルノ手段トシテ組合協會ヲ設立セシコト尤モ必要ナリト云フ可シサスレバ歐洲ニ於ケル大資本家ハ資本ヲ組合協會ニ給シテ道路ヲ敷キ水利ヲ起シ移民來住ノ目的ヲ達セシムルニ至ラン政府モ亦タ組合協會ヲ助ケ其事業ヲ成就セシモンコト必セリ墨國今日ノ急務ハ移民ノ進入ヨリ先キナルハナシ何トナレバ美良ナル新公民ノ増加ハ富ミヲ遺出シ輸出ヲ増加シ産業ヲ振興センコト明カナレバナリ(墨國經濟雜誌)墨國ニ於テ外民移入ノ政策トシテ發布セシモノハ一千八百廿一年中全國繁榮ト稱スル法令ニシテ之レガ爲メテキサス州ニ外民ノ移住ヲ促カスコト著シカリシガ千八百四十六年ニ至リ時ノ外務大臣ホセ、ラフラガ氏ハ移民進入ヲ等閑ニ附スルヲ以テ國家ニ對スル大叛逆罪也ト喚ハルニ至リ次イテ帝政ノ頃コブレス氏ハ一策ヲ國會ニ建議シ一千八百六十八年ニハ「バルカールセル」氏一千八百七十七年ニハ「リバ、ハラシオ」氏共ニ植民ニ關シテ意見ヲ公ニスル所アリ一千八百八十五年十二月十五日ニ至リ當時ノ大統領「ゴンサレス」氏ハ遂ニ現行移民條例ヲ發シテ之レガ實施ヲ見ルニ至レリ該條例ハ四章卅一條ヨリ成ル今之ヲ譯載スレバ左ノ如シ

移住民條例

第一章 土地ノ測定



第一條 殖民地設立ニ使用スベキ土地ヲ整備スベキ目的ヲ以テ行政官ハ當共和國内ニ存在セル公共地若クハ國有地ヲ分割測量小分評價セシムガ爲メ之ヲ實行スベキ技術委員ヲ撰任シ又之レニ必要ナル施行手續ヲ指定ス可シ

第二條 丁年以上ニシテ契約締結ノ能力ヲ有スル一個人ニ下渡ス可キ特典ハ二千五百、エルフルヲ超過スルコトヲ得ズ

第三條 分割測量小分及評價シタル土地ハ左ノ條件ニ從ツテ其地ニ定住セシムコトヲ希望スル外國人及ヒ該共和國國民ニ下渡セラレベシ

一、拂下ノ節ハ技師ノ評定シ農工商殖民大臣ノ贊可シタル價格ニ從ヒ納金ヲ確証セシメタル上殖民地設立ノ第二年目ヨリ起算シ十年間ニ之ヲ上納セシム可シ

二、代價ハ現金ヲ以テ之ヲ上納セシメ前項ノ期限ヲ超過スルコトヲ得ズ

三、移住民ニテランコトヲ出願スルモノアルキハ百、エクトル以下無代價ニテ土地ヲ下渡ス事アルベシ但此場合ニ在リテハ引續イテ之ヲ所有シ且ツ五年間ニ其土地ノ全部若クハ十分ノ一以上ヲ耕作シタルコトヲ証明スルニ非ザレハ其所有權ヲ享受スルコトヲ得ズ

第四條 第一條ニ掲ケタル殖民地アレトキハ行政官ハ其所在地圖及價格ヲ公示セシムコトヲ要ス尤分割ノ土地ハ交界ナク之ヲ一個人ニ下渡スコトナク一區宛ヲ隔テ、之ヲ附與スベキモノトス

土地分與ノ後殘餘ノ地所アレハ行政官ニ於テ之ヲ保存シ本法ニ從ヒ他日出願者アルトキ之ヲ拂下ケ若クハ行政官ニ於テ殖民普及上必要ナル資金ヲ得ントスルキ之ヲ基本トナシ

テ債券ヲ發行スルコトアルベシ

### 第二章 移住民

第五條 移住民トシテ本法規定ノ特典ヲ受ケントスル外國人ハ其國在留墨國領事若クハ殖民事務官若クハ當共和國ニ移住民召喚ノ目的ヲ以テ設立シ行政官ノ認許セル會社ノ證明狀ヲ携ヘテ當國ニ來ルベシ

移住民若クハ代理人ニ當國ニ住居スル場合ニハ植民大臣若クハ其代理者ノ許ニ至リテ許可ヲ受ケ可シ

第六條 移住民若クハ代理人ハ領事又ハ殖民事務委員ヨリ其性行及ヒ前職業ニ對スル保證狀ヲ申受ケ之レヲ當國政府ニ提出セシムコトヲ要ス

第七條 移住民ハ其來住年月ヨリ算シテ十年間左ノ特典ヲ受ケルコトヲ得ベシ

一、兵役ノ免除  
二、諸種租稅ノ免除但地方稅ハ此限ニ非ラズ

三、左ノ諸品ニ對スル輸入稅及ヒ内國稅當國ニ産セサル食品、農具、小道具、器械、家具、造家用材必用携帶品、役使及ヒ繁殖用動物等ニシテ專ラ移住民自己ノ所用ニ供セラルベキモノ

四、殖民地權權物ニ對スル輸出稅ノ免除但移住民自己ノ收穫物ニ限ル

五、著名ナル功勞ニ對スル報酬及ヒ耕作工業上新方法ノ採用ニ對スル報酬及ヒ保護

六、名譽公認手數料及ヒ政府若クハ其代表者ト締結シタル契約ニヨリ殖民ノ目的ヲ以テ當共和國ニ來住セントスル者ニ下附スル旅行券下渡料

第八條 無稅輸入品ノ量額種類ハ植民大臣ニ於テ之ヲ規定シ別ニ大藏大臣ハ偽白若クハ密



輸ヲ豫防ス可キ爲メ輸入ニ關スル取締ヲ規定ス可シ但シ此際物品配達ノ便ヲ妨ケザラン  
コトヲ要ス

第九條 樹木ニ定住スル者ニシテ其十分ノ一ヲ超エサル土地ニ樹木ヲ植付ケンコトヲ  
出願スル者ハ通常特免ノ外ニ猶二年間ノ追加アル可シ其一年間ハ全地ノ租稅ヲ免シ他ノ  
一年間ハ樹木殖付地ノ租稅ヲ免スベシ

第十條 移住民ハ市町村ノ吏員ヲ撰舉シ地方稅ヲ規定シテ其地方ノ自治ヲ計リ且ツ當共和  
國及ヒ所住州ノ法律ヲ遵奉スル義務アル者トス

植民大臣ハ業務ノ進捗ヲ獎勵シ及ヒ移住民ノ聯邦政府ニ負フ所ノ扶助金ヲ還納セシムル  
爲メ速カニ其代理者ヲ撰定派遣ス可シ

第十一條 移住民ハ聯邦政府及ヒ來住ニ關シ私人若クハ私社ニ向ツテ締結セル所ノ契約ヲ  
履行スルノ義務アル者トス

第十二條 移住民ハ殖民事務官若クハ公証人地方判事ノ前ニ至リ其決意ヲ告ゲテ本國籍ヲ  
持續シ又ハ墨國憲法第卅章第三款ニ從ヒ墨民籍ヲ占ムルコトヲ得ベシ

第十三條 移住民ハ本法ノ規定セル特典ヲ受クルト同時ニ墨國憲法ノ認可セル所ニ從ヒ總  
テ墨國人及ヒ外國人ノ受ク可キ權利義務ヲ有スル者トシテ對遇セラルベシ尤モ何種ノ事  
件ヲ問ハズ百般ノ爭訟ハ更ラニ外國ノ交渉ヲ容ル、コトナク當共和國裁判官ノ審決ニ任  
スベキモノトス

第十四條 移住民ニシテ事由ナク地代未納前一年以上之レニ着手セザルモノハ其土地ノ所

有權ヲ失ヒ且ツ既納地代ヲ沒收セラル、モノトス

第三條第三項ニ相當セル者ニシテ事由ナク六ヶ月以上耕作ヲ施サシテ土地ヲ拋擲スル  
者ハ無代下渡ノ特典ヲ失フ可シ

第十五條 聯邦政府ノ新ニ殖民ヲ送ラントセル地方ニ創業者トシテ移住センコトヲ出願  
スル墨國人及ヒ外國人ニハ無代ニテ土地ヲ下渡スヘシ尤此場合ニ於テハ移住後二年間ニ  
其地ニ住居ヲ定メタル限リ其土地ノ所有權ヲ享受スヘシ

第十六條 外國ニ居住スル墨國人ニシテ當共和國々境ノ荒地ニ移住センコトヲ欲スルモノ  
ハ第三條第三項ニ因リ二百、エングタル以下ヲ無代價ニテ下渡シ十五年間本法ニ規定セル  
特免ヲ受クルコトヲ得ベシ

第十七條 行政官ハ其必要ト思考スル場合ニ於テハ豫算法ノ規定スル所ニ從ヒ一時限リ海  
上若クハ鐵道線ノ通スル所マテ補助ヲ加ヘテ移住民ヲ運送シ又行政官ノ指定セル土地  
ニ着スル上十五日間ノ食料、小道具、種子、造家用材、役使及ヒ繁殖用家畜ヲ給スルコトヲ得尤  
此等ノ費用ハ地代及ヒ其他諸費同様ノ割合ヲ以テ償還スヘキモノトス

第三章 會社

第十八條 會社ハ行政官ノ認可ヲ經テ土地ヲ測定分割、小分評價シ若クハ其模様ヲ記シテ之  
ヲ整理シ又其土地ニ移住民ヲ送リテ之ヲ開墾スルノ事務ニ從事スルコトヲ得

第十九條 行政官ノ認可ヲ受ク可キ爲メ會社ハ其土地ノ模様及ヒ之ニ對スル移住民ノ員數  
ヲ明示シテ其見込ヲ申立ツベシ



第廿條 該公共地所在ノ地方判事ニ於テ土地ノ測定及ヒ分割ヲ認可シタル上ハ反對者ナキ場合ニ限リ第十八條ニ規定セル條件ヲ整理シテ殖民大臣ニ具狀セシムル爲メ判事ハ地圖及ヒ証明ヲ會社ニ交付スベシ若シ反對者アルキハ大藏大臣代表者ノ立會ヒ構成セル裁判官ノ審決ヲ經ベキ者トス

第廿一條 土地整理費用ニ對スル補償トシテ行政官ハ其土地三分ノ一ヲ會社ニ下渡スコトヲ得但シ會社ニ於テ此等ノ土地ヲ二千五百エクタル以上若クハ之ヲ所有スベキ權利ナキ外國人ニ讓與スルコトヲ得ズ若シ之レニ違犯スルトキハ該事件ノ起リタル部分ヲ沒收シ國有財産ニ編入スベシ

第廿二條 會社ニ於テ測定シ其報酬トシテ之ニ交付シタル土地ノ殘餘ハ本法第三、四條ノ規定スル所ニ從ヒ移住民ニ之ヲ分與シ又ハ之ヲ保有シ置クベシ

第廿三條 會社ニ於テ三ヶ月以内ニ其業務ニ着手セザルキハ其行政官ヨリ享受セル諸種ノ權利ヲ失フモノトス

第廿四條 行政官ハ會社ト特約シテ左ノ條件ニ從ヒ外國ヨリ移住民ヲ遷徙セシムルコトヲ得

- 一、會社ハ期限ヲ定メテ若干ノ移住民ヲ輸入スルコトヲ申立テザル可ラズ
- 二、移住民ハ本法第五、六款ノ規定スル條件ヲ遵奉センコトヲ要ス
- 三、會社ノ移住民ト締結スベキ契約ハ本法ノ指定スル所ニ從ヒ殖民大臣ノ贊可ヲ經ベキ者トス

四、會社ハ行政官ニ對シ約定スル所ノ義務ヲ履行スルコトヲ保証シ若シ違犯スルキハ停止若シクハ罰金ノ命ヲ受クルニ當リ異議ナカランコトヲ要ス

第廿五條 當共和國內ニ移住民ヲ輸入センコトヲ行政官ニ約束シタル會社ハ二年以上廿年間左ノ特典及ヒ特免ヲ受クルコトヲ得ベシ

一、公共地又ハ國有地ニ殖民セントスル者ニハ長期限及ヒ相當地價ヲ以テ土地ヲ拂下クルコトアルベシ

二、印紙稅ヲ除クノ外會社資本ニ對スル諸種租稅ノ免除

三、十家族以上ヲ當共和國ニ載航シ得ヘキ會社使用船舶ニ對スル入港稅ノ免除但港灣改良ニ關スル費用ノ徵収ハ此限ニ非ラズ

四、小道具、器械、造家用材及ヒ役使若クハ繁殖用家畜ニ對スル輸入稅ノ免除但此等ノ品物ハ專ラ行政官ニ於テ承認シタル耕作地、鑛山及ヒ其他ノ業務ニ使用セラレ、者ニ限ル

五、左記ノ家族ニ對シ等差ヲ設ケテ相當ノ保護金ヲ給與スルコト  
已ニ定住セル家族、當國ニ來着スル家族、及ヒ外國移住民ト混住セル墨國家族

六、當國政府ヨリ保護ヲ加フル漁船及ヒ鐵道線路ニ於テ政府ノ支辨ヲ以テ移住民ヲ運送スルコトヲ得

第廿六條 外國人設立ノ殖民會社マツトモ當共和國ニ貫籍ヲ定メ取締役及ヒ行政官ト打合セノ權利ヲ委託セル代辨人ヲ設ケ置カンコトヲ要ス

第廿七條 該會社ト當國政府トノ間ニ起レル紛議ハ當共和國ノ法律ニ從ツテ當國裁判官之



ヲ審決シ更ラニ外國交際官ノ交渉ヲ容レサルモノトス

第四章 雜則

第廿八條 一人ノ所有地ヲトモ十家族以上ヲ定住セシメントスルトキハ他ノ殖民同様ノ特典及ヒ特免ヲ受クルコトヲ得尤モ行政官ハ之ニ對シテ殖民ノ目的ヲ進捗スルニ必要ナル條件ヲ指示シ殊ニ移住民ニ於テ耕作ニ供ス可キ土地ヲ得ンコトヲ望ムルハ之ヲ讓受買得スルコトヲ得ベキ旨ヲ約定スベキ者トス  
行政官ハ一人ノ外國移住民ヲ配附シテ必要ノ條件ヲ規定シ且ツ移住民ノ旅費ヲ扶助スルコトヲ得ベシ

第廿九條 太西太平洋兩洋中島嶼ノ殖民ハ本法ノ指定ニ從ヒ聯邦行政官ニ於テ之ヲ管理シ每嶋五十、エクタールノ地面ハ公共用トシテ政府ニ於テ必ズ之ヲ保有スベキモノトス  
土地狹小ニシテ前項ニ規定スル如キ區劃ヲ爲スコト能ハザル場合ニハ短期ヲ以テ土地ヲ貸渡スコトアルベシ

島嶼殖民地ニ在リテハ其住民ノ半數以上ハ墨國人民ヲラントコトヲ要ス

第三十條 行政官ハ豫算法ノ許ス限リハ必要ト見認ムル場合ニ於イテ一人ノ所有地ヲ購収スルノ權アリ

第卅一條 殖民ニ關シ本法ニ先チ發布スル所ノ法令ハ總テ其効力ヲ失フモノトス  
一千八百八十九年七月十七日大統領「ヤアス」氏ハ前法律第七條並第廿五條ノ明文ニ由リ外國殖民ニ附與スベキ特許ニ關シ大權ヲ施行セン爲メ左ノ條例ヲ發布シタリ

殖民用品無稅輸入規則

第一條 千八百八十三年十二月十五日法律第七條第三項並同第廿五條第四項ニ由リ殖民及ヒ公許セシ殖民會社ニ向テ左記ノ必需品ハ無稅通關スルコトヲ許可ス

食料品 油類「アホス」ニ「フン」ニ「アル」ウエ「ホー」チ「ス」ノ類 豆野豌豆 米 燕麥 砂糖通常並 各種咖啡 鹽漬及董

蒸肉、大麥、葱、豆類、菓物、生菜、通常乾、蒸餅、麥粉、穀類、罐詰牛乳、玉蜀黍、獸脂、牛酪、芥粉、馬鈴、芋、麵

類、蕃椒、食鹽、各種茶、酢陶器、硝子 並

石並土製品 土管、煉瓦耐火、石版、敷石、版磨但シ一面ノミ、各種石類但シ大理石及、砥石、無地硝

子、白石灰

車類 各種ノ手車、荷車、荷車用鋼鉄金物、車輪、荷車用馬具

藥種 澱粉

鋼鐵器類 障扉用鉄繩、鉄又ハ具、鑰製臂金、壺金、鑰穴金物類、鍍金セザル鉄鋼具、鑰、鉄鋼具、鑰銅

製鍵、釘、鉄、鉄、螺旋並受金、鉄並鍍錫セシ留金、防錆鉄並其他金屬ノ屋根板、鉄製吹鞴、鉄鋼具

鎗又ハ木製小道具、器械并附屬品、木製鋏、割烹用鍋、煖爐、馬蹄鐵、水揚用鐵又ハ木製風車、又

ハ木製繩車、器械取手、屋根板

材木類其他 草蓆、玉蜀黍蓆、材木板角、漆喰壁ニ用ニル牛毛、木製戸并ニ硝子付共、天幕并柱、馬

ニ限ル

第二條 外國ヨリ來ル殖民ハ其墨國ニ到着ノ節ニ限リ殖民ニ相當シタル家具并ニ移住ニ必

要ナル諸道具ヲ新舊ノ別ナク無稅輸入スルコトヲ得ベシ



第三條 工農商植民大臣ハ次ノ第四條ニ準據シ殖民ノ無稅輸入スベキ食料品并其量額ヲ時宜ニ應シ制定ス可シ

第四條 此條例又ハ一般ノ稅關規則ニ由リ無稅ヲ以テ輸入スル物品ハ公許セラレタル殖民ヨリ直接ニ若クハ殖民會社代理人或ヒハ稅關仲買ノ手ヲ經由シテ之ヲ出願スルコトヲ得尤モ左ノ條々ノ手續ヲ履行セシムルヲ要ス

第五條 殖民自身又ハ代理人ヲ經テ其必用ナル物品ヲ本條例又ハ一般ノ稅關規則ニ從ヒ無稅輸入セシムコトヲ殖民大臣ニ出願ス可シ願書ハ正副二通ニシテ物品ノ種類性質ヲ詳記セシムコトヲ要ス其願書ハ殖民局事務官ニ於テ正確ト認ムル時ハ寫本ヲ製シ其旨ヲ記載シ殖民上陸ノ稅關ニ回付シ正書ハ殖民大臣ニ送付シ副書ハ同事務官之ヲ保管シ同時ニ出願人ニ保證書ヲ附與スヘシ

第六條 殖民自身又ハ其代理人ヲ經テ輸入スル物品ハ墨國領事ノ證狀ヲ要シ決シテ課稅品ト混同ス可ラズ

第七條 殖民又ハ其代理人ハ物品ヲ輸入セシトキ法律ニ從ヒ稅關ニ必用ナル制規書類ヲ提出シ豫テ殖民局事務官ヨリ受領セル証書ヲ添付シ荷物ノ通關手續ヲ爲ス可シ然レモ若シ制規ニ違背スルモノアルトキハ稅關規則第三百八十八條ニ據リ處分ス可シ

第六條 殖民自身又ハ其代理人ヲ經テ輸入スル物品ハ墨國領事ノ證狀ヲ要シ決シテ課稅品ト混同ス可ラズ

第八條 殖民局事務官ハ常ニ注意シテ殖民會社ノ代理人ヲシテ來航スベキ殖民ノ員數、名姓、上陸場所等ノ報告ヲ爲サシメ當該稅關ニ通報シ殖民來着ノ上荷物通關上不必用ノ遲延ヲ來サシメサルヲ要ス

第九條 殖民局事務官殖民ノ上陸スル場所ニ在ルトキハ同官殖民ノ輸入セル家財諸道具ヲ檢シ當條例第二條ニ準據シ無稅輸入ヲ許可スベキヤ否ヲ確定ス若シ其地方ニ事務官ナキキハ稅關長代テ之ガ檢査ヲ爲セシ

第十條 殖民ノ輸入セシ物品ニシテ當條例第二條ニ指定セル者ヨリ性質種類等優等ニシテ不相當ナリト見認ルキハ稅關規則第八十條ニ依リ處分ス可シ

第十一條 殖民局事務官殖民ニ極メテ必用ナル物品ノ輸入ヲ許シ常ニ其多寡及ヒ所用、食料品、造家又ハ耕作ニ用ユル物品ニ注意シ濫リニ多額ヲ輸入セシム可ラズ

第十二條 若シ殖民又ハ其代理人無稅輸入ノ特許ヲ奇貨トシ輸入ノ物品ヲ賣買セシムコトヲ發見スルトキハ殖民局事務官ハ直チニ地方裁判所ニ告訴シ裁判官ニ於テ罪跡ヲ發見スルトキハ稅關長ト協議シ稅關規則第三百七十一條ニ據リ處斷ス

第十三條 殖民局事務官ハ殖民ニ關スル記錄即殖民ノ願書、番號、願書ノ日附、殖民荷物通關ニ關シ稅關ニ轉達セシ願書并ニ荷物ノ數量、品名、殖民ノ姓名并若シ代理人アレハ其姓名等精確ニ記載シ製表シテ毎月殖民大臣ニ報告ス可シ

第十四條 殖民局事務官ハ殖民所携物品ノ記錄ヲ爲シ一家族ノ員數、食料品ノ多寡并消費ノ景況及ヒ家屋建築并ニ耕作ノ模様等ヲ詳記スベシ而シテ殖民事務官ハ此記錄ノ正寫ヲ六



ケ月毎ニ殖民大臣ニ報告シ同大臣ハ向來施行獎勵法ノ參考ト爲スベシ  
 土地拂下代價ハ千八百六十三年七月廿二日公布ノ土地條例ニ從ヒ年々行政官ニ於テ之ヲ評  
 定布告スル所ナルガ第一等地トハ地味豊饒ニシテ耕作ニ適シ位地運輸弁ニ灌漑ニ便ナル土  
 地ヲ云ヒ第二等地トハ地味灌漑ノ便等第一等地ニ讓サレハ當時運輸ノ便未ダ開ケザル土地  
 ヲ云ヒ第三等地トハ地味其他第一第二等地ニ劣リ運輸不便且ツ消費市場ニ遠ク時々水害又  
 ハ旱災等ノ虞アル地ヲ云フ者ニシテ現年度ニ於ケル拂下代價ハ即チ左ノ如シ

州名	第一等地 <sup>ニ付</sup> <small>ニ付</small>	第二等地全	第三等地全
「アグアスカリエンテス」	二、二五	一、五〇	一、〇〇
「カムベチエ」	一、六五	一、一〇	七、七五
「コワイラ」	七、七五	五、〇〇	三、〇〇
「ヨリマ」	二、二五	一、五〇	一、〇〇
「チアパス」	一、六五	一、一〇	七、七五
「ナワ」	七、七五	五、〇〇	三、〇〇
「ツランゴ」	七、七五	五、〇〇	三、〇〇
「グアナフアト」	三、三五	二、二五	一、五〇
「ゲレロ」	一、一〇	七、七五	五、〇〇
「イダルゴ」	二、二五	一、五〇	一、〇〇
「ハリスコ」	二、二五	一、五〇	一、〇〇

「メキシコ」	三、三五	二、二五	一、五〇
「ミチヨアカン」	二、二五	一、五〇	一、〇〇
「モレロス」	四、五〇	三、〇〇	二、〇〇
「ヌエヴァオレオン」	七、七五	五、〇〇	三、〇〇
「オハカ」	一、一〇	七、七五	五、〇〇
「アエナラ」	三、三五	二、二五	一、五〇
「ケレタロ」	三、三五	二、二五	一、五〇
「サン、ルイス、ポトシ」	二、二五	一、五〇	一、〇〇
「シナロア」	一、一〇	七、七五	五、〇〇
「ツノラ」	一、一〇	七、七五	五、〇〇
「タパスコ」	二、〇〇	一、五〇	一、〇〇
「マヤウリパス」	七、七五	五、〇〇	三、〇〇
「トラクスカラ」	二、二五	一、五〇	一、〇〇
「ヴェラクルイス」	二、七五	一、八五	一二、二五
「ユカタン」	一、六五	一、一〇	七、七五
「サカテカス」	二、二五	一、五〇	一、〇〇
「テビツク領地」	一、六五	一、一〇	七、七五



前掲法律規則ノ明文ニ由リ墨國ニ於ケル植民又ハ土地買占ノ目的ヲ以テ之レガ計畫ニ從事スル者多ク一千八百九十一年中合衆國ニ於テ會社ヲ組織セシ者五百四十萬五千弗英國ニ於テハ百萬磅ノ資本ニ上レルノ有様ナルガ今殖民特許ノ一例ヲ示サンガ爲メ左ニ千八百九十一年十一月十九日殖民大臣心得「リアル」氏ト獨國人「ウエナ」氏トノ間ニ殖民ノ目的ヲ以テ締結シタル特許契約ヲ記載スベシ

第一條 「カ」ロス、ウエナ「」氏ハ千八百八十三年十二月十五日ノ移住民條例ニ準シ「チャパス」州「ラスパルマス、イ、ヌエストラ、セニヨラ、デル、レフヒラ」ニ於ケル所有耕地并ニ將來同人ノ購求セントスル「タバスコ」州耕地ニ殖民ヲ爲スノ特許ヲ附與セラル、者ナリ

第二條 「カ」ロス、ウエナ「」氏ハ此契約日付後五ヶ年內ニ前記ノ耕地ニ五十家族ヨリ少ナカラザル殖民ヲ移住セシメ内七割五分ハ外國人ニ割五分ハ墨國人トシ墨國人ハ二ヶ年內ニ同地ニ移住セシメザル可ラズ

第三條 特許享有者ハ「グアテマラ」其他亞米利加共和諸國在留ノ墨國人ヲ可成丈ケ其所有地内ニ移住セシムルコトヲ勉メサル可ラズ

第四條 特許享有者ハ契約締結后五ヶ年內ニ輸出產物ナル「チヨコレ」ト「エチケン」ヲ「ミ烟草」咖啡ノ内何レカヲ耕作シ又二十萬本ノ護謨樹ヲ植付ケサル可ラズ

第五條 現行移住民條例第七條ニ據リ「ウエナ」氏ハ十ヶ年間諸般ノ特許ヲ享有スベシ

第六條 特許享有者ハ移住民條例第廿五條ニ據リ十ヶ年間該特許ヲ享有スルヲ得但同條第

五項ハ之ヲ除ク

第七條 特許享有者ハ移住民條例第廿八條ニ據リ移住者ニ各五「エ」クマルスヨリ少ナカラザル土地ヲ賣渡シ又ハ讓與スルノ義務アル者トス

第八條 特許享有者ハ向后一個人又ハ會社或ハ政府ヨリ購買シ又ハ讓受クル土地ヲ殖民ノ爲メ使用スルハ此契約ヲ其地ニモ履行スルコトヲ得ベシ

第九條 政府ハ特許享有者ノ其土地内ニ植付クル處ノ護謨廿萬本ニ對シ一本ニ仙宛ノ獎勵金ヲ一ヶ年四萬本ノ割ヲ以テ豫算ノ許ス限ハ附與スベシ若シ一ヶ年內四萬本ヲ超ユルハ其超過額ハ五ヶ年ニ分割拂渡スベシ而シテ特許享有者同樹ノ植付ヲ終ル毎ニ獎勵金ヲ領収スル前政府ノ代理人ニ報告シ代理人ハ其植付ノ模様并同樹ノ高サ「」メートル半以上ナルコトヲ保証スベシ

第十條 此特許契約期限ハ十ヶ年トス

第十一條 特許享有者ハ墨國ニ代理者ヲ置キ政府ニ向テ此契約ヨリ生スル諸般事務ノ代辨ヲ委託センコトヲ要ス

第十二條 特許享有者ノ組織スル會社ハ假令イ其株主中多少ノ外國人アルモ總テ墨國ノ政令ヲ遵奉セザル可ラズ若會社ト政府トノ間此契約上異議ヲ生スルハ當共和国ノ法律ニ據リ處斷シ決シテ外國交際官ノ交渉ヲ許サルモノトス

第十三條 特許享有者ト移民トノ間ニ締結スル契約ハ千八百八十三年十二月十五日ノ條例ニ準據シ而シテ殖民大臣ノ認可ヲ受ク可キモノトス



第十四條 若シ特許享有者ニ於テ該土地ヲ他人又ハ會社ニ讓與賣買質入ヲ爲サントスルキハ豫メ政府ノ承諾ヲ受ク可シ而シテ引受者此契約ノ義務ヲ實行スルニ於テハ政府ハ此特許契約ヲ繼續スベシ

第十五條 墨人又ハ外國ヨリ來ル移民ハ總テ墨國ノ法律規則ヲ遵守シ及ヒ憲法ヲ奉重スル者トシ千八百八十三年十二月十五日條例ニ由リ各種ノ特典ヲ享有スルヲ得ベシ然レモ若シ其間ニ起ル所ノ紛議問題ハ當共和國裁判處之ヲ判決シ一切外國政府ノ關涉ヲ容レザルモノトス

第十六條 特許享有者ハ此契約ノ保証トシテ當國政府ノ指定スル公債証書額面三千弗ヲ此契約日付后三月以内ニ墨國々立銀行ニ預ケ入ルベシ

第十七條 此契約ハ左ノ諸項ニ由リ無効ニ歸スベシ

第一項 第十六條ニ記セル保証金ヲ納入セザルトキ

第二項 第二條ニ記セル家族ヲ移住セシメズ又第七條ニ記セル廣サノ土地ヲ移住者ニ讓與又ハ賣渡サ、ルキ

第三項 此契約ヲ政府ノ承認ナク他人又ハ會社ニ引渡スルキ

第四項 此契約ヲ外國政府ニ賣渡讓與質入ヲ爲スカ或ヒハ組合ヒ所有スルキ

第十八條 十七條第二項ニ示ス如ク豫定ノ家族ヲ移サザルキハ保証金ノ外特許契約者ハ政府ニ向テ其承認スル公債証書ヲ以テ一家族百弗ノ割ヲ以テ科料ヲ納ムベシ

第十七條第三項ニ抵觸スルキハ保証金ヲ沒収スベシ

第十七條第四項ニ觸ル、キハ契約ヲ無効ナラシムルノ外保証金ヲ沒収スベシ

第十九條 此契約ニ示ス處ノ土地ニ不時ノ災害又ハ大ナル天災アリタルキハ其旨ヲ相當期限内ニ殖民大臣ニ申出ツレハ此契約ヲ履行スルニ及パス

墨國須知 大尾



# 送り狀雛形

何國何船何號船長何某ニ由ツテ其任向地ナル墨共和國何々港何某ニ送ル商品送り狀

各包記號	各包 ノ 發號	包 ノ 文字 記號 文字 記號	荷 物 ノ 種 類	各 包 ノ 文字 記號 文字 記號	船 名 ノ 文字 記號 文字 記號	船 長 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號	船 主 ノ 文字 記號 文字 記號

右ノ通相違無之ヲ宣撰ス  
場所并月日

記名



度六十百

度二十百

度八百

度四百

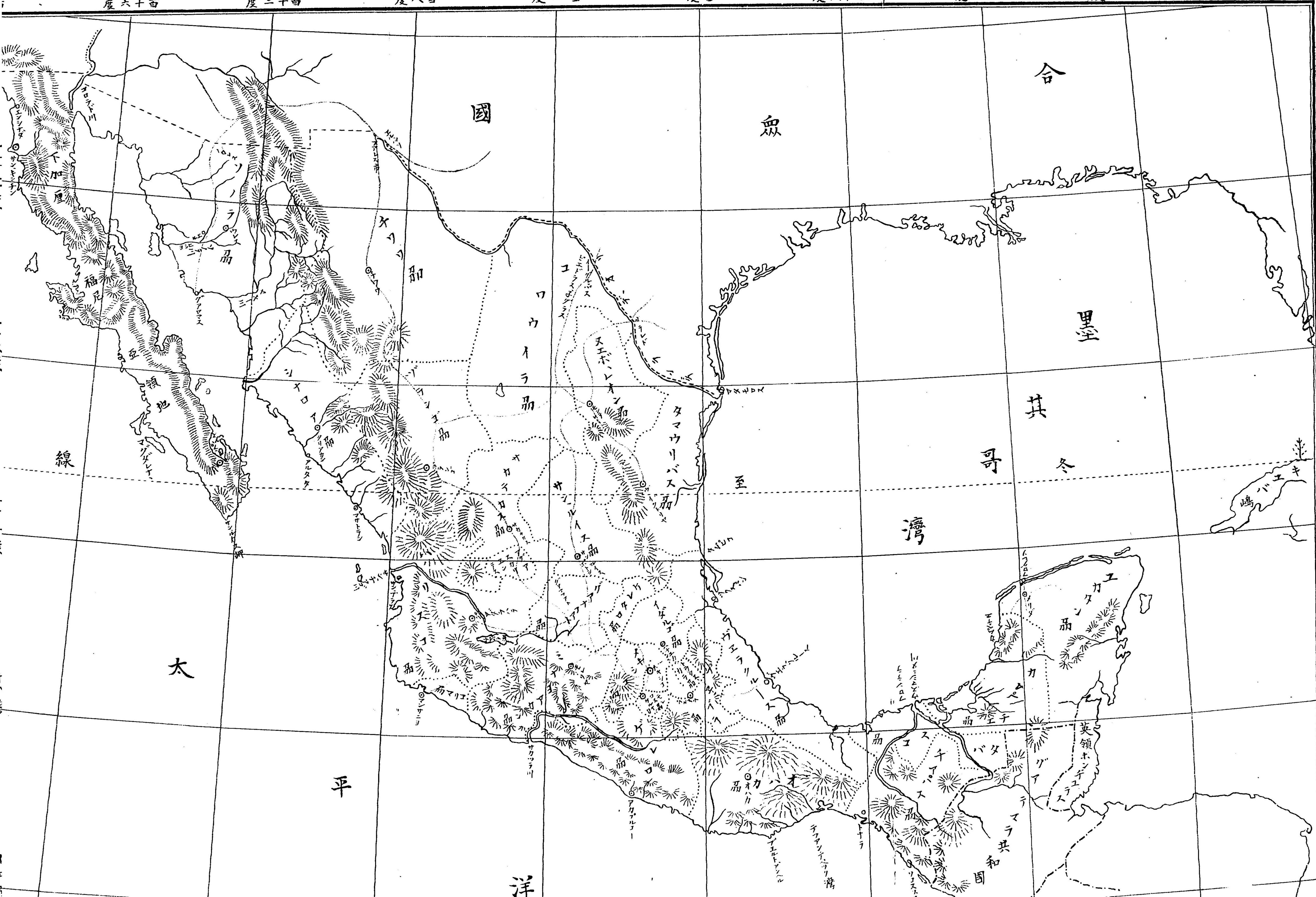
度百

度六十九

度二十九

度八十八

度四十八經西



北緯三十度

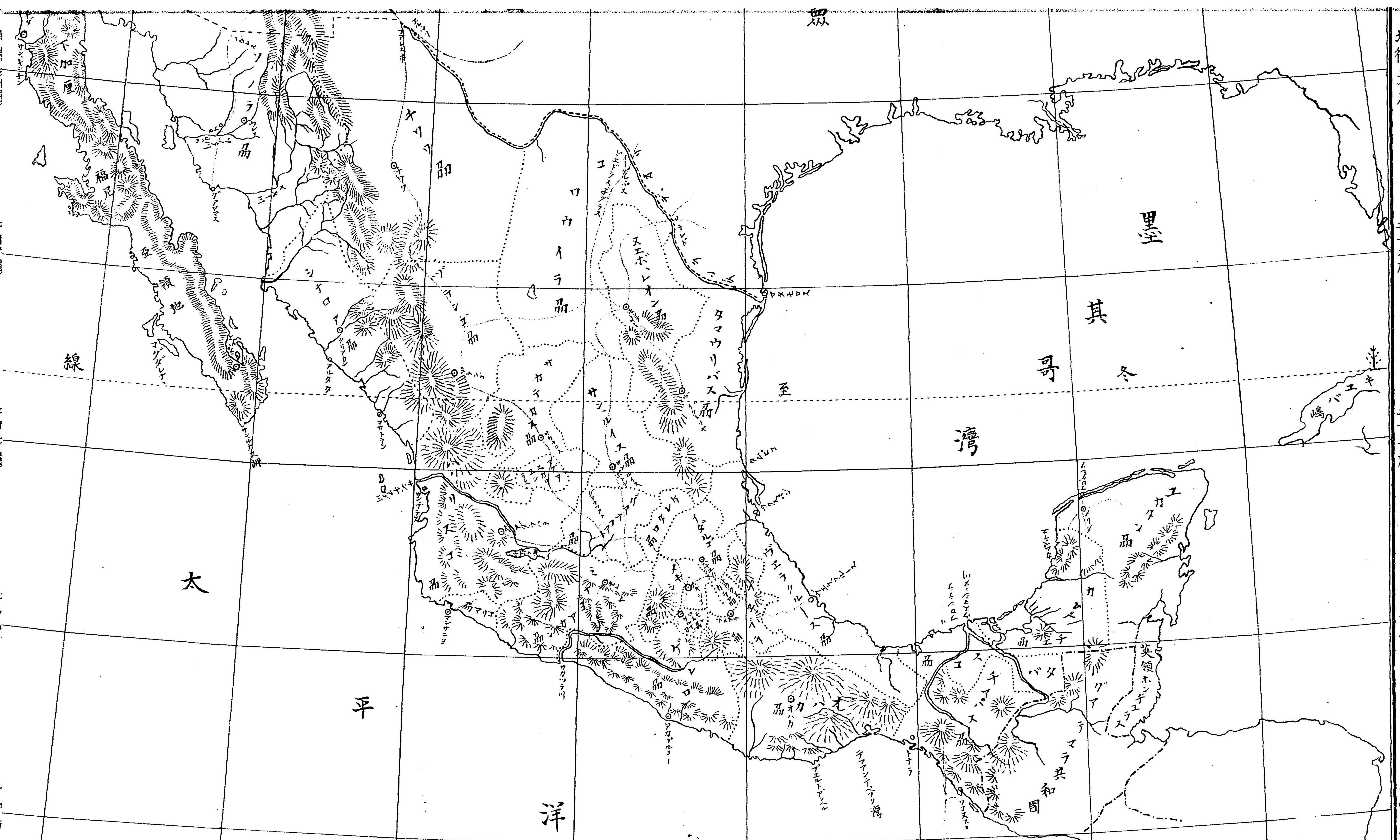
二十六度

二十二度

十八度

十四度





例 凡

———	境	境	府	川	岳
.....	國	市	河	山	既
○	市	河	山	既	設
~~~~~	市	河	山	既	設
⚡	市	河	山	既	設
———	市	河	山	既	設



明治廿五年八月一日印刷  
明治廿五年八月三日出版

印刷者  
發行兼

外務大臣官房  
移民課



明治廿五年八月一日印刷  
明治廿五年八月三日出版

印刷者兼

外務大臣官房  
移民課

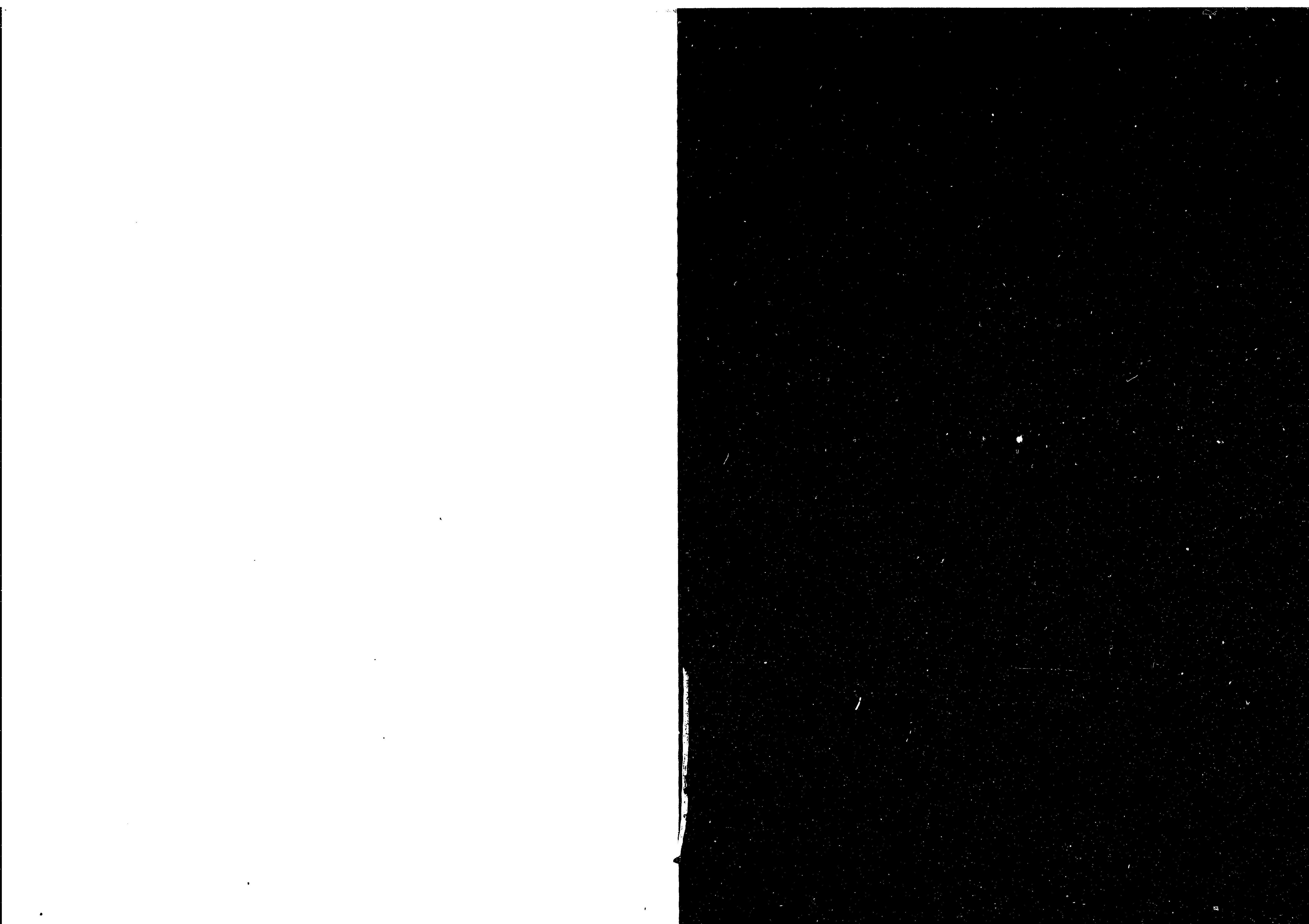


目  
録  
兼  
序



39  
48







39  
48



041397-000-5

39-48

墨国須知

外務省／刊

M25

BDG-0216

